## 令和2年度 文部科学省

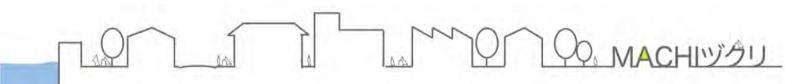
# 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」 まちづくりファシリテーター養成講座

実証報告書

令和3(2021)年3月

# **JCAABE**

一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構



# 目 次

三部 実証	
3-1 実証講座	5
3-1-1 2020 年度文科省事業 実証講座概要・スケジュール	6
3-1-2 日本工学院専門学校 実証講座	10
〇第1回、第2回(2020年10月6日)実証記録	10
〇第3回、第4回(2020年10月16日*1	
/10月21日/10月23日*1) 実証記録	12
〇第5回(2020年10月23日*1)実証記録	17
※第4回は20名ずつに分割して授業実施	
○第6回、第7回(2020年11月6日*1)実証記録	19
〇第9回、第10回(2020年11月13日*1)実証記録	24
○第11回、第12回(2020年11月20日)実証記録	3C
〇第8回(2020年12月2日) 実証記録	32
○第13回(2020年12月4日*1)実証記録	34
○第14回、第15回、第18回	
(2020年12月9日) 実証記録	36
○第16回、第17回(2020年12月16日)実証記録	38
○第19回、第28回(2020年12月18日)実証記録	·····40
○第24回、第25回(2021年1月6日)実証記録	51
○第22回、第23回(2021年1月8日)実証記録	55
○第21回(第20回事例動画視聴振り返り)、第26回、	
第28回 ex(2021年1月22日)実証記録	62
◇第27回(2020年1月22日~28日)	
動画視聴 ― 振り返り	
○第29回(2020年1月29日)実証記録	64
○第30回ex(2020年2月3日)実証記録	68
○第30回(2020年2月5日*2)実証記録	69
*1:新潟工科専門学校との日本工学院専門学校の合同授業	
*2:麻生建築&デザイン専門学校と日本工学院専門学校の合同授業	

3-1-3 新潟工科専門学校 実証講座	71
〇第1回、第2回(2020年10月9日)実証記録	71
○第28回(2020年11月20日)実証記録	73
○第11回、第12回(2020年11月27日)実証記録	79
◇第13回(2020年11月28日~12月3日	
動画事前視聴―12月4日質疑にて振り返り)	
〇第29回(2020年12月4日)実証記録	·····81
〇第30回(2020年12月11日) 実証記録	84
※合同授業については日本工学院専門学校にて記載	
3-1-4 麻生建築&デザイン専門学校 実証講座	87
〇ガイダンス(2020年 10月 13日)実証記録	87
◇動画視聴 第1回、第2回	
(2020年10月14日~19日)	
〇第1回、第2回(2020年10月20日) 実証記録	80
◇動画視聴 第3回、第5回	
(2020年10月21日~26日)	
〇第4回(2020年10月27日) 実証記録	93
◇動画視聴 第6回	
(2020年10月28日~11月2日)	
〇第7回(2020年11月3日)実証記録	97
◇動画視聴 第9回	
(2020年11月4日~9日)	
〇第 10 回 (2020 年 11 月 10 日) 実証記録	102
◇動画視聴 第11回、第12回	
(2020年11月11日~16日)	
〇第13回、第11回(2020年11月17日) 実証記録	107
◇動画視聴 第14回、第15回	
(2020年11月18日~23日)	
○第14回、第15回(2020年11月24日)実証記録	111
◇動画視聴 第16回、第17回	
(2020年11月25日~30日)	
○第16回、第17回、第28回	
(2020年12日1日) 宝証記録	115

◇動画視聴 第 18 回、第 21 回	
(2020年12月2日~2021年11日)	
○第18回、第21回、第28回 ex	
(2021年1月12日) 実証記録	122
◇動画視聴 第22回、第24回(希望者)	
(2021年1月13日~18日)	
○第23回(2021年1月19日) 実証記録	126
◇動画視聴 第26回、第28回(希望者)	
(2021年1月20日~25日)	
○第29回(2021年1月26日)実証記録	131
※合同授業については日本工学院専門学校に記載	
3-2 実証講座の検証	135
3-2-1 実証講座の検証概要	136
3-2-2 学生対象調査	138
○質問内容	138
〇アンケート結果	140
□考察	154
3-2-3 評価委員による検証	155
①まとめ課題「まちづくりフィールドワーク演習」	
発表会後のアンケート	155
○質問内容	155
〇アンケート結果	156
②実証委員による意見交換	161
〇概要	161
○実証委員からの意見	163
□考察	172
3-2-4 アウトカムによる検証資料	173
〇概要	173
〇受講生提出物	174
3-2-5 烩証の主とめ	106

3-1 実証講座

#### 【3-1 実証講座】

3-1-1 2020 年度文科省事業 実証講座概要・スケジュール

本事業において開発された講座について 2020 年度後期に協力教育機関3校において実証講座を実施しました。実証講座においては現状コロナ禍ということも考慮し、 各協力教育機関に事前に本年度実施可能である実証内容について打ち合わせを行い、 調整いたしました。各協力教育機関での実証講座の実施概要を以下に示します。

- 〇日本工学院専門学校(講義 15 コマ+実践 15 コマ:全 30 コマ全てを実施)
  - 参加学生: 建築学科(4年制の3年) 58名
  - 実施期間 2020年10月6日~2021年2月5日
    - ※授業の一環として実施。
    - ※新潟工科専門学校、麻生建築&デザイン専門学校との合同授業があります。
    - ※基本、全て web にて実施(制作、ディスカッション、ワークショップ含む)。
- ○新潟工科専門学校(講義8コマ+実践7コマ:計15コマを実施)
  - 参加学生: 専攻科1年(2+1年制の3年目) 16名
  - 実施期間 2020年10月9日~12月11日
    - ※授業の一環として実施。
    - ※日本工学院専門学校との合同授業があります。
    - ※web とリアルの融合による運用:学生は基本、教室に集合して受講。担当講師は web で繋がり講義を行います。一部、web による受講学生がいます。
    - ※終了後、希望者のみ動画講義視聴を受講します。
- 〇麻生建築&デザイン専門学校(講義 14 コマ、実践 12 コマ:計26コマを実施)
  - 参加学生:建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名
  - 実施期間 2020年10月13日~2021年2月5日
    - ※授業外の放課後講座として実施。
    - ※反転授業を実施いたします。
    - ※日本工学院専門学校との合同授業があります。
    - ※web とリアルの融合による運用:学生は基本教室に集合して受講。担当講師は web で繋がり講義を行う。一部、web にて受講する学生がいます。

反転授業とは:通常、授業を先に行いその内容を自宅学習で復習するという順番で行われるがその順番を反転させ、自宅であらかじめ収録された講義を視聴し、授業においてそれにまつわるディスカッションをして振り返りを行う授業形式。

## 〇日本工学院専門学校 実証講座スケジュール

FRI

10月16日

TUE

10月6日

○日本工学院専門学校運用案 全体講座期間;半年間 30コマ Ver\_13 20210120 2020年後期 金曜午後を想定

WED

10月21日

FRI

10月23日

FRI

11月6日

_	10月0日	10月10日	10月21日	10月23日	11700
昼休				_	
	1	3	4_B班	5	振り返り (YWT)
3	まちづくりファシリ	まちづくりファシリテーター―の	コミュニケーション	目標イメージ共有のため	6
	テーターとは何か	131-7-737月と天政	技術演習	のワークショッフ゜	目的に応じた合意形
			日工②班		成の手法・プロセス
	動画:連 健夫	動画:松村 哲志	zoom: 松村 哲志	動画:阿部 俊彦	動画:連 健夫
	2	4_A班	4_C班	4_D班	7
4	都市計画の変遷と住	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	ワークショップ演習(K
	民参加の重要性	技術演習	技術演習	技術演習	J法・コラージュ)
		日工①班+新潟①班	日工③班	日工④班+新潟②班	日工+新潟合同
	動画:野澤 康	zoom: 松村 哲志	zoom: 松村 哲志	zoom:松村 哲志	zoom:連 健夫+助手
	ED.	ED.	WED	ED.	WED
	FRI	FRI	WED	FRI	WED
=	11月13日	11月20日	12月2日	12月4日	12月9日
昼休					
	振り返り (YWT)	振り返り (YWT)	8	13	振り返り(YWT)
3	9	11	地域特性を活かすルー	参加型デザインによ	14
	自然災害にそなえる事前	建築・まちづくり実	ル、規制や法律、まちづ	る実例見学(合同)	リノベーションとまちづくり
1	復興まちづくりの方法論	践と建築士の役割	くり条例とは?	動画見学+質疑	動画:連 勇太朗
	動画:市古 太郎	動画:三井所清典	zoom:松本 昭	質疑:zoom連 健夫	15
	10	12			リノベーション技
4	事前復興まちづくり	建築設計における参	予備	予備	動画:連 勇太朗
	演習	加型のデザイン			18
	日工+新潟合同				インスペクション、実践出
	zoom:市古太郎+助手	動画:連 健夫			動画:向田 良文
	200111111111111111111111111111111111111	初日· 足			30日:PAE 及入
	2020年後期 金曜午後	を想定			
	WED	FRI	WED	FRI	FRI
	12月16日	12月18日	1月6日	1月8日	1月22日
昼休					
	振り返り (YWT)	振り返り (YWT)	振り返り(YWT)	振り返り (YWT)	振り返り (YWT)
3	16	18	24	22	21 (20)
•	自然環境・エネルギーを取り巻く	・インスペクション演習	- · 宅建士に学ぶストックさ	 建築と不動産、エリアマネジメ	保存・修復とまちづくり
	状況とまちづくりとの関係	7777	せないマッチング術	ルをつなぐ基礎知識 <b>かん</b>	見学:大倉_渡邉提供
	動画:北村 稔和	zoom:向田 良文	動画:田中 裕治	動画:高橋 寿太郎	26
	到四: 北州 福和 17				= -
	• •	27	25	23	空き屋・空き地という課
4	・エネルギーとまち	まちづくりフィールド	今後の不動産宅建士	建築と不動産演習	動画:饗庭 伸
	づくりの実践(見	ワーク実習①	演習		28exIX‡X 1
	学)動画				まちづくりフィールドワーク実
	動画:北村 稔和	zoom: 松村	zoom:田中 裕治	zoom: 高橋 寿太郎	zoom: 松村
	動画視聴	FRI	FRI	FRI	
	1/22-1/28	1月29日	2月3日	2月5日	
昼休					
	27	29ex	30ex	30	4 コミュニケーション技術演習
3	空き家空き地活用事	まちづくりフィール	まちづくりフィール	まちづくりフィール	班分けは以下の人
1	例見学	ドワーク実習②ex	ドワーク実習		数になるように行
	饗庭 伸	エスキス2	zoom 教室開放	発表会形式	数になるように行う
	長足 中 振り返り (YWT)			3校同時課題	
-	1)以り込り(INII)	zoom: 松村			日工① 10名
,		29		日工十麻生	日工② 20名
4		まちづくりフィール		地域 意見聴取	日工③ 20名
1	1	ドワーク実習②		zoom+FacetoFace松	日工④ 10名
		<b>→</b> 88 1 1 3			
		中間レビュー			新潟① 10名
		中間レビュー zoom: 松村	zoom: 松村		新潟① 10名 新潟② 10名

実践科目 振り返り (YWT) 実証(まとめの課題)

# 〇新潟工科専門学校 実証講座スケジュール

# ○新潟工科専門学校運用案 全体講座期間; 2.5ヶ月 15コマ V€ 2020年後期 金曜午後を想定

	FRI	FRI	FRI	FRI
	10月9日	10月16日	10月23日	11月6日
昼休				
	1	3	振り返り (YWT)	6
3	まちづくりファシリ	まちづくりファシリテーター	5	目的に応じた合意形
	テーターとは何か	―のコミュニケーションカと	目標イメージ共有のため	成の手法・プロセス
		実践	のワークショッフ゜	
	動画∶連 健夫	動画:松村 哲志	動画:阿部 俊彦	動画:連 健夫
	2	4_A班	4_D班	7
4	都市計画の変遷と住	コミュニケーション	コミュニケーション	ワークショップ演(K
	民参加の重要性	技術演習	技術演習	J法・コラージュ)
		日工①班+新潟①班	日工④班+新潟②班	日工と合同
	動画:野澤 康	zoom: 松村 哲志	zoom:松村 哲志	zoom:連 健夫

	FRI	FRI	FRI	FRI
	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日
昼休				
	振り返り (YWT)	11	13	30
3	28_30min	建築・まちづくり実	参加型デザインによ	まちづくりフィール
	まちづくりフィールドワーク実習	践と建築士の役割	る実例見学(合同)	
	1		動画(1/28-12/3)事前視	
	zoom:松村	動画:三井所清典	質疑:zoom連 健夫	発表会形式
		12	振り返り (YWT)	3校同時課題
4	予備	建築設計における参	29	新潟工科専門学校
			まちづくりフィー	地域 意見聴取
			ルドワーク実習②	zoom+FacetoFace松
		動画:連 健夫	zoom: 松村	

実践科目 振り返り (YWT) 実証(まとめの課題)

#### 受講後の動画視聴

 文神後の劉曲倪瑞			
2020	2020-2021	2021	2021
12月15日~21日	12月22日~1月11日	1月12日~1月18日	1月19日~1月25日
14	16	18	22
リノベーションまち	自然環境・エネル	耐震化、不燃化、イ	建築と不動産、エリアマネ
づくりの動きと実践	ギーを取り巻く状況	ンスペクションの実	ジメントをつなぐ基礎知
	とまちづくりとの関	際	識
動画:連 勇太朗	動画:北村 稔和	動画:向田 良文	動画:高橋 寿太郎
15	17	21	24
リノベーション技	・エネルギーとまち		宅建士に学ぶストッ
術・実習	づくりの実践(見	修復実例見学動画	クさせないマッチン
大森2件、蒲田1件	学)動画		グ術
見学動画:連 勇太朗	動画:北村 稔和	見学:大倉_渡邉提供	動画:田中 裕治

4\_コミュニケーション技術演習 班分けは以下の人数になるように行う 新潟① 10名 新潟② 10名 全体人数を20名ほどで行いディスカッション方法を手厚くする

# 〇麻生建築&デザイン専門学校 実証講座スケジュール

TUE

TUE

動画視聴

〇麻生建築&デザイン専門学校運用案 全体講座期間:半年30コマ反転授業 Ver\_13 0119 2020年後期 動画視聴(自宅学習)+45minディスカッション

動画視聴

TUE

動画視聴

TUE

	TUE	動画視聴	TUE	動画視聴	TUE	動画視聴	TUE
,,	10月13日	10/14-10/19	10月20日	10/21-10/26	10月27日	10/28-11/2	11月3日
休				_	_		_
放課	0	1	1 • 2	5	4	振り返り (YWT)	7
後講	ガイダ	まちづくりファ	ディスカッ	目標イメージ共有の	コミュニケー	6	ワークショップ 演習(K J法・
習	ンス	シリテーターと	ション	ためのワークショップ	ション技術演	目的に応じた合	海省(N J法・
17:20-	30min	は何か	$45$ minn $\times$ 2		習	意形成の手法・	J ) — J _ )
18:50		動画:連 健夫	古賀先生サブ松村	動画:阿部 俊彦	zoom:松村哲志	動画:連 健夫	zoom:連 健
		2		3			
		都市計画の変遷		まちづくりファシリ			
		と住民参加の重		テーター―のコミュニケー			
		要性		ションカと実践			
		動画:野澤 康		動画:松村 哲志			
	1	<b>新丽</b> 切味	TUE	新面扣珠	TUE	新丽·伊琳	TUE
		動画視聴 11/4-11/9	11月10日	動画視聴 11/11-11/16	11月17日	動画視聴 11/18-11/23	11月24日
<i>I</i> +	ł	11/4-11/9	11月10日	11/11-11/10	11月17日	11/10-11/23	11月24日
休		+= (LN= (L (VWT)	10	4E (INE (I (VWT)	13	#E ( L'E ( L ( ( ( ( ) ) ) )	44 45
放課		振り返り (YWT)	10	振り返り (YWT)		振り返り (YWT)	14 • 15
後講習		9 自然災害にそなえる事前復	事前復興まち	11	参加型デザインによる中間	14	ディスカッ
_		異まちづくりの方法論	づくり演習	建築・まちづく	ンによる実例	リノベーション	ション
17:20- 18:50		S. T		り実践と建築士	動画見学+質	まちづくりの動	45minn × 2
10:00	ł	動画:市古 太郎	zoom:連 健夫	動画:三井所清典	連健夫	動画:連 勇太朗	古賀先生サブ松村
				12	11	15	
				建築設計におけ	ディスカッ	リノベーション	
				る参加型のデザ	ション		
				イン	45minn	大森 2 件、蒲田	
				動画:連 健夫	古賀先生サブ松村	見学動画:連勇	
	2020年後期	朝 動画視聴(自宅	学習)+45minディ	ィスカッション	※曜日について	は要相談	
	_						
		動画担職	THE	新面担肺	THE	動画担職	THE
		動画視聴	TUE	動画視聴	TUE	動画視聴	TUE
日仕		動画視聴 11/25-11/30	TUE 12月1日	動画視聴 12/2-1/11	TUE 1月12日	動画視聴 1/13~1/18	TUE 1月19日
昼休		11/25-11/30	12月1日	12/2-1/11	1月12日	1/13~1/18	1月19日
放課		11/25-11/30 振り返り (YWT)	12月1日	12/2-1/11	1月12日	1/13~1/18 振り返り (YWT)	1月19日
放課 後講		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16	12月1日 16・17 ディスカッ	21 保存修復見学動	1月12日 18・21 ディスカッ	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22	1月19日
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと	12月1日 16・17 ディスカッ ション	12/2-1/11	1月12日 18・21 ディスカッ ション	1/13~1/18 振り返り (YWT)	23 演習:
放課 後講		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと の関係	12月1日 16・17 ディスカッ ション 45minn×2	21 保存修復見学動 画	1月12日 18・21 ディスカッ ション 45minn×2	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エリアマネジ・カント をつなぐ基礎知識	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔	12月1日 16・17 ディスカッ ション 45minn×2 古賀先生サブ松村	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:波邉・大倉	1月12日 18・21 ディスカッ ション 45minn×2 古質先生サブ松村	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エリフマネジ かト をつなぐ基礎知識 動画:高橋寿太	23 演習:
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと の関係 動画: 北村 稔	12月1日 16・17 ディスカッ ション 45minn×2 古賀先生サブ松村	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定)	1月12日 18・21 ディスカッ ション 45minn×2 古質先生サブ松村 28	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エリフマやジアル をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者)	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと の関係 動画: 北村 稔 17	12月1日 16・17 ディスカッ ション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:渡邉·大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃	1月12日 18・21 ディスカッ ション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エリフマネジ かト をつなぐ基礎知識 動画:高橋寿太	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと の関係 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク	1月12日 18・21 ディスカッ ション 45minn×2 古質先生サブ松村 28	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エリフマネジアルトをつなぐ基礎知識 動画:高橋寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストッ	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと の関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画	12月1日 16・17 ディスカッ ション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際	1月12日 18・21 ディスカッ ション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと の関係 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エリフマネジアルをつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画 動画:北村 稔	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村	12/2-1/11  21  保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 習 17:20- 18:50		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画 動画:北村 稔	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村	12/2-1/11 21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課 後講 習		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画 動画:北村 稔	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくりフィールドワーク実習① zoom:古賀先生松村	12/2-1/11  21  保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放課講 17:20- 18:50 休 放課		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係。 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画 動画:北村 稔 動画は、希望者) 1/20-1/25	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日	12/2-1/11  21  保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インス実際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT)	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係。 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画 動画:北村 稔 動画は、希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会に	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17: 20- 18: 50 休 課 講		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画:北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実践 見学動画 動画:北村 稔 動画は聴(希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会に おける空き屋・	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくりフーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日 29 まちづくりフィールド	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まちづくり	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの実 践 見学動画 動画: 北村 稔 動画視聴(希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会に おける空き屋・ 空き地という課	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり フィールド ワーク実習②	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉  18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まちづくり フィールドワー	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17: 20- 18: 50 休 課 講		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーとまちづくりの実践 見学動画 動画: 北村 稔 動画視聴 (希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減空空き地という課動画: 饗庭 伸	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくりフーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日 29 まちづくりフィールド	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、不燃 化、インスペク ションの実際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まちづくり フィールドワー 発表会形式	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーとまちづくりの実践 見学動画 動画: 北村 稔 動画視聴 (希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会におけるという課 動画: 饗庭 伸 28 (希望車)	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり フィールド ワーク実習②	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、インス等際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まちづくり フィールドワー 発表会形式 2校同時課題	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーとまちづくりの実践 見学動画動画: 北村 稔 動画視聴 (希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会におけるという課動画: 饗庭 伸 28 (希望車)空き家空き地見学動	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり フィールド ワーク実習②	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、ススクショー 向田良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まイール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーとまちづくりの実践 見学動画 動画: 北村 稔 動画視聴 (希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会におけるという課 動画: 饗庭 伸 28 (希望車)	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり フィールド ワーク実習②	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、インス等際 動画:向田 良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まちづくり フィールドワー 発表会形式 2校同時課題	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの 関連: 北村 稔 動画: 北村 稔 動画: 北村 稔 動画: 北村 稔 動画視聴(希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少空という はける也とにおけるとという はいるとという はいるとという と変をきまます。 を変できまり できまっている。	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり フィールド ワーク実習②	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、ススクショー 向田良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まイール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーとまちづくりの実践 見学動画動画: 北村 稔 動画視聴 (希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少社会におけるという課動画: 饗庭 伸 28 (希望車)空き家空き地見学動	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくり フィールド ワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日  29 まちづくり フィールド ワーク実習②	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、ススクショー 向田良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まイール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくり フィールドワー ク実習①ex	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom: 古賀先
放後習 17:20- 18:50 休課講 17:20-		11/25-11/30 振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりと 動画: 北村 稔 17 ・エネルギーと まちづくりの 関連: 北村 稔 動画: 北村 稔 動画: 北村 稔 動画: 北村 稔 動画視聴(希望者) 1/20-1/25 26 (希望者) 人口減少空という はける也とにおけるとという はいるとという はいるとという と変をきまます。 を変できまり できまっている。	12月1日 16・17 ディスカッション 45minn×2 古賀先生サブ松村 28 まちづくりフィールドワーク実習① zoom:古賀先生松村  TUE 1月26日 29 まちづくりフィールドワーク実習② zoom:古賀先生	12/2-1/11  21 保存修復見学動 画 動画:渡邉・大倉 18 (10日up予定) 耐震化、ススクショー 向田良文  FRI 2月5日 振り返り (YWT) 30 まイール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1月12日 18・21 ディスカッション 45minn×2 古質先生サブ松村 28 まちづくりフィールドワーク実習①ex zoom:古質先生松村	1/13~1/18 振り返り (YWT) 22 建築と不動産、エワワマネがかト をつなぐ基礎知識 動画:高橋 寿太 24(希望者) 宅建士に学ぶストックさせないマッチン グ術	1月19日 23 演習: zoom:古賀先 生·松村

#### 3-1-2 日本工学院専門学校 実証講座

〇第1回、第2回(2020年10月6日) 実証記録

#### ◇タイトル

第1回「まちづくりファシリテーターとは何か」

第2回「都市計画における住民参加とファシリテーターの役割」

#### ◇日時

2020年10月6日(水)

第1回 13:00~14:30 第2回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「まちづくりファシリテーターの概要を理解する。」 「都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割。」

#### ◇担当講師

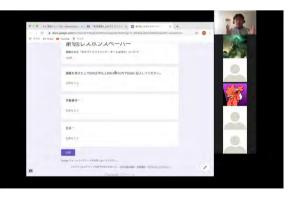
講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 連健夫、野澤康

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/10/06 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座

: 担当 松村 NoO1201

第 1 回 第 2 回 授 業 概 要

#### 目的

「まちづくりファシリテーターの概要を理解する」 「都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割」

#### STEPO : 授業概要

本日の大枠 出席確認→ガイダンス→動画視聴ほか→再集合 次の時間へ

#### 授 業 1 : ガイダンス 15分

- ○受講についての注意事項
  - ぜひ点呼の時は顔を見せてね!
  - ・zoom は最新版にアップデートしておいてください。
  - ・授業開始3分前には指定された zoom ID に参加しておいてください。
  - zoom に参加したら 学籍番号\_氏名に名前を変更してください。
  - 学習できる環境で行なってくださいね!
  - ・出席しよう! →もったいない!楽しもう!
  - ・ 社会人としての振る舞いで!
- ○本講座の位置付け 「まちづくりファシリテーターとは?」
  - ・学校の必修科目であり、資格が取れる講座であり、文科省事業である
- ○授業予定と授業内容
- ○各回の進め方について
  - 動画視聴
  - ・レスポンスペーパー
  - 実践
  - ・まとめ
- ○ではやってみよう!
  - 0\_アンケート
  - 1\_動画を見てください
  - 2\_レスポンスペーパーを書いてください
  - 3\_クラスルームでの提出をお忘れなく!
  - 4\_集合時間に zoom に再度参加
- 〇本日 前半の最集合時間

#### 宿 題

特になし

#### 〇第3回、第4回(2020年10月16日\*1

/10月21日/10月23日\*1) 実証記録

\*1: 新潟工科専門学校との日本工学院専門学校の合同授業

#### ◇タイトル

第3回「まちづくりファシリテーターのコミュニケーション力」 第4回「コミュニケーション技術 演習」

#### ◇日時

2020年10月16日(金)

第3回 13:00~14:30 第4回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

※第4回演習は20名程度の小グループで分けて実施

(10月21日(水)、10月23日(金))

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「まちづくりファシリテーターのコミュニケーションスキルと実践」 「ロールプレイやディベイトを通してコミュニケーションのスキルを習得する」

#### ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

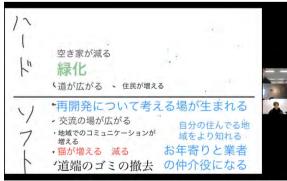
新潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材





2020/10/16・21・23 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座: 担当 松村 NoO401

#### コミュニケーション技術演習 演習

13:00から講義動画の視聴 その後演習へ 動機付けをしっかりと行う。」

#### 目的

意見を引き出して合意形成をして、提案を行うためのコミュニケーション、特にグループディスカッションの基本を実践することで習得しよう!

- ・講義での注意事項や方法をもう一度良く考え、適宜実践することを心がけよう!
- ・盛りがあること、話を聞き出すこと、議論が深まることが大切です!楽しくやろう!

#### STEPO: 準備 10分

O\_担当講師がランダムにブレイクアウトルーム を設定。グループ分け行います。

#### 1 役割を決めよう!

- ・ファシリテーター:議論の司会、発表者 ・書記:記録、提出物の提出 ※今回は基本、同じ人で行う予定です。
  - ※書記はスマートフォン以外の人としてください
  - ※書記役はホワイトボードの試しもやってください。入力、保存

#### 課 題 1 : 自己紹介 15分

#### 自己紹介テーマ「自分を車の部品に例えるとなんだろう?」

- 1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶 顔が見えるつながりはまちづくりの基本!
- 2 書記がホワイトボードを立ち上げる。
- 3\_一人ずつ、自己紹介を行う。その際に名前、学校名、「自分を車の部品に例えると何か?」 なぜその部品が理由も言おうね!
- 4\_書記はホワイトボードに記入を行う。その際に色を変えてもいいよね!
- 5 各自に積極的にやってもらおう!また一人ずつわかりやすく色を変えてみよう!
- 6\_質問をしよう!

時間配分も考えてできる限りその人の個性が出ることを意識して進めてね!

- 7 終了したら記録係・書記は画像を保存してクラスルームに提出してください。
- 8\_時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

#### 宿 題 : お気に入りの道具を写メで提出 終了後

お気に入りの道具を写メで撮って提出してください。

2020/10/16・21・23 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座: 担当 松村 NoO402

#### コミュニケーション技術演習演習

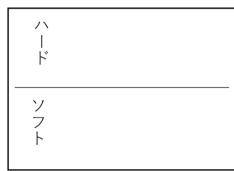
課 題 2 : まちづくりファシリテーターの可能性 30分

# <u>テーマ「まちづくりファシリテーターがいたらどんなことが</u> 起きそうですか? また活躍の場は?」

資料でお配りしたイラストを参考に議論してみよう!

1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなで カメラを ON にして挨拶 顔が見えるつながりはまちづくりの基本!

- 2\_書記がホワイトボードを立ち上げる。
- 3\_書記は中心に軸を引いて上にハード、 下にソフトと書きましょう!



4\_5 分ほど時間を決めて参加者が自由にホワイトボードに記入してみよう!

記入する際に軸に対する位置が重要です。

思いつかなければイラストに書いてあるものを言葉にして分類してみよう! 記入する際は人ごとで色を決めて書くとわかりやすいかも!

- 5 ホワイトボードなど操作がうまくいかないときは助け合ってください。
- 6\_書いたものをそれぞれ発表してもらおう!
  - 一人ずつ発表してもらって書いてもいいね!
- 7 質問してみ議論を深めよう! 時間配分も忘れずにね!
- 8 終了したら記録係・書記は画像を保存してクラスルームに提出してください。
- 8 時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

#### 発表: 15分

課題1 課題2 それぞれ1チームを指名します。発表をしてください。

1\_ファシリテーターが提出した画像を共有して発表を行う。 それぞれ3分発表2分質疑

#### ◇受講生の提出物 自己紹介

#### 自己紹介テーマ 自分を車の部品に例える

ナカガワさん タイヤ

理由:頑張りすぎるとパンクするから

ハタケヤマさん スライドドア

理由:楽なように物事を進めたがる傾

向にあるから

ヒラノさん ウインカー

理由:与えられた仕事しかしないから

スギウラさん ブレーキ 理由: すぐにやめたかるから

タダノさん ワイパー

理由:邪魔なものを排除したいから

必要なものとそうでないものを選択したいから

豊福さん ブレーキペダル

理由:自分でやりたがらないから

松元 荷物入れ

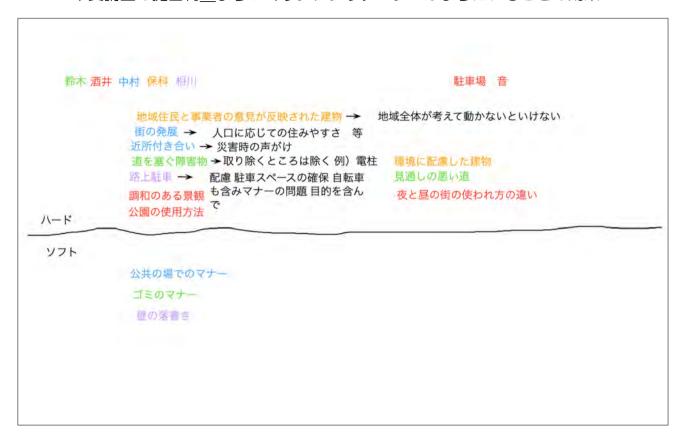
理由:みんなの意見を整理するのが楽

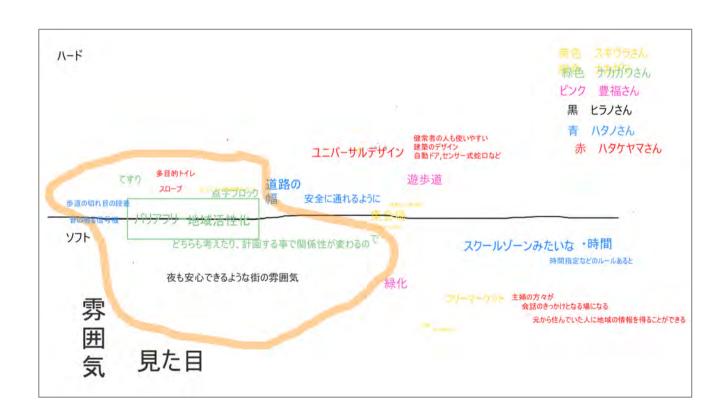
しいから

今日一日よるしくお願いしますこ ナカガワ



#### ◇受講生の提出物 まちづくりファシリテーターがまちにいることの効果





#### 〇第5回(2020年10月23日\*1) 実証記録

\*1:新潟工科専門学校との日本工学院専門学校の合同授業

#### ◇タイトル

第5回「まちづくりの手法①」

#### ◇日時

2020年10月23日(金)

第5回 13:00~14:30

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「まちづくりの目的に応じた手法、参加対象や募集の方法、

実践スケジュールの立て方を理解する」

#### ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

新潟 担当講師 榎美和子(新潟工科専門学校)

動画講義 阿部 俊彦

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/10/23 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 : 担当 松村 No5001

第 5 回 授 業 概 要

#### 目的

「まちづくりの目的に応じた手法、参加対象や募集の方法、 実践スケジュールの立て方を理解する」

#### STEPO : 授業概要

• 3時間目 13:00-14:30 全員出席

第5回「目標イメージ共有のためのワークショップ」阿部 俊彦先生

出席確認→ガイダンス→動画視聴ほか→再集合 次の時間へ

・4時間目 14:40-16:10 新潟工科専門学校 後半 + 日本工学院専門学校 4班 (4回目欠席者で出られる方 理由により、要精査。減点あり)

第4回 実践「コミュニケーション技術演習」

説明→準備→課題1→課題2→発表

#### 授 業 1 : 動 機 付 け 15分

- ○実例を通じたまちづくりの問題意識を質問しながら提示
- 〇動画講義 視聴
- ○レスポンスペーパーの提出

講義内容の要約はなく、理科した上での感想や意見を聴取

○本日 前半の最集合時間をアナウンス

#### 授業2:動画視聴60分

○質問がある人は残って聞くように指導

#### 授 業 3 : 質 疑 15分

○学生に逆に質問などをぶつけてみるトライもしてみる。

〇ワークショップをしていくことの意義について

#### 宿 題

特になし

#### 〇第6回、第7回(2020年11月6日\*1) 実証記録

\*1: 新潟工科専門学校との日本工学院専門学校の合同授業

#### ◇タイトル

第6回「まちづくりの手法②」

第7回「ワークショップ演習(KJ法・コラージュ)」

#### ◇日時

2020年11月6日(金)

第6回 13:00~14:30

第7回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「まちづくりの具体的手法を学ぶ、自己紹介、合意形成、街歩き、KJ法、 コラージュの方法を理解する」

「KJ法、コラージュを実際に行い、プロセスと留意点を学ぶ」

#### ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

新潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校)

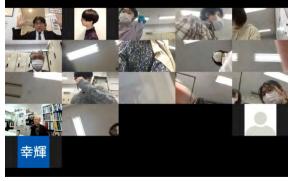
実践·動画講義 連 健夫(JCAABE代表理事)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/11/06文科省事業まちづくりファシリテーター養成講座VerO4: 担当連健夫先生NoO701

#### ワークショップ( KJ法・コラージュ) 演習

前の講義を 10分前段 40分講義 10分の1時間とする。(14:10スタート)

目的

KJ法とコラージュを実際に行い、プロセスと留意点を学ぶ。

Step O: 前段•準備 5分 (14:10-14:15)

O 担当講師が事前に班分け・役割を確認する。(事前に発表し周知予定)

役割① ファシリテーター:議論の司会、発表者

役割②\_記録係:記録、提出物の提出 役割③\_タイムキーパー

Step 1 : 課題説明 10分 (14:15-14:25)

下記の課題1について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

Step 2 課 題 1 : KJ法 30分 (14:25-14:55)

#### 「皆さんの学校の学食(エントランスホール)について『たから(良

#### い点)』と『あら(悪い点)』についてあげて整理してみよう!」

※提案ではなく、現状を記入しよう!

- 1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。つながりはまちづくりの基本!
- 2\_最初は自己紹介をしてからテーマについて自由に話して 思考を自由にしていこう! (ブレインストミング) 司会の人はうまく話を振って見てね!
- 3\_記録係がホワイトボードを立ち上げる。
- 4\_右図のように軸をかいてその上に整理してみよう! たから(良い点) と あら(課題、問題点)、

ハード(施設、設備、道具)とソフト(人、お金、制度)

※この時、軸以外「たからとあら」「ハードとソフト」を分ける線も忘れずに引こう!

4\_時間を決めて最初にみんなで同時に書いてみよう!

その際、自分の書いたものがどれか後で分かるようにしておこう!

色やロゴタイプを変えてもいいよね!

- 5\_一旦書いてみたら一人ずつ書いた内容について語ろう!話を引き出すことも重要!
- 6\_質問や意見を言ってみよう! その発言はわかる形で足して行くのもいいですね!
- 7\_位置や表現にもこだわりを持って話し合っていこう!みんなで協力してまとめてみよう!
- 8\_司会は時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう! 例、ブレインストーミング5分、記入5分、全員説明1人2分、

まとめ(重み付けなど)5分、合計30分

- 9\_ブレインストーミングは無言で集中して行いましょう!
- 10 タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 11\_終了したら記録係・書記は画像を保存してクラスルームに提出してください。
- 12\_時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

	たから	あら
ベード		
ソフト		

#### ワークショップ( KJ法・コラージュ) 演習

Step 3 : 課題説明 10分(15:55-15:05)

下記の課題2について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

また、再集合時間をアナウンス。

Step 4 課 題 2 : コラージュ 20分 (15:05-15:25

# <u>テーマ「あなたの理想の学食(エントランスホール)を</u> A3の紙にコラージュして表現してみよう!」

※事前に以下のものを用意するように指示を出しておく。

- ○準備するもの
  - A3白紙スティックのり、メンディングテープなど貼り付けられるもの
  - ・ハサミ、カッター・カラーペン、マーカー(コラージュに書き込むための筆記用具)
  - 「理想の学食(エントランスホール)」を

テーマに集めた雑誌、写真など(切り取れるように)

- 提出写真を撮影するカメラ (スマートフォン、携帯 OK)
- 1 ここからは個人の提出であることを伝える。
- 2\_一旦 zoom からは退出
- 3 テーマについて用意した A3 の紙にコラージュをして表現する。
- 4 その際に学校名、本日の班名、名前を記入する。
- 5\_全てが入るように写真に納めてクラスルームの課題に提出。
- 6\_その際、できる限り真上から全体が入るように心がけてください! 斜めになったりするとせっかく表現したものが台無しです。

最後までこだわってくださいね!

- 7\_クラスルームに提出したら提出完了の確認も忘れずに! 15:25 には提出を!
- 8\_まずは再集合して提出の確認をします。集まってね!

Step 5 提出確認 : 5分 (15:25-15:30

休 憩 10分 (15:30-15:40)

この間に発表者を選ぶ。

#### Step 6 発 表 : 20分 15:40-16:00

- KJ 法 新潟工科専門学校 2班、日本工学院2班
- ・コラージュ 日本工学院 1名、新潟工科専門学校 1名 合計6名発表2分発表 1分質疑 3分×6班 18分 予備2分

Step 7 まとめ(予備) : 10分 16:00-16:10

教員から一言、質疑

来週に向けて

# ◇受講生提出物\_KJ法

	たから	あら	
ハード	明るい 吹き抜け1 手作りのステージ2	椅子が少ない 受付が分かりにくい トイレが2階にしかない 1 統一感がない 机・椅子の統一性がない 3 物を置きすぎ 殺風景 集まる用事がない 2	比 まな 川上 木村
ソフト	人経費 コミュニケーションが 1 取りやすい 自販機たくさん	バス待ち寒い 1	

学食	中根の伊藤タカラ	榎本アラ
V-k	量が多い 1 コスパ良き 2	照明が暗い 3 食券から配膳カウンターまでの位置が遠 1 い (6号館) 席が少ない 2 照明の色が気持ち悪い 3
ソフト	値段が安い 2 日当たり 1	美味しくない 1 使える時間帯が限られている 3 メニューが少ない 2 可もなく不可もなく
		おいしくない (バランスが悪い) 1 味が薄い 1 質を良くして欲しい(全体的に) 1

#### ◇受講生提出物\_コラージュ





#### 〇第9回、第10回(2020年11月13日\*1) 実証記録

\*1: 新潟工科専門学校との日本工学院専門学校の合同授業

#### ◇タイトル

第9回「事前復興まちづくり」

第10回「事前復興まちづくり演習事前復興まちづくり演習」

#### ◇日時

2020年11月13日(金)

第9回 13:00~14:30

第10回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「事前復興まちづくり訓練、防災やフェーズフリーデザインを理解する。」 「事前復興まちづくりワークショップの演習。」

#### ◇扫当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

新潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校)

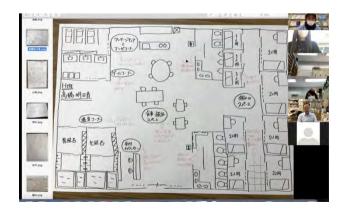
実践・動画講義 市古 太郎(東京都立大学)

実践ゲスト講師 連健夫(JCAABE 代表理事)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/11/13 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 市古太郎先生 助手 連健夫、窪田、大原、榎(新潟工科)、松村 Ver02 No1001

#### 事前復興まちづくり演習

前の時間(13:00-14:10)で市古先生ご担当の動画講義を視聴済み。(10分休み)

#### 目的

事前復興まちづくりワークショップの演習を行う。

・事前復興まちづくりを経験してその手法を学ぶ ・同時にまちづくり、防災について考える

#### Step O: 前段·準備 5分 (14:20-14:25)

O\_担当講師が目的など前段説明。事前に班分け·役割を確認する。(事前に発表し周知予定)

役割① ファシリテーター:議論の司会、発表者

役割②\_記録係:記録、提出物の提出

役割③\_タイムキーパー

#### Step 1 : 課題説明 • 事例紹介 20 分 (14:25-14:45)

テーマを発表する。その後、講師より事例について紹介を行う。(15分)

下記の課題1について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

Step 2 課 題 1 : ディスカッション 25分 (14:45-15:10)

#### 「皆さんが考える良いと思う避難所はどのようなものですか?」

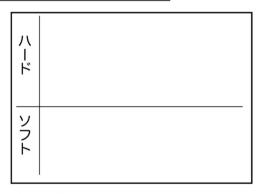
- 1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。つながりはまちづくりの基本!
- 2\_記録係がホワイトボードを立ち上げる。
- 3\_右図のように軸をかいてその上に整理してみよう! ハード(施設、設備、道具)とソフト(人、お金、制度) に分けながらテーマについてあげてみよう!
- 4\_時間を決めて最初にみんなで同時に書いてみよう!

その際、自分の書いたものがどれか後で分かるように色やロゴタイプを変えてもいいよね!

- 5\_一旦書いてみたら一人ずつ書いた内容について語ってもらおう!
- 6\_質問や意見を言ってみよう! その発言はわかる形で足して行くのもいいですね! 話すこと、話を引き出すことも重要!
- 7\_位置や表現にもこだわりを持って話し合っていこう!みんなで協力してまとめてみよう!
- 8\_司会は時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう! 例、プレインストーミング5分、記入5分、説明一人、1分+質疑1分、

まとめ(重み付け、ハード、ソフトで1、2、3番をつけよう!)5分、合計25分 9\_ブレインストーミング自由に話をする。記入は皆で同時に記入しましょう。

- 10 タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 11\_終了したら記録係・書記は画像もしくは写メを保存してクラスルームに提出してください。 12 時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!



2020/11/13 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 市古太郎先生 助手 連健夫、窪田、大原、榎(新潟工科)、松村

Ver02 No1002

#### 事 前 復 興 ま ち づ く り 演 習

Step 3 : 課題説明 5分(15:10-15:15)

下記の課題2について説明をおこない。注意点、再集合時間をアナウンス。

Step 4 課 題 2 : スケッチ 20分 (15:15-15:35)

#### テーマ「皆さんが考える良いと思う避難所を

#### スケッチで書いて表してください!」

○準備するもの(※事前に以下のものを用意するように指示を出しておく。)

- ・スケッチする筆記用具 鉛筆、サインペ、マーカー、色鉛筆など
- ・A3白紙 (スケッチをできるように)・提出するための写真を撮影するカメラ
- ・課題1のまとまった結果から、うまく項目を選んでも良いかもしれません。

#### Oポイント

- もちろん丁寧であることなど完成度も採点対象ですが、それよりも意図を伝えるスケッチを心がけてください。
- ・スケッチだけでなく、間取りや配置など、意図が伝わることを工夫してください。伝わる工夫ならなんでも構いません!
- 1 ここからは個人の提出であることを伝える。
- 2\_一旦 zoom からは退出
- 3 テーマについて用意した A3 の紙にスケッチをする。
- 4\_その際に学校名、本日の班名、名前を記入する。
- 5\_全てが入るように写真に納めてクラスルームの課題に提出。
- 6\_その際、できる限り真上から全体が入るように心がけてください! 斜めになったりするとせっかく表現したものが台無しです。

最後までこだわってくださいね!

- 7\_クラスルームに提出したら提出完了の確認も忘れずに! 15:35 には提出を!
- 8\_まずは再集合して提出の確認をします。集まってね!

Step 5 提出確認 : 5分 (15:35-15:40)

休 憩 10分 (15:40-15:50)

この間に発表者を選ぶ。

Step 6 発 表 : 12分 15:50-16:02

コラージュ 4名 合計4名発表

2分発表 1分コメント 3分×4名 12分

Step 7 まとめ(予備) : 8分 16:02-16:10

講師から

市古先生から一言

質疑 来週に向けて

#### 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 (11/13)

#### 皆さんが考える良いと思う避難所

市古太郎

#### 課題説明・事例紹介について

#### 1.避難生活と生活回復

(1)東京都「東京仮住まい」(2020/3月発行)から学ぶ

[5分]

https://www.juutakuseisaku.metro.tokyo.lg.jp/about/leaflet\_tokyokari.html

#### 2.動画映像で避難所環境を知る.

#### (1)1995 年阪神・淡路大震災における避難所

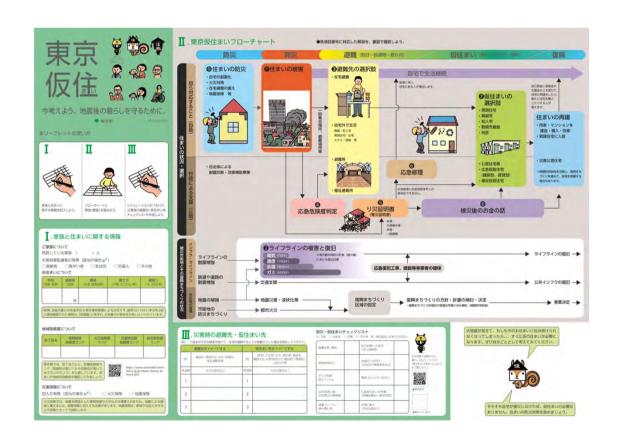
[5分]

・しあわせ運ぼう(神戸市教育委員会作成の防災学習教材)

#### (2)2016 年熊本地震における避難所

[8分]

- 学校避難所 (西原村河原小)
- ・紙管間仕切り
- ・益城町保健福祉センター

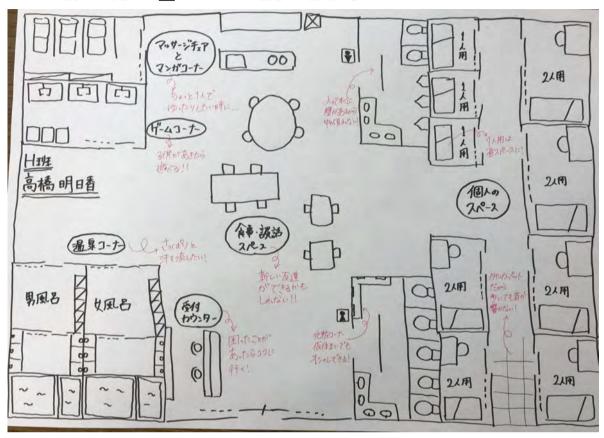


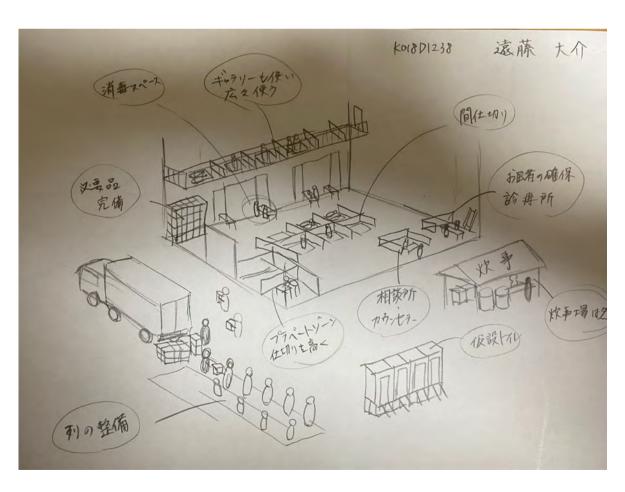
#### ◇受講生の提出物\_KJ法

岡安 田平 相川 酒井 笠井	<b>柔らかい床 高齢者 クッションフロア</b> バリアフリー 段差の解消、スロープ <sup>1位</sup> 清潔感のある水回り 3位 専有面積は小さく、開放感	布団 ものを揃える 2位 温泉があったらいい 清潔 動線確保 空調設備 寒い、暑い 泥雑を避ける 道を広くする	
ソフト	明るくなるような空間 照明 三位 コミュニケーション レクリエーションをやる - プライベートとパブリックの分離 二位 静かな空間	一位	



◇受講生の提出物\_\_スケッチ「理想の避難所」





### 〇第11回、第12回(2020年11月20日) 実証記録

#### ◇タイトル

第11回「建築・まちづくり事例講義」

第12回「建築設計における参加型のデザイン」

#### ◇日時

2020年11月20日(金)

第11回 13:00~14:30 第12回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「建築とまちづくりとの関係を事例を通して学ぶ。」 「建築設計における参加型の設計プロセスを事例を通して学ぶ。」

#### ◇担当講師

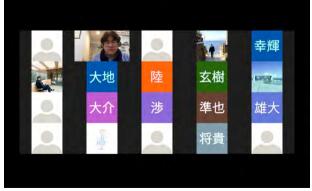
講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 三井所清典、連健夫

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/11/20 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座

:担当 松村 No111201

#### 第 11 回 第 12 回 授 業 概 要

#### 目的

「建築とまちづくりとの関係を事例を通して学ぶ。」 「建築設計における参加型の設計プロセスを事例を通して学ぶ」

#### STEPO : 授業概要

• 3時間目 13:00-14:30 全員出席

第11回「建築・まちづくり事例講義」

第12回「建築設計における参加型のデザイン」

出席確認→ガイダンス→動画視聴ほか→再集合

#### 授 業 1 : 動 機 付 け 15分

- ○実例を通じたまちづくりの問題意識を質問しながら提示
- ○動画講義 視聴
- ○レスポンスペーパーの提出

講義内容の要約はなく、理科した上での感想や意見を聴取

〇本日 前半の最集合時間をアナウンス

#### 授 業 2 : 動画視聴 100分

○質問がある人は残って聞くように指導

#### 授 業 3 : 質 疑 15分

- ○学生に逆に質問などをぶつけてみるトライもしてみる。
- ○参加のデザインについてその意義について

#### 宿 題

特になし

#### 〇第8回(2020年12月2日) 実証記録

◇タイトル

第8回「地域特性を活かす規制や法律」

#### ◇日時

2020年12月2日(水)

第8回 13:00~14:30

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「なぜまちづくりにルールが必要なのかを含め、地域特性を活かすルール、 規制や法律、まちづくり条例について学ぶ」

#### ◇担当講師

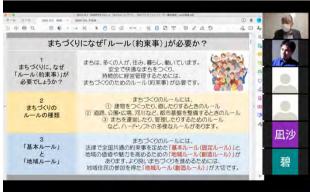
講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 特別講師 松本 昭(チームまちづくり)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材





2020/12/02 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

Ver02 No0801

: 担当 松本昭先生 助手 松村

地域特性を生かしたルール・規制や法律・まちづくり条例とは?

※zoomで共有する資料 教科書\_学生へは教科書必携とすること事前アナウンス

日 時 • 対 象

日 時:2020年12月2日(水) 13:00~14:30\_on zoom

受講生:日本工学院専門学校建築学科3年58名

#### 目的

なぜまちづくりにルールが必要なのか?を含め、地域特性をいかすルール、規制や法律、 まちづくり条例について学ぶ

#### Step 0 : 講師集合 15分 (12:45-13:00)

開始 15 分前に講師の方待ち合わせ会場入り。

※講師松本先生\_用意した I pad、松村 PC にて教科書を共有できるようにオペレーション 事前にマイクテストなど

#### Step 1 : 前 段 10分 (13:00-13:10) 担当:松村

- ・松村から開始の挨拶の後、出席確認・前段の説明を行う。
- ・講師紹介 松本昭先生から一言

#### Step 2 : 講 義 70分(13:10-14:20)\_担当:松本先生

松本先生から講義。オペレーションは松村が行う。

実証講座テキストを共有で写して解説

#### Step 3 : 質 疑 10分(14:20-14:30)

学生から質疑応答

#### 終 了 (14:30) 休憩10分

提出物 感想、質問を中心としたレスポンスペーパー (200-300 字程度) 当日中に提出予定 採点などは基本、助手の松村が行う予定。

松本先生終了解散。

#### 〇第13回(2020年12月4日\*1) 実証記録

\*1:新潟工科専門学校との日本工学院専門学校の合同授業

#### ◇タイトル

第13回「参加型デザインによる実例見学」

#### ◇日時

2020年12月4日(金)

第13回 13:00~14:30

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「参加型の設計プロセスによってできた事例を訪問、見学し、 利用者へのヒアリングを含め、学ぶ。」

#### ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

新潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校)

実践·動画講義 連健夫(JCAABE代表理事)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材



2020/12/4 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 : 担当 連健夫先生、仁多見透先生、榎美和子先生 松村

No1301

#### 第 13 回 授 業 概 要

目的

「参加型の設計プロセスによってできた事例を訪問、見学し、 利用者へのヒアリングを含め、学ぶ」

#### STEPO : 授業概要

• 3時間目 13:00-14:30 全員出席

第13回「参加型デザインによる実例見学」

出席確認→ガイダンス→動画視聴ほか→再集合

#### 授 業 1 : 動 機 付 け 15分

- ○実例を通じたまちづくりの問題意識を質問しながら提示
- ○動画講義 視聴
- 〇レスポンスペーパーの提出

講義内容の要約はなく、理科した上での感想や意見を聴取

○本日 前半の最集合時間をアナウンス

#### 授 業 2 : 動画視聴 45分

○質問がある人は残って聞くように指導

#### 授 業 3 : 質 疑 15分

特別講師として連健夫先生が質疑を回答

○学生に逆に質問などをぶつけてみるトライもしてみる。

#### 宿 題

特になし

○第14回、第15回、第18回(2020年12月9日) 実証記録 ◇タイトル

第14回「リノベーションまちづくり概論」

第15回「リノベーション事例見学」

第18回「インスペクション・耐震化・不燃化概論」

#### ◇日時

2020年12月9日(水)

第14回、第15回 13:00~15:00

第18回 15:10~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「リノベーションとは何か?まちづくりとの関係、事例を通して学ぶ。」 「リノベーションの先進事例について見学を通して学ぶ。」 「インスペクション、耐震化と不燃化の技術、方法、助成制度の仕組を、木造、

RC造、S造の構造別に理解する。」

# ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 連勇太朗 向田良文

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/12/09文科省事業まちづくりファシリテーター養成講座VerO1: 担当 松村哲志No14\_15\_1801

#### リノベーション・動画見学・インスペクション

日 時 • 対 象

日 時:2020年12月9日(水) 13:00~16:10\_on zoom

受 講 生:日本工学院専門学校建築学科 3年 58名

#### 14回\_前 段: 10分(13:00-13:10)

出席確認、本日の流れなど確認

リノベーションまちづくりの動きと実践 講義に向けた意識づけ\_再集合時間 14:10

講義 14\_「リノベーションまちづくりの動きと実践」 : (13:10-14:10) 動画55分

#### 14回\_まとめ、15回\_実践前段: 10分 (14:05-14:15)

出席確認、本日の流れなど確認

リノベーションまちづくりの動きと実践 講義に向けた意識づけ

学生からの質問

実践 15\_「リノベーション事例動画見学」 : (14:15-15:00)\_動画 42 分

#### 15回\_実践まとめ、18回\_前段: 10分(15:00-15:10)

出席確認、本日の流れなど確認

リノベーションまちづくりの動きと実践 講義に向けた意識づけ

学生からの質問

#### 講義 18\_「耐震化、不燃化、インスペクションの実際」 : (14:10-16:00)\_動画 39 分

休憩を含む(10分) 50分とする→再集合時間 16:00 であること要確認

#### 質 疑・宿 題 の 出 題 5分(16:00-16:10)

学生から質疑応答

宿題の出題

#### 提出物

レスポンスペーパー 14\_15\_18

YWT シート 15 見学動画

HW ひび割れ写真 2 + 状況写真 2 4枚

# 資格としての合格 全ての提出物 遅れても提出

# 講義としての合格 日本工学院の基準

# 〇第16回、第17回(2020年12月16日) 実証記録

#### ◇タイトル

第16回「エネルギーとまちづくり」

第17回「エネルギーとまちづくりの実践」

# ◇日時

2020年12月16日(水)

第16回 13:00~14:30

第17回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「SDGsとまちづくりの関係、エネルギーとまちづくり、

省エネ技術について学ぶ。」

「オフグリッドの実践事例を通して、エネルギーとまちづくりを捉える。」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

動画講義 北村 稔和

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材



2020/12/16 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

:担当 松村哲志

坐 Ver01 No16\_1701

#### 自然環境 ・ エネルギー を取り巻く状況 と まちづくり の 関係

#### 日 時 ・ 対 象

日 時:2020年12月16日(水) 13:00~16:10\_on zoom

受 講 生:日本工学院専門学校建築学科 3年 58名

#### 16 回 17 回 前 段: 10 分 (13:00-13:10) 動画合計 70 分

出席確認、今後の予定、資格としての価値(パナ、大東建託)、そのためには課題全提出本日の流れなど確認、(RP すぐかく YWT 少し経ってからかく振り返り)

自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係 講義に向けた意識づけ 見学動画 Fujisawa sst ホームページ動画も視聴すること

再集合時間 14:30

講義 16\_「自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係」 : (13:10-14:10)

#### 動画 29 分

2本

実践 17\_「エネルギーとまちづくりの実践(見学)動画」 : (14:15-15:00)\_動画 38 分

HP 紹介動画 + インタビュー動画 2本

#### 質 疑・宿 題 の 出 題 5分(14:30-14:45)

学生から質疑応答

宿題の出題

#### 提出物

レスポンスペーパー 16 17

YWT シート 17 見学動画

HW ひび割れ写真 2 + 状況写真 2 4枚

少しポイント これから提出する人 ファイル名を名前をつけておくと後で作業しやすい 方法 スマホタブレットの場合 一旦ファイルに保存 そうするとファイル名が変更可能

# 資格としての合格\_全ての提出物\_遅れても提出 講義としての合格\_日本工学院の基準

○第19回、第28回(2020年12月18日) 実証記録 ◇タイトル

第19回「インスペクション・耐震化・不燃化概論」 第28回「まちづくりフィールドワーク実習①」課題出題

# ◇日時

2020年12月18日(金)

第19回 13:00~15:30 第28回 15:30~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「インスペクション、耐震化と不燃化の技術を用いた演習を行う」 「まち歩きのコメントが入ったビデオを見て、 まちの読み取り方を学び、各グループでまち歩きを行う」

# ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 向田良文

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/12/9 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 向田先生 助手 松村 Ver01 No1900

#### イ ン ス ペ ク シ ョ ン 演 習

宿 題

# 「自宅を一周回って建物の『ひび割れ写真』と『その周りの写真』を 撮影してこよう!」

#### 提出物

自宅もしくは住んでいる家の周りを一周回って建物のひび割れを見つけて写真を取ってきてださい。

1 自宅を一周回って見つけた建物のひび割れの写真

2箇所以上

2\_見つけたひび割れの状況がわかるように、その周りの写真 各ひび割れに対して1箇所以上 →合計 4枚以上

(写真撮影のポイントについて下記の注意をよく読んで撮影すること)

# 撮 影 の ポ イ ン ト

#### 1\_「ひび割れの写真」

ひび割れのはば、大きさなどがわかるように、スケールを当てて 撮影してください。

#### 2\_「その周りの写真」

ひび割れのようす、その周囲のようすがわかるように、工夫して 撮影してください。

ひび割れの長さはどのくらいですか?

ひび割れは建物のどの部分にありますか?

ひび割れの周りに何がありますか? (窓、配管など)

見つけたひび割れの周りに別のひび割れはありませんか?

などなど

・周囲のようすをわかりやすくするために、平面や立面など略図を 添付してもかまいません。

#### 共通事項

- ・無理のない範囲で、安全に留意して撮影してきてください。
- アパートやマンションの場合は道路から見える範囲で、他の住人の 迷惑にならないよう社会的なルールを守って撮影に望んでください。
- 建物外部にひび割れがなければ内部や塀、タタキなどでもOKです。

# 提出期限

2020年12月17日(木)

#### 提出場所

クラスルーム出題の宿題 (課題)

※12/18(金)の実践で使いますのでデータは提出後も各自で保存しておいてください。



ひび割れ写真の例



周りの状況写真の例

2020/12/19 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

: 担当 向田先生 助手 松村

ンスペク

準備 12:30 に講師の先生は会場入り。打ち合わせを行う。

#### 目的

インスペクション耐震化不燃化に関する演習を行う。具体的には

- ・収集してきた宿題のひび割れについて学生なりの判定を行いインスペクションの模擬体験
- インスペクションの重要性、そこからどのように今後、学んでいくかを意識づける

#### HW: ひび割れとその周りの写真提出 宿題 (事前に出題を行う)

前週に宿題として全員に各自以下のものを撮影し、クラスルーム課題提出

1\_自宅を一周回ってひび割れの写真

2 箇所以上撮

Ver02

No1901

2\_そのひび割れの状況、周辺もわかるような写真 各ひび割れに対して1箇所 →合計 4枚以上(写真撮影のポイントについて別添宿題を参照

前段: 出席確認・講師紹介・課題説明など 20分(13:00-13:20)

上記と合わせて意識づけを行う。その上で本日の流れを説明する。

#### Step 1 : 自己紹介→張り込み作業 15分 (13:20-13:35)

クラスルームに挙げられた班ごとの google スライドを使用して行う。

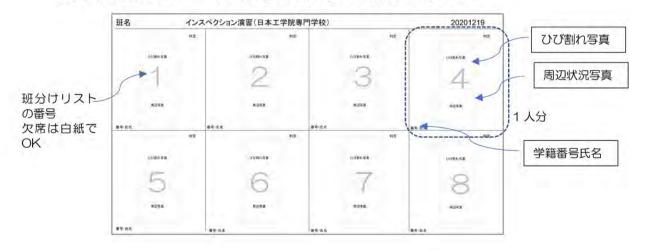
Zoom は繋げながら行ってコミュニケーションを取りながら進めてね!

[提出書類作成] 一各自作業(といいても共同作業の意識と楽しさを忘れないでね!)

- ①各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。 つながりはまちづくりの基本!番号や描く位置も確認してね!
- ②クラスルームの課題、グーグルスライドを全員開く。(できれば zoom そのまま)
- ③グーグルスライドに各自「ひび割れ写真」と「周りの状況」を貼り付ける。

[挿入] [画像] 写真の保存先 →写真が選択されている状態で大きさを調整

- ③貼り付ける「ひび割れ写真」は最も大きなひび割れを選ぶこと。
- ④上部に各自学籍番号・名前を記入。また上にひび割れ、下に周辺の状況写真とする。 スライドの上部ツールバーのT字が書いてあるツールがテキストツール



イ ン ス ペ ク ショ ン 演 習

Step 2 判定(各班) : ディスカッション 15分(13:35-13:50)

# 「提出したひび割れ写真を用いて判定を行ってください!」

- 1\_1人ずつ、提出されたひび割れについて見ていこう!
- 2\_判定を行っていこう!\_班長を中心に皆で話し合って決めていく\_書記が記録
  - 〇:問題なし
  - ×:不可、補修の必要あり
  - △:要詳細調査、経過観察
- 3 上記の理由を明確にしてください。
- 4\_判定の下に理由を記入しよう!
- 5 今回は皆で話すことが大切です。まずはやってみよう!
- 6\_できたら保存して提出してください。
- 7\_提出時間 13:55 を目安に完了してください。
- 8\_司会は時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう! 例、話し合い1人2分(記入しながら) 8人 16分

まとめ(基準を明確にする)4分 合計20分

- 9\_タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 10\_終了したら記録係・書記は画像もしくは写メを保存してクラスルームに提出してください。
- 12 時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

Step 5 提出確認 : 5分 (13:50-13:55)

確認出来次第、次へ

Step 6 発 表 : 30分(13:55-14:25)

発表 9チーム

1 チーム 1 分3 O 秒 発表 1 分3 O 秒 コメント 3 分 9 チーム 27 分 予備 3 分

#### Step 7 まとめ : 5分 (14:25-14:30)

講師から以下の点について講義の補足を行う。

- インスペクションの重要性と難しさ →今後専門に学ぶ必要性もある!
- インスペクションを学ぶためにはどのようにすれば良いか?

今まで、これからの建築士に関する勉強の重要性

必要がある人はインスペクション専門の講習の受講や専門家につなげる大切さん

向田先生から一言メッセージ

質疑 来週に向けて

# ◇受講生の提出物





# ◇28 まちづくりフィールドワーク演習 課題発表資料

2020/12/18 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 連健夫先生 、松村 No3001

#### まちづくりフィールドワーク 演習

├ 課 題 表 ―

目的

まとめ課題としてこれまでの講座を踏まえてまちづくりフィールドワーク実習を行う。

- ・まち歩きを行い、まちをみること、まちの資源を見つけることの演習を行う。
- ・また、その見つけた資源を生かすための提案を行う。

#### 課 題 1

# 「指定されたエリアを歩き、街の"たから"と"あら"を見つけて ショートムービー(動画)を撮影しアップしてみよう!」

場 所 : 添付した大田区蒲田近辺の地図のエリア A、B、C ※別添資料参照

班ごとにディスカッションしてエリアを最初に決め、そのエリア内で見つけてくること。

●提出期間:2020年12月 18日(金)~2021年1月29日(金)

※2021年1月22日(火) 中間ディスカッション予定(授業内)

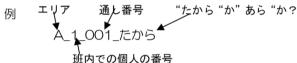
提出物1:ショートムービー(動画)

#### 動画のルール

- 1\_長さは 10 秒程度としてください。固定画面ではなく移動を取り入れたり、動きを移すなど動画であることを生かして撮影してください。
- 2 コメント入れて動画を撮影してください。

例 撮影時マイク ON にして「道が細いのですごい賑わいです!」などコメント添付

- 3\_1 人一本以上、複数提出して OK。(加点します!)
- 4\_たから・あらがわかりやすく撮影しようね!
- 5\_ファイル名を変えてわかりやすく投稿してください。



【ファイル名の変更方法】(スマホ・タブレットも同様)

投稿する前にファイルを保存。名前の変更をしてから投稿してください。

提出場所:クラスルーム課題に各自提出してください。

※課題完了は最後まで行わないでくだい。提出取り消しを行うことで動画の追加ができます。

# 提出物2:マップ(手書きで動画撮影ポイントをマッピング)

配布された各エリアのマップに撮影したポイントを記入してください。

動画の撮影ポイントがわかりやすく、アップした動画のファイル名を記入してください。

提出場所: クラスルーム課題に各自提出してください。

- 1\_マップに手書きで記入していきましょう。
- 2 ポイントは漏らさず記入。写メを撮影して提出してください。(なるべく真上から)
- 3\_マップは動画撮影が終わった後、最後にまとめて提出してください。

#### 課 題 1,5

- ・他の人の動画を見て提出物にコメントしてください!(20文字以内でコメントしてね!) [方法] グーグルドライブリンクをメール\_リンク内で視聴コメント可能
- コメントがどのくらい盛り上がるかも採点対象です。ぜひどんどんコメントしましょう!
- ・コメントを入れた人は内容によって加点をいたします。

2020/12/18 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 連健夫先生 、松村 No3002

#### まちづくりフィールドワーク 演習

課 題 2

# 「エリア内でサイトを決めて街の"たから"と"あら"を使って それらを活かした提案をしてみよう!」

※ "アラ"を解決する、"タカラ"を活かす提案であることが評価のポイントです。

場 所:各班のエリア内で集めた動画などを参考にしてサイトを決めてください。

サイト: 敷地とその周辺(本課題では提案を行う場所を表す)

※中間エスキス(1/22)でサイトを候補2~3箇所程度に絞り、決定。 分析は終了し、提案の作成へ移っていきます。

●中間レビュー提出:2021年1月29日(金)授業時間内でまとめて提出提出場所:クラスルームにて1月29日、課題として出題しますので提出してください。※グループで1案(2枚以上) 提出してください。

# 最終提出物:提案スケッチ(A\_分析+B\_提案)

- 各グループにグーグルスライドの提出用紙2種類を配布いたします。一つは A\_分析、もう一つは B\_提案のファイルです。以上で2枚以上提出しください。
- 分析と提案は明確にわかるようにしてあればレイアウトは自由とします。
- ・指定したサイトがわかるようにしてください。 配布マップなどうまく使ってね!
- 第一課題の動画などもうまく利用しよう!動画をスクリーショットなどで画像にしておいたりすると材料で使えて便利です。
- ・手書きスケッチの写真での張り込みなどデジタルとリアルをうまく混合してください。
- ・綺麗に作るよりもいかに話し合いをしてその意図を表現するかを考えてください。綺麗さを求めるわけではなくアイディアをいかに伝えるか、こだわりを持って行ってね!
- 絵や図などビジュアルでわかりやすくすることも大切です。
- タイトルをつけてください!

#### 参考資料

• 連健夫先生 提案例参照

#### 発 表

2021年2月5日(金) 13時00分から 発表会を行います。

- ・中間レビュー 2021年1月29日(金) 最後に全ての班に発表をしていただきます。詳細は後日発表いたします
- ※なおブラッシュアップ後 発表会用再提出 再度指示予定

2020/12/18 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 連健夫先生 、松村 No3003

# ま ち\_づ く り フ\_ィ ー ル ド ワ ー ク 演 習

進め方

○まちづくりフィールドワーク実習① 課題出題

※第 18 回 インスペクション演習\_13:00-14:30 の後出題予定

2020年12月18日(金) 14:40-15:40

担当:松村

• 挨拶、前段

・課題出題、班わけの発表

・各班 話し合い エリア極め

まとめ 10分

○まちづくりフィールドワーク実習①\_ex 進捗共有、中間エスキス①

2021年1月22日(金) 15:00-16:10 担当:松村

※第21、26、27回 ディスカッション\_13:00-14:50(100分)の後

- 挨拶、班ごとでこれまで提出された動画について話し合い。
- ・動画のマッピングを行う。(班毎、色分けして個人の撮影ポイントをまとめる。)
- ・最終的にサイト候補を絞り切る。
  - →A\_分析は中間 up し、提案の方向性まで進めるイメージ。

ただし今後のエスキス、レビュー含めてブラッシュアップがあることをうまく使う

# 〇まちづくりフィールドワーク演習②\_ex まとめ作業準備と確認、中間エスキス②

2021年1月29日(金) 13:00-14:00 担当:松村

- ・テーマとする"タカラ""アラ"の動画を確認
- マッピングの確認

・サイトの決定と方向性の確認

• 資料の確認

他

※第23回 実践\_17:00-18:30 (90分)

○まちづくりフィールドワーク演習②\_ まとめ作業、まとめ、提出、中間レビュー

2021年1月29日(金) 14:10-16:10担当:連健夫先生、松村

- 前段
- まとめ作業に向けてポイント
- まとめ作業
- •中間提出
- ・中間レビュー

#### ○まちづくりフィールドワーク演習③\_ex \_ 発表会準備、確認とリハーサル

2021年2月5日(金) 11:00-12:00 担当:松村

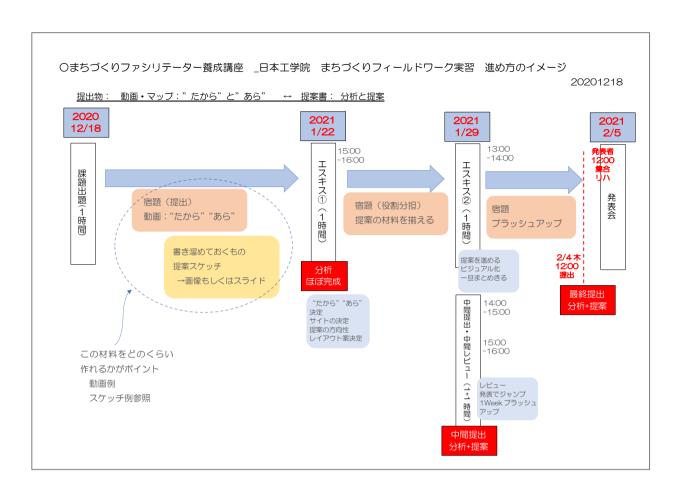
・ 発表会準備の確認他

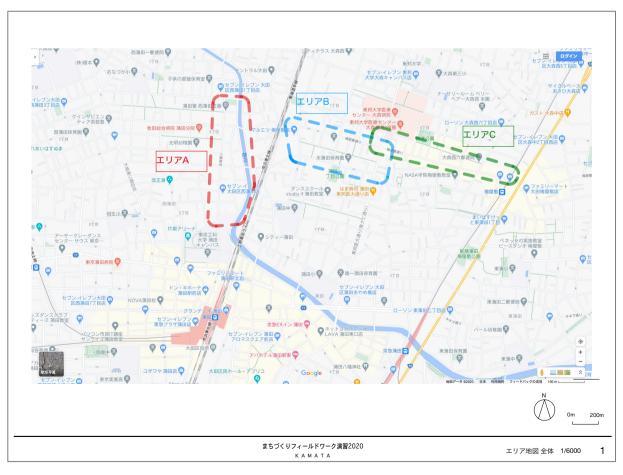
Oま<u>ちづくりフィールドワーク演習③\_ 発表会</u>

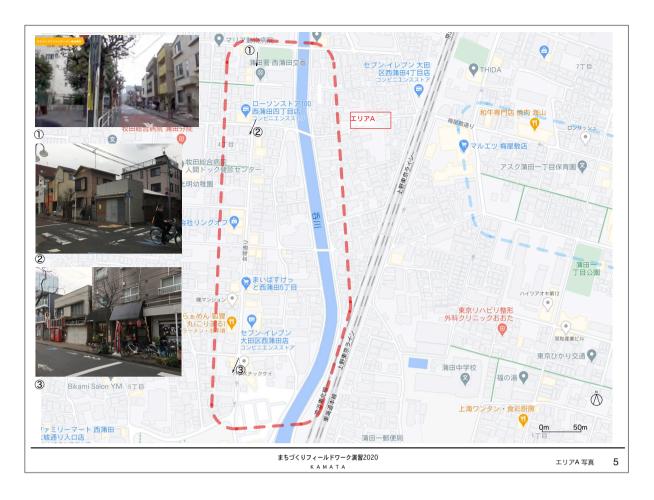
2021年2月5日(金) 13:00-16:10

担当:連健夫先生、古賀先生、今泉先生、松村、実証分科会委員、検証委員他

- 前段、課題説明
- •代表発表 15分(動画3分\_提案5分 7分質疑) ×6班(麻生2、日工4班)
- 講評まとめ











# 〇第24回、第25回(2021年1月6日) 実証記録

#### ◇タイトル

第24回「今後の不動産業、宅建士の役割」

第25回「宅建士 演習」

# ◇日時

2021年1月6日(水)

第24回 13:00~14:00

第25回 14:10~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「今後の不動産業、宅建士の役割、マイナス不動産の活用を学ぶ。」 「不動産業の初歩的実務の演習を行い、その特徴と留意点を学ぶ。」

#### ◇担当講師

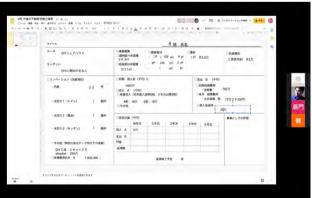
講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 田中 裕治

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2021/1/6 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

: 担当 田中裕治先生 助手 松村

Ver04 No2401

#### 今後の不動産宅建士の役割 演習

- 課題表 -

#### 目的

不動産業の初歩的実務の演習を行い、その特徴と留意点について学ぶ

・具体的には空き家活用に向けた活用方法の提案とその事業計画を作成することで不動産的 な視点からのマネジメントなどを体験する

#### 課題

# 「テーマとして資料を提示した空き家について、テーマを決め、 シェアハウスとして活用する際の事業計画を作成してみよう!」

※ビジネスとして成立することを目指してください!

サイト:京都府京丹後市峰山町 旧市街にある元ちりめん問屋 ※別添 資料参照

#### POINT

- ・立地やニーズを踏まえた上で活性化に繋がるテーマを設定してください。
- ・テーマを魅力的なものとするリノベーションの改装費を自分たちなりに試算してみよう!
- ・シェアハウスの入居者(ターゲット)を決め、入居者数、家賃を設定してみよう!
- ・稼働率(入居率)について設定してみよう!基本としては 初年度 80%、2年目以降 90%として計算してください。

#### 最終提出物:事業計画案(グーグルスライド)

- 各グループにグーグルスライド(宅建士演習)を各班一枚を提出を行なってください。
- ・各班にクラスルームの課題として出題いたします。

#### 提出

提出場所 : グーグルクラスルーム 課題にて 各班 1 人

・提出時間 : 別添にて指示

#### 発 表

3班 (発表時間 2分 + 質疑 2分) 計4分

2021/1/6 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 田中裕治先生 助手 松村

Ver04 No2402

#### 今後の不動産宅建士の役割 演習

ー 当日レジュメ ー

13:00 から田中裕治先生の動画講義視聴(約1時間) その後、質疑を行い休憩。

前 段 (説 明): 14:10-14:30 (20分)

出席確認後田中裕治先生をご紹介。下記の進め方について説明を行う。

#### 提 案 (進 め 方): 14:30-15:10(40分)

- ①ブレイクアウトルーム に入って挨拶。司会とタイムキーパー、記録係を決めよう!
- ②まずはテーマについて話し合ってみよう!\_テーマで事業性も変わってきますよ!
- ③テーマが決まったらそこに必要なリノベーション費用を検討しよう!

リフォーム費用の基本(等課題用の設定した参考とする)

内装(仕上げー般): 坪15万(フローリング5万/坪、壁4万/坪、5万/坪)

トイレ新設1箇所 30万

バスルーム新設 1 箇所: 8 0 万 キッチン新設 1 箇所(L=2400) 100 万

上記の概算をもとに概算してみよう!

- →これが初期の借り入れ費用となります。
- ④収入部分について検討しながら記入していこう
  - ・家賃は?・共益費は?
- ⑤支出を考えてみよう!
  - ○ランニングコストは以下を参考に試算してください。(月額)

電気 12,000 円/月 、 水道 6,000 円/月 、 灯油 18,000 円/月 、

火災保険 3,300 円/月 、 区費 1,000 円/月 、 汲み取り 12,000 円/月 、

wifi5000 円/月 、 共有部清掃・備品購入 5,000 円/月 合計 62,300 円/月

- 〇固定資産税(年間) 24,600円/年
- ⑥タイトルをつけることも忘れないでね!
- ⑦時間配分モデル

挨拶と役割決5分→テーマディスカッション10分→テーマ決定5分

→改修費用・家賃など作業20分→提出

提 出 確 認(発表選抜): 15:10-15:20(10分)

発表: 15:20-15:40(20分)

3 班発表 1 班: 発表 2 分 + 講評 2 分 計 4 分 × 3 班 1 2 分 予備 3 分

ま と め: 15:40-16:10(20分)

田中裕治先生から(現状の解説など)

次回に向けての確認

# ◇受講生の提出物

タイトル 農業で町づくり	4 班 氏名	空岡、中村、岡村、保	科、島原、畑、臼見
<sub>テーマ</sub> 自給自足 <sup>ターグット</sup> 都会からの移住者	211.30 <sub>○収益部分床面積</sub> (14 <sup>㎡)</sup> 1 戸 2 m (16 <sup>㎡)</sup> 1 戸 3	<sup>料</sup> .5万 .8万 万	○ <sup>共益費他</sup> 共有部分使用費2万
	所 □初期 借入金 (千円) C 600万 □収入 A (千円) ○家賃収入 (初年度入居率8割、2年次以降9割) 153.6万 ○その他	□支出 B (千円) ○初期投資費用 ・改修費 ○各年 経費費用 ・火災保険、税 ○借入金返済	0万 100万 600万
・水回り2 (風呂) 1 箇所 80万×1か所 80万 ・水回り3 (キッチン) 2 箇所 100万×2箇所 200万 ・その他 (特色のあるテーマ向けての改修) 農業道具60 ○改修費所計 ¥ -	□収支計画(千円)	53.6万	事業としての評価

タイトル					_	5 班 」	氏名 🕯	鈴木・上田	1・塩田・岡田	・佐	藤・荒谷
−マ DIYシェアハウス −ゲット DIYに興味がある人		□事業概要 ○賃貸部分 ○賃			○賃料 1 戸 月3,5万		○共益費他 工房使用料 月2万				
□リノベーション(改装項目)			□初期 借	入金(千円)	С			□支出	B (千円	3)	
- 内装	2 2	坪	□収入 A	,	居率8割、2年》	欠以降9割)		· ○各年	明投資費用 改修費 F 経費費用	1	92万
・水回り1 (トイレ)	1	箇所	8割:316.8万 9割:356.4万 ○その他				·火災保険、税 77万 2 千200円 ○借入金返済 月20万				
・水回り2(風呂)	1	箇所	□収支計画	□収支計画(千円)							事業としての評価
				初年次	2年次	3年次	4 4	<b> </b>	5年次	!	
・水回り3(キッチン)	1	箇所	収入A	316.8万	356.4万	356.4万	356.4	万	356.4万		
		支出 B	 - - 77.2万	77.2万	77.2万	77.27	5	77.2万	1		
・その他(特色のあるテー	マ向けての	改修)	利益	 ¦ 239.6万	279.2万	」 279.2万	- † ¦ 240万	+ -	 279.2万	 	
DIY工具:2セット2万 shopbot: 250万			返済額	   240万 	」 279.2万	240万	240万		40万	1	
•											

# 〇第22回、第23回(2021年1月8日) 実証記録

# ◇タイトル

第22回「建築と不動産」

第23回「建築と不動産 演習」

# ◇日時

2021年1月8日(金)

第24回 13:00~14:00 第25回 14:10~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

# ◇目的

「建築と不動産、経営、税金について理解する」「建築と不動産、経営等を捉えて、演習を行う」

#### ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 高橋寿太郎

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材





2020/12/18文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座VerO1: 担当 高橋寿太郎先生助手 松村No2300

建 築 と 不 動 産 演 習 宿 題 「宿 題」

# 「資料動画を視聴し、対象エリアの

# "たから"と"あら"を見つけよう!」

※今回の目標は何かしらの価値を作り出すことです!

#### 対 象 エ リ ア:本課題において対象とする地域

千葉県いすみ市国吉駅周辺

別添 PDF参照

# サ イ ト : 建築と不動産演習にて対象とする敷地とその周辺

A 駅前旧タクシー会社出張所 建物 B 駅前旧タクシー待合 建物

C\_Nすみ鉄道 国吉駅前広場 D\_Nすみ鉄道 国吉駅裏 原っぱ 別添 PDF 参照

#### 提出物

- 1\_対象エリア・サイトの"たから"と"あら"についてあげてみよう!\_(分析)
  - →グーグルスライド で提出 たから・あら 各10 以上
- 2\_上記の分析について"たから"を活かした"あら"を改善する提案のたねスケッチ2枚以上
  - →グーグルスライド で提出

方法1\_手書きスケッチ写真貼り付け or 方法2\_グーグルスライド で描く

※たからとあらについては配信された課題の添付ファイルを使って作成。

その余白にアイディアのタネを描いてみよう!

#### ポイント

- まずはいすみ市について自分なりに調べてみよう! ホームページなどで概要を調べることは大切です! グーグルマップのストリートビューも活用しようね!
- その上で提供された資料動画を見てみよう!
- ・まだ、あくまでアイディア出しです。このあとチームで協働して提案をまとめる準備

#### 提出期限

2021年1月7日(木)

#### 提出場所

クラスルーム出題の宿題(課題) ※1/8(金)の実践で使いますので データは提出後も各自でも 保存しておいてください。



提出フォーム

2021/1/8 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

: 担当 高橋寿太郎先生 助手 松村

Ver02 No2301

建築と不動産演習

一 課 題 表 一

#### 目的

建築と不動産、経営などを捉えて、演習を行う。

エリアマネジメントの観点から現在の状況を踏まえた空き家およびその周辺について利用 提案を行う。

#### 課 題 1

# 「指定されているサイトを利用して"たから"と"あら"を使って それらを活かした提案をしてみよう!」

※ "アラ"を解決する、"タカラ"を活かし、何らかの価値(Value)をつくること。

サイト: 千葉県いすみ市国吉駅周辺のA、B、C、Dとする。 ※別添 資料参照

# POINT

- ・継続性を持てるように意識し、何らかの価値(Value)をつくることを考えること
- サイトについてはそれぞれ制約があることをお考えください。 別添 資料参照

# 最終提出物:提案スケッチ(A\_分析+B\_提案)

- 各グループにグーグルスライドで各班一枚以上、提出を行なってください。
- 分析したどの"たから""あら"を使ったか明確にしてください。
- 手書きスケッチの写真での張り込みなどデジタルとリアルをうまく混合してください。
- ・綺麗に作るよりもいかに話し合いをしてその意図を表現するかを考えてください。綺麗さを求めるわけではなくアイディアをいかに伝えるか、こだわりを持って行ってね!
- 絵や図などビジュアルでわかりやすくすることも大切です。
- タイトルをつけてください!

#### 提出

・提出場所 : グーグルクラスルーム 課題にて 各班1人

・提出時間 : 別添にて指示

# 発 表

選抜 3班

2021/1/8 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

助手 松村

Ver02 No2302

# 建 築 と 不 動 産 演 習

一 当日レジュメ ー

13:00 から高橋寿太郎先生の動画講義視聴(約1時間) その後質疑を行い休憩。

# 前 段 (説 明): 14:10-14:25(15分)

: 担当 高橋寿太郎先生

出席確認後高橋寿太郎先生をご紹介。下記の進め方について説明を行う。

#### 提 案 (進 め 方): 14:25-15:15 (50分)

- ①ブレイクアウトルーム に入って挨拶。司会とタイムキーパー、記録係を決めよう!
- ②その後、行ってきた宿題を1人ずつ発表。スケッチも見せながらね!
  - →この時にしっかり記録を残すこと→スライドを立ち上げて記録(これまでを思い出して)
  - →最初にみんなでスライドに宿題を描く時間を作るのもおすすめ
- ②どの"たから""あら"を使い、どの方向にするか皆で話し合いを行う。(重み付け) →時間を見ながら方向性の決定を行う。
- ③決まった方向性に付け加えられるアイディアや皆の意見も取り入れていこう!
- ④案の方向が決まったら役割分担を行う。まず、表現するためにやることは何があるかあげる。それらを皆で分担して行おう!→時間が短いから効率よく行ってね!
- ⑤タイトルをつけることも忘れないでね!
- ⑥時間配分モデル

挨拶と役割決3分→宿題記載5分→発表10分→意見交換・案の方向性決定10分 →作業20分→提出

#### 提 出 確 認 (発表選抜): 15:15-15:25 (10分)

# 発表: 15:25-16:00(35分)

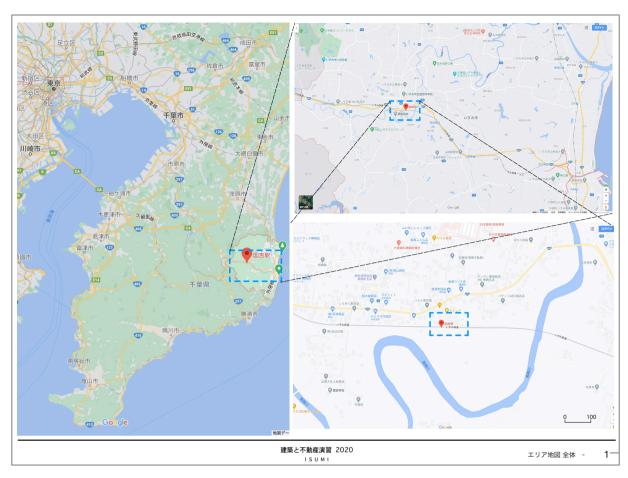
5 班発表

1 班: 発表 2 分 + 講評 3 分 計5分 × 5 班 25 分 予備 10 分

# まとめ:16:00-16:10(10分)

高橋寿太郎先生から

次回に向けての確認







# ◇受講生の提出物

テーマ・タイトル

フォレストパーク「イスミ」

あら:一般的な田舎

生み出した価値(対象も記載) 人と自然の一体

地域の方との交流

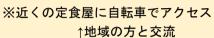
川と山を生かした観光客向けのレジャー施設

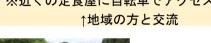
「たから」・「あら」

浅瀬:釣り、BBQ、自転車 深瀬:カヌー、SUP

たから:自然と食事 夷隅川の周りを整備して自転車走りやすくする

分析と提案









分析と提案



3班 メンバー

観光客

遠藤、青木、酒井

テーマ・タイトル 駅舎へ 一中注料器な具物のから、 ・大切かない ・具物のコケラなー、ラヤッとなれば、 ムーミン☆コラボ 「たから」・「あら」 たから・自然環 境 食材 料理 ムーミン あら・インパク トがない メ物産展在リムーミンカをいくさけるようにし 物産展の利用を請発してに ソの力をも、と信りす 生み出した価値(対象も記載) もっとおしたしていく () 图·张州 ) 27年11七代 ムーミンで町おこ モン世界感を土力 7班 メンバー 榎本 田中 妻元

森田 中根

# ○第21回(第20回事例動画視聴振り返り)、第26回、

第28回ex(2021年1月22日) 実証記録

#### ◇タイトル

第21回「修復実例見学」

第26回「空き家空き地活用概論」

第28回「まちづくりフィールドワーク実習①」ex

# ◇日時

2021年1月22日(金)

第16回 13:00~14:30 第17回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

# ◇目的

「空き家空き地の現状、問題点と課題、その解決策、行政の対応や助成制度、 担い手について学ぶ。」

# ◇担当講師

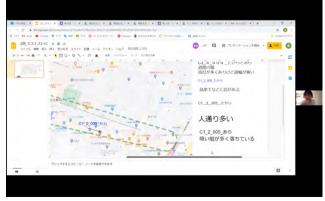
講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 動画講義 大倉宏、饗庭 伸

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

◇配布資料、教材





2021/1/22文科省事業まちづくりファシリテーター養成講座VerO1: 担当松村No2801

#### 保存修復 ・ 空き家空き地 ・ まちづくりフィールドワーク 演習

動画見学・講義動画 (13:00-14:45)

21\_保存修復見学動画

実践 RP+宿題YW

26 人口減少社会における空き屋・空き地という課題 RP

質 疑 (14:45-14:50) 5分

エスキス 1 (14:50-16:10)

#### 目的

- ・まちづくりフィールドワークの進捗確認。・「たから」と「あら」について話し合いを行う。
- ・エリアの中からサイトと「たから」「あら」・方向性を絞る。 3案程度

#### Step O : 事前準備

- グループごとブレイクアウトルームへ 名前の変更をしておいてください。
- ・動画、エリアマップを用意してください。

#### Step 1 : 進め方説明 10分(14:50-15:00)

講師より進め方について説明を行う。

------以下 step2~4 まで班に分かれてキャプテンを中心に実施------

#### Step 2 : 挨拶 5分 (15:00-15:05)

ブレイクアウトルームに入室。挨拶をして役割分担(班長、書記、タイムキーパー)を行う。

#### Step 3: map 記入・スケッチアップ作業 10分 (15:05-15:15)

- ・自分の撮影した動画の位置をシート「エスキス 1-1」に矢印で記入。
- 自分が描いてきたスケッチを貼り付けよう!

Point →スキャンアプリなどを使用してみよう!

#### Step 4 : 「たから」と「あら」動画の確認 とディスカッション 20分 (15:15-15:35)

- ・メンバー1 人ずつ おすすめを発表しよう!
  - →1 人ずつ撮影した動画を見ながら「たから」と「あら」を確認する。
- その意見をもとにディスカッションしてみよう!
  - →ディスカッション内容は「エスキス1-1」余白部分にまとめながら記入する。
- ・目標はまちの「たから」と「あら」を発見し、提案を行うこと。そのサイトを絞ることも考えながらね! →スケッチも見ながら進めること! +アルファでどんどん描こう!

#### Step 5 : まとめ 20分 (15:35-15:50)

- 本日は中間として3箇所程度に絞ってください。
- ・ 今の段階での重み付けもして見てね! 第一候補、第二候補、第三候補(今の段階で)

提出 : 15:50-15:55

#### Step 6 : 発表・次回に向けて 10分 (15:55-16:05)

3チームに代表して成果を発表共有。その後来週に向けて話。

HW: 各人提案をスケッチ(図・配置など)にしてくると次回、充実したまとめになります。

# 〇第29回(2020年1月29日) 実証記録

◇タイトル

第29回「まちづくりフィールドワーク実習②」

# ◇日時

2021年1月29日(金)

第29回 13:00~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

# ◇目的

「発表(グループ別でスマホ撮影したもの)とディスカッション。」

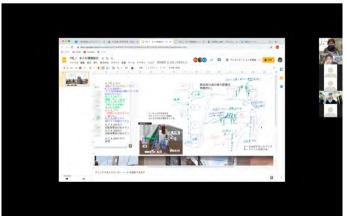
# ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 実践講師 連健夫(JCAABE 代表理事)

# ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材





2021/1/29 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

Ver01 No2901

: 担当 連健夫先生 松村

#### まちづくりフィールドワーク 演習2

※短時間でまとめるので大まかな時間配分を掴もう!

授 業 開 始 13:00 開始

↓ (40分) 1\_エスキス

チェックポイント1 13:40 まで まとめ前半 方向性 →松村 チェック確認

↓ (80分) 2\_制 作

チェックポイント2 15:00 まで まとめ 提出 → 写真で提出箱へ

↓ (65分) 3\_中間レビュー →全班発表 連健夫先生

授業終了 16:05

↓ (約 1week) ブラッシュアップ 2/3 (水)

チェックポイント3 2/5 (金) 昼 10:00 最終提出

※短時間で集中してまとめ上げる → まちづくりでは 住民とワークショップ中で

※課題の目的。 「まちの資源の発見→提案」ディスカッションを通じて協働して行う!

O\_ま と め 事 前 準 備 (前回及びメールにて指示を行った内容)

#### 前回·宿題

- ・サイトの分析 1/22 段階
- 動画のおすすめの画像
- 提案スケッチ

1 エスキス(まとめ作業前半)

#### 月 的 (やること)

A サイトの確定 B テーマとする「たから」と「あら」の決定

- → ABはどちらが先か悩みどころ
- C 現状ある材料(宿題のスケッチ、アイディア)の確認 →これらをチェック
- D 中間レビューに向けて作業をまとめ →レイアウトの方向性をチェック
- E\_次の時間への準備の指示 必要なもののピックアップ、役割分担、作業など
- ※課題の目的。 「まちの資源の発見→提案」ディスカッションを通じて協働して行う!

#### Step 1\_0 : 流れの確認 10分 (13:00-13:10)

進め方の確認を行う。→終了後、各班ブレイクアウトルームへ

#### Step 1\_1 : 各班相談 準備的エスキス 15分 (13:10-13:25)

松村がブレイクアウトルームを使って回っていくので自由に相談。

13:30 にはエスキス担当講師(松村)にプレゼンできるように班長が中心となって準備。

#### Step 1\_2: 各班相談 エスキス 15分 (13:25-13:40)

講師との相談(エスキス)→目的はエスキス!ここからさらに伸ばすこと!

順番を決めて強制的にチェックを行います。

・一旦、絞った内容、材料を並べてみよう! 説明してね! (短く的確に1分が目安)

Ver01 No2902

: 担当 連健夫先生 松村

# ま ち づ く り フ ィ ー ル ド ワ ー ク 演 習2

# Step 1 3 : 作業 (目標が決まったチームから残り時間)

できたチームからどんどん次のステージに進めていこう!

# ポイントチェック(レイアウトに悩んだら)

- 発表することを意識してみよう! A2\_1枚 分析、1枚 提案※発表に向けて 参照
- 分析は選んだ「たから」「あら」の動画のビジュアルをうちあだして貼り付けるなど工夫

2 \_ 制 作 (提案のまとめ) (13:40-15:00)

#### 目 的 (やること)

1 提案を一旦完成

各班うまく役割分担して進めていってください!

#### Step 2 1 : まとめ作業 80 分(13:40-15:00)

5分おきに各班を巡っていく。\_連先生 松村 助言もしていくので学生は講師もうまく使ってね!

#### 提 出 (提案のまとめ) (15:00)

Google クラスルームにて課題で出題 各班ー名が提出を行う

撮影、提出も含めて 18:55 時間厳守で

提出物 : A提案 スライド × 2枚 写真 + B動画:使用した「たから」「あら」

3\_中間レビュー(15:00-16:05)

#### 目 的 (やること)

1\_中間レビューを受けてブラッシュアップ 次週へ

# Step 3\_1 : 中間レビュー 65分 (15:00-16:05)

各班 説明(動画2分+案の説明2分 4分)+質疑・意見交換 3分 計7分 7分 × 9班 63分

連先生、現地講師、担当講師からの一言

#### Step 1\_4 : 発表会に向けて

各班に分かれて発表会に向けてうちあわせをおこなう。

おすすめ!\_ぜひ発表に向けてさらにブラッシュアップしていこう! 短時間でも行うことが楽しみの扉を開きます! 2021/2/5 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

Ver01 No3001

: 担当 連健夫先生 松村

まちづくりフィールドワーク 演 習3

### 発表について

プレゼンテーションを行う際のポイントについてまちづくりフィールドワーク実習の発表を例 にとって記載します。参考として発表について準備を行ってください。

#### Step 1:前提(発表時間、内容、目的)を確認しよう!

発表時間: 動画の発表3分+提案の発表4分=合計7分 発表

的: まちの "たから"・"あら" を発見し、それを生かした(改善する)提案を行う

動画

▶ 提案

#### Step 2:準備1 箇条書きにしてみよう!

自分たちの言いたいこと、考えたことを箇条書きにしてあげてみよう! 大切なことが漏れていませんか? 今、一度チェックをしてみよう!

#### Step 3:準備2 順番をつけて組み立ててみよう!

上記の筒条書きした項目に順番をつけて流れを作り組み立ててみよう!

#### ○今回の場合のオーソドックスな流れ

- 1\_班名、メンバーを(自己)紹介、挨拶をしよう!\_挨拶があるだけで発表がしまります。
- 2 今回の対象エリアを話してみよう! Ex 「A エリアについて取り組みました。」 ※初めての人もいるので必要に応じて動画や提案につながる特徴を話すとベター
- 3 対象エリアの中の選んだサイトを説明しよう。→地図でどの位置か?など
  - なぜ?このサイトを選んだか?について説明すること! →先に"たから"と"あら"を見つけてそれがある場所という場合は先に4を行い、 3に戻るという順番もあります。→卵が先か鶏が先かの議論と同じ。
- 4 選んだ"たから"と"あら"について動画を使って説明しよう。
  - エリアの中の位置
- どのような"たから""あら"か?
- ・なぜそれを選んだのか? ※分析、提案を明確にしてみよう!
- 5\_提案について1 説明しよう!
  - どの"たから"と"あら"を使ったものか?それをどのように利用したか?

  - どのような提案か?これまで学んだ視点も生かしてみよう!
- 6 提案について2 まとめてよう!
  - その提案によって街はどのように変わって行くか?・提案の目的
- 7 最後にこの提案でのメッセージを語ろう!

みんなで挨拶をして終了!

#### Step 4:役割分担しよう!

みんなと協働してより良い発表にするために役割分担をしてみよう!

分 析

> 提 案

# 〇第30回ex(2020年2月3日)実証記録

◇タイトル

第30回 ブラッシュアップ 教室開放 on zpom

# ◇日時

2021年2月3日(水) 第29回 13:00~16:10

#### ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名

#### ◇目的

「中間レビューを受けて、最終提出に向けた作業日。」

# ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

# ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書

# ◇スケジュール 概要

説明 本日の流れ 提出に向けた段取りなど

- 提出(最終) 2/4 12:00
- 発表者選定 4チーム 2/4 夕方 メール予定
- 発表会について 2月5日(金) 13:00-
  - ※発表者 9:50 zoom ID を送りますのでデータ確認とリハーサル 発表全員発表
- 作業の割合についてレポートあり

# 〇第30回(2020年2月5日\*2) 実証記録

\*2:麻生建築&デザイン専門学校と日本工学院専門学校の合同授業 ◇タイトル

第30回「まちづくりフィールドワーク実習③」

# ◇日時

2021年2月30日(金)

第30回 13:00~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

日本工学院専門学校 3年生 58名 麻生建築&デザイン専門学校 16名

#### ◇目的

「まとめ課題 まちづくりフィールドワーク演習 発表会。」

#### ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 実践講師 連健夫(JCAABE 代表理事) 評価委員

#### ◇授業方法

Web によるリモート発表会

◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書

※受講生の提出物については実証報告書3-2-4参照





2021/2/5 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 古賀先生(麻生建築&デザイン専門学校)、連先生、ゲスト、松村

Ver02 No3001

#### まちづくりフィールドワーク 演習3

概要:2021年2月5日 13:00~16:00 Zoom ウェビナー にて開催

※一部の発表者、ゲストのため、麻生建築&デザイン専門学校、日本工学院専門学校のそれ ぞれの学校の教室を会場として使用する。(日本工学院3号館4階30413)

参加学生予定人数 日本工学院 58名、麻生建築&デザイン専門学校15名(確認中)

〇 \_ 発表会準備 1 (日工9:50-10:30、麻生12:00-12:30)

\_\_\_\_\_\_\_ 目 的 ・発表会に向けた確認を行う \_提出データの確認、リハーサルなど 1 班 10 分

0 \_ 発表会準備 2 (会場準備) (日工10:40-11:40)

準備内容:日本工学院3号館4階30413の会場準備を行う。机、レイアウト。

プロジェクターもしくは大型ディスプレ準備、マイク、スピーカーの準備

12:40 大田区瀬戸課長、柞木課長 3号館ロビー 待ち合わせ」お迎え担当 山田科長、松村

発表学生 一般参加者として集合。名前を「発表1\_名前」にしておき、発表時にパネリストへ 1 \_ 発 表 会 (13:00-16:10)

ゲストおよび講評者(予定)※敬称略

瀬戸隆司課長(大田区防災まちづくり課)、柞木 尚課長(ゆすのき)(大田区都市計画課)

中村直人(大東建託株式会社/実証委員代理)、連健夫(連健夫建築研究室/実証委員)

※その他、実証講座委員の参加あり。別子 参加者名簿参照 現在 7名

会場担当講師: 古賀俊光 (麻生建築&デザイン専門学校) 司会: 松村哲志 (日本工学院専門学校)

#### 1 : 開会 15分 (13:00-13:15)

司会よりスタート。実証講座委員長連健夫先生より開会の挨拶。

主催校 挨拶 山田俊之科長より一言

講評者ご紹介\_一言ずついただきながら

#### 2 :経緯と課題説明 15 分(13:15-13:30) |

これまでの経緯 \_特に麻生建築&デザイン専門学校・日本工学院にて行った内容を紹介 まとめ課題について説明。本日の流れについて説明

3 : 発表 125分 (13:30-1535)休憩含 ・各班、役割分担し、全員、発表を行う 各班 説明(動画3分+案の説明4分 7分)+質疑・意見交換 8分 計 15分 前半(13:30-14:25): 15分 × 3班 45分+ 予備10分 計 55分(麻生2+日エ1) 休憩 10分(14:25-14:35)

後半: (14:35-15:35))15 分×3班 45分 +予備 10 分計 55 分(日本工学院3班)

# 4 : 全体講評 20分(15:35-15:55)

司会から各先生に講評の一言をいただく。

#### 5 : 閉会 10分 (15:55-16:05)

閉会の挨拶 麻生建築&デザイン専門学校 校長代理 今泉清太先生より閉会の挨拶。 学生解散 講評者は残っていただき検証のお願いをする予定。

# 3-1-3 新潟工科専門学校 実証講座

〇第1回、第2回(2020年10月9日) 実証記録

#### ◇タイトル

第1回「まちづくりファシリテーターとは何か」

第2回「都市計画における住民参加とファシリテーターの役割」

#### ◇日時

2020年10月9日(金)

第1回 13:00~14:30 第2回 14:40~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

### ◇受講生

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「まちづくりファシリテーターの概要を理解する。」 「都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割。」

#### ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 新潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校) 動画講義 連健夫、野澤康

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

# ◇配布資料、教材





2020/10/09 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 :扫当

仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校)松村 No01201

第 1 回 第 2 回

#### 目的

「まちづくりファシリテーターの概要を理解する」 「都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割」

#### STEPO : 授業概要

本日の大枠 出席確認→ガイダンス→動画視聴ほか→再集合 次の時間へ

#### 授 業 1 : ガイダンス 15分

#### ○受講についての注意事項

- げひ点呼の時は顔を見せてね!
- zoom は最新版にアップデートしておいてください。
- ・授業開始3分前には指定された zoom ID に参加しておいてください。
- zoom に参加したら 学籍番号 氏名に名前を変更してください。
- ・学習できる環境で行なってくださいね!
- ・出席しよう! →もったいない!楽しもう!
- 社会人としての振る舞いで!
- ○本講座の位置付け 「まちづくりファシリテーターとは?」
  - 学校の必修科目であり、資格が取れる講座であり、文科省事業である
- ○授業予定と授業内容
- ○各回の進め方について
  - 動画視聴
  - レスポンスペーパー
  - 実践
  - ・まとめ
- Oではやってみよう!
  - 0 アンケート
  - 1\_動画を見てください
  - 2\_レスポンスペーパーを書いてください
  - 3\_クラスルームでの提出をお忘れなく!
  - 4\_集合時間に zoom に再度参加
- 〇本日 前半の最集合時間

#### 宿 題

特になし

#### 〇第28回(2020年11月20日) 実証記録

#### ◇タイトル

第28回「まちづくりフィールドワーク実習①」課題出題

# ◇日時

2020年11月20日(金)

第28回 13:30~14:30

# ◇受講生

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「まち歩きのコメントが入ったビデオを見て、 まちの読み取り方を学び、各グループでまち歩きを行う。」

# ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 新潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校) 特別講師 連健夫

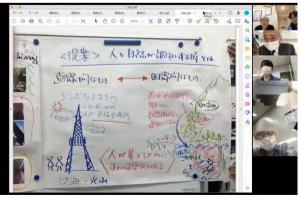
#### ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科





# ◇課題 「まち歩きフィールドワーク演習」

2020/11/20 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO1 : 担当 連健夫先生 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校)、松村 No3001

#### まちづくりフィールドワーク 演習

一 課 題 表 一

目的

まとめ課題としてこれまでの講座を踏まえてまちづくりフィールドワーク実習を行う。

- まち歩きを行い、まちをみること、まちの資源を見つけることの演習を行う。
- ・また、その見つけた資源を生かすための提案を行う。

課 題 1

# 「指定されたエリアを歩き、街の"たから"と"あら"を見つけて ショートムービー(動画)を撮影しアップしてみよう!」

場所: 添付した新潟市中央区古町の地図のエリア A、B、C ※別添資料参照 班ごとにディスカッションしてエリアを最初に決め、そのエリア内で見つけてくること。

●提出期間:2020年11月20日(金)~12月3日(木)

※11月27日(金) 中間ディスカッション予定(授業内)

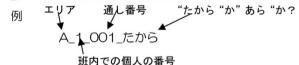
提出物1:ショートムービー(動画)

#### 動画のルール

- 1\_長さは5秒程度以内としてください。
- 2\_コメントを動画に話しながら撮影してください。

例 撮影時マイク ON にして「道が細いのですごい賑わいです!」などコメント添付

- 3 1人一本以上、複数提出してOK。(加点します!)
- 4 たから・あらがわかりやすく撮影しようね!
- 5\_ファイル名を変えてわかりやすく投稿してください。



【ファイル名の変更方法】(スマホ・タブレットも同様)

投稿する前にファイルを保存。名前の変更をしてから投稿してください。

提出場所:クラスルーム課題に各自提出してください。

※課題完了は最後まで行わないでくだい。提出取り消しを行うことで動画の追加ができます。

#### 提出物2:マップ(手書きで動画撮影ポイントをマッピング)

配布された各エリアのマップに撮影したポイントを記入してください。

動画の撮影ポイントがわかりやすく、アップした動画のファイル名を記入してください。

提出場所:クラスルーム課題に各自提出してください。

- 1\_マップに手書きで記入していきましょう。
- 2 ポイントは漏らさず記入。写メを撮影して提出してください。(なるべく真上から)
- 3\_動画撮影が終わった後、最後に提出しましょうね!

#### 課 題 1,5

- ・他の人の動画を見て提出物にコメントしてください!(20文字以内でコメントしてね!) [方法] クラスルーム 課題 提出物 限定コメントで入って書き込めます。
- コメントがどのくらい盛り上がるかも採点対象です。ぜひどんどんコメントしましょう!

#### まちづくりフィールドワーク 演習

課 題 2

# 「エリア内でサイトを決めて街の"たから"と"あら"を使って それらを生かした提案をしてみよう!」

場所: 各班のエリア内で集めた動画などを参考にしてサイトを決めてください。 ※中間ディスカションでサイトを候補2~3箇所程度に絞り、12月4日に決定。 提案の作成予定。

●提出:2020年12月4日(金)授業時間内でまとめて提出提出場所:クラスルームにて12月4日課題として出題しますので提出してください。※グループで1案 提出してください。

#### 最終提出物:提案スケッチ

- 各グループに模造紙を配布いたします。模造紙一枚以上で提案を行なってください。
- 指定したサイトがわかるようにしてください。 配布マップなどうまく使ってね!
- 第一課題の動画などもうまく利用しよう!動画をスクリーショットなどで画像にしてアウトプットしておいたりすると材料で使えて便利です。
- ・綺麗に作るよりもいかに話し合いをしてその意図を表現するかを考えてください。綺麗さを求めるわけではなくアイディアをいかに伝えるか、こだわりを持って行ってね!
- 絵や図などビジュアルでわかりやすくすることも大切です。
- タイトルをつけてください!

#### 参考資料

• 連健夫先生 提案例参照

#### 発 表

12月11日(金) 14時30分から 発表会を行います。

・経過発表会 12月4日(金) 最後に全ての班に発表をしていただきます。発表時間 3分 質疑 2分 1班5分

※なおブラッシュアップ後 発表会用再提出 12月11日(金)12時00分

2020/11/20 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO3 : 担当 連健夫先生 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校)、松村 No3001

#### まちづくりフィールドワーク 演習

進め方

#### ○まちづくりフィールドワーク実習① 課題出題

2020年11月20日(金) 13:30-14:30

担当:連健夫先生、榎先生、松村(仁多見先生)

• 挨拶、前段

・課題出題、班わけの発表

・各班 話し合い エリア極め

・まとめ 10分(14:20-14:30)

#### ○まちづくりフィールドワーク実習①\_ex 進捗共有・中間ディスカッション

2020年11月27日(金) 15:20-16:10担当: 榎先生、松村(仁多見先生)

- ※動画講義 11 回、12 回講義動画視聴後\_13:00-15:00 (講義動画合計1時間40分)
- 挨拶、班ごとでこれまで提出された動画について話し合い。
- ・中間での動画のマッピングを行う。(班毎、色分けして個人の撮影ポイントをまとめる。)
- ・最終的にサイト候補を2~3案程度まで絞る。

# ○まちづくりフィールドワーク演習②\_ex まとめ作業準備と確認

2020年12月4日(金) 13:10-14:00 担当: 榎先生、松村(仁多見先生)

- 動画の提出状況の確認
- マッピングの確認
- ・サイトの決定と方向性の確認
- ・資料の確認 他
- ※14:00-14:20 見学動画質疑(新潟工科専門学校学生は宿題で視聴。質疑連健夫先生に)

#### Oまちづくりフィールドワーク演習② まとめ作業

14:20-16:10 担当:連健夫先生、榎先生、松村(仁多見先生)

- 前段
- まとめ作業に向けてポイント
- まとめ作業
- 発表+指導

#### 〇まちづくりフィールドワーク演習③\_ex \_ 発表会準備

2020年12月11日(金) 13:00-14:20 担当: 榎先生、松村(仁多見先生)

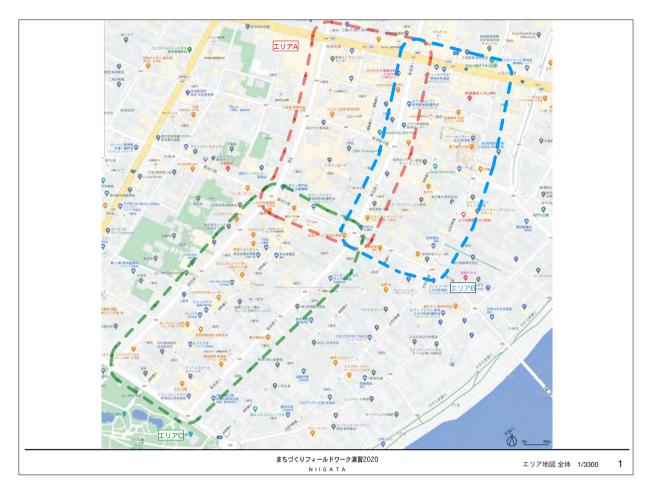
・ 発表会準備の確認他

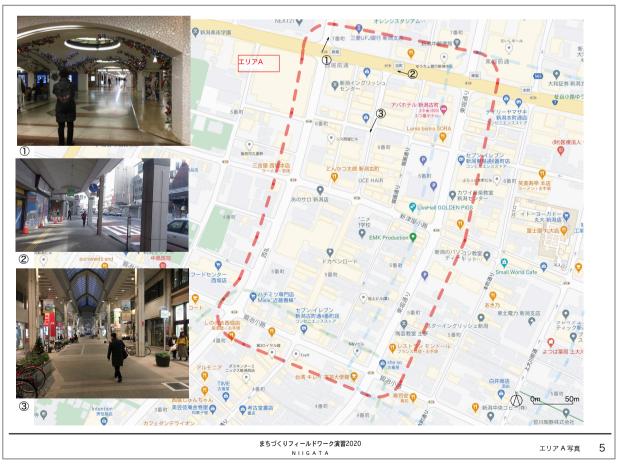
#### ○まちづくりフィールドワーク演習③\_ 発表会

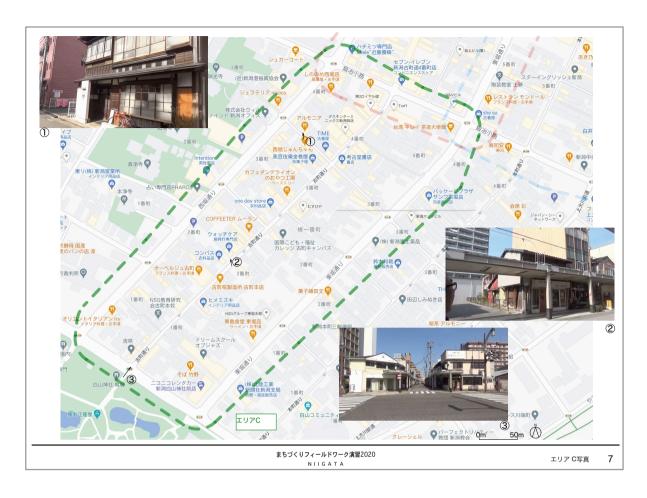
2020年12月11日(金) 14:30-16:00

担当:連健夫先生、榎先生、仁多見先生、松村、実証分科会委員、検証委員他

- 前段、課題説明 各班 15分発表(動画3分\_提案5分 7分質疑)
- 講評まとめ









# ○第第11回、第12回(2020年11月27日) 実証記録

# ◇タイトル

第11回「建築・まちづくり事例講義」

第12回「建築設計における参加型のデザイン」

第29回 準備

# ◇日時

2020年11月27日(金)

第11回 13:00~14:00

第12回 14:00~15:00

第29回準備 15:10~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「建築とまちづくりとの関係を事例を通して学ぶ。」 「建築設計における参加型の設計プロセスを事例を通して学ぶ。」

# ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校) 動画講義 三井所清典、連健夫

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





2020/11/27 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO1 : 担当 連健夫先生 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校)、松村 No2801

#### まちづくりフィールドワーク 演習

前の時間で動画講義(三井所先生約61分、連先生約47分)を視聴。(10分休み)

13:00-14:10 11\_建築・まちづくり実践と建築士の役割 三井所先生 動画約 61 分 5 分休憩

14:15-15:10 12\_建築設計における参加型のデザイン 連先生 動画約 47 分 10 分休憩(休憩中に班ごとに集合)

中間指導(15:20-16:10

#### 目的

- まちづくりフィールドワークの進捗確認をおこなう。
- •「たから」と「あら」について話し合いを行う。
- ・エリアの中からサイトを絞る。 3案程度

#### Step O : 準備\_休憩 10 分を使用 10分 (15:10-15:20)

- ・グループごとに集まる。 ・1 人が PC (I pad) を立ち上げた状態で zoom につなぐ。
- そのPC(I pad)でみんなが撮影した動画が見られるようにしよう。
- ・講師はブレイクアウトルームを3部屋作成。割り当てを行う。
- ・事前にエリアマップを各班に用意。(A3 打ち出し)

#### Step 1 : 進め方説明 10分 (15:20-15:30)

講師より進め方について説明を行う。

#### Step 2: 「たから」と「あら」動画の確認 15分 (15:30-15:45)

- I pad で 1 人ずつ撮影した動画を見ながら「たから」と「あら」を確認する。
- ・map に撮影場所をマーキングする。その際に誰の動画かわかるように色分け・記名する。
- 撮影者は動画を見ながら何が「たから」「あら」も説明もして共有してね!5s 動画×10本 + 1分 = 2分×6人 12分 予備 3分 15分

# Step 3 : ディスカッション 15分 (15:45-16:00)

- ・メンバー1 人ずつ おすすめを発表しよう!
- その意見をもとにディスカッションしてみよう!
- 目標はまちの「たから」と「あら」を発見し、提案を行うこと。そのサイトを絞ることも考えながらね!

#### Step 4 : まとめ 5分 (16:00-16:05)

- ・本日は中間として3箇所程度に絞ってください。
- ・今の段階での重み付けもして見てね!

#### Step 5 : 発表・次回に向けて 5分 (16:05-16:10)

1 チームに代表して成果を発表共有。その後来週に向けて話。

HW:各人提案をスケッチ(図・配置など)にしてくると次回、充実したまとめになります。

#### 〇第29回(2020年12月4日) 実証記録

#### ◇タイトル

第29回「まちづくりフィールドワーク実習②」

# ◇日時

2020年12月4日(金)

第29回 13:00~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「発表(グループ別でスマホ撮影したもの)とディスカッション。」

# ◇担当講師

講義·運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校) 実践講師 連健夫(JCAABE 代表理事)

# ◇授業方法

Web によるリモート講義

# ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





2020/12/04 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 連健夫先生 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校)、松村 No2901

#### ま ち づ く り フ ィ ー ル ド ワ ー ク 演 習2

13:00- 集合点呼 日本工学院と合同 13「参加のデザインによる事例見学」

新潟工科専門学校学生は事前に動画(40分)視聴済み 質疑のみ参加 13:50-事前にグループごとで集まれるように机のレイアウトなど準備を行う。

0\_まとめ事前準備(13:10-13:50)

#### 目的

A サイトの確定 B テーマとする「たから」と「あら」の決定

- C 現状ある材料(宿題のスケッチ)の確認 →これらをチェック
- D 中間レビューに向けて作業をまとめ

E\_次の時間への準備の指示 必要なもののピックアップ、役割分担、作業など

※課題の目的。 「まちの資源の発見→提案」ディスカッションを通じて協働して行う!

#### Step O O : 流れの確認 5分 (13:10-13:15)

- ・進め方の確認を行う。→終了後、各班ブレイクアウトルームへ
- ・エスキスの順番を決める! →-旦決めるが 13:30 より前に終わったら先に割り込み OK

#### Step O\_1 : 各班相談 (エスキス) 準備作業 10分 (13:15-13:25)

次のステップ相談(エスキス1)に向けて上記 A、B、C を決定。

エスキス担当講師にプレゼンできるように班長が中心となって準備を行う。

- ①1 人ずつ用意した資料を見せながら A、B、C について説明。意見交換1 人2分 × 6人 12分
- ②絞り込みと重み付け
- ③この際にドンドンアイディア果たしていこうね!
  例 A くんのサイトと宝ならこんなこともできるよね!みたいにこの間、講師が各チーム、zoomのブレイクアウトルーム で巡る。

#### Step O\_2 : 各班相談 (エスキス) 24分 (13:25-13:50)

講師との相談(エスキス)→目的はエスキス!ここからさらに伸ばすこと!

- 13:25-
- 13:33-
- 13:41-
- 一旦、絞った内容、材料を並べてみよう! 説明してね! (短く的確に1分が目安) 講師を交えた話し合いで案を決定し、膨らまそう! (あくまで助言だかね!)

※待っているチームは次の作業\_用意するもののピックアップ\_役割分担など進めよう!

# Step O\_3→1 : 作業 (目標が決まったチームから残り時間)

- ・エスキスを自分のものへ 作業準備から作業開始へ!
  - →一旦皆でさらに膨らませないか話し合いを行いアイディア話し合いで練り上げる! 準備\_必要なもののピックアップ、作業分担、レイアウトの方向を一旦決める
- ※やりながらドンドンと変えていく。ましましで楽しんで!

休 憩 (13:50-14:00) ブレイクも忘れないでね!ルーム解除 ex\_13\_参加のデザインによる事例見学動画 質疑 (14:00-14:10) 2020/12/04 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 連健夫先生 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校)、松村 No2902

#### まちづくりフィールドワーク 演習2

#### 1\_まとめ(中間レビュー)(14:10-16:10)

#### 目的

- 1 提案を一旦完成
- 2 中間レビュー 連先生から
- 3\_中間レビューを受けてブラッシュアップ 次週へ

# Step 1\_1 : まとめ作業 及び 中間レビュー開始の挨拶と説明 10分 (14:10-14:20)

- ・連先生を紹介 一言
- 目標時間の確認
- ・中間ですので切り替えができたらすぐに再開 ブレイクアウトルーム に再入室

#### Step 1\_2 : まとめ作業 30 分(14:20-14:50) 進捗に合わせて 30~50 分で調整

5分おきに各班を巡っていく。\_連先生 松村 助言もしていくので学生は講師もうまく使ってね!

#### Step 1\_3 : 中間レビュー 60分 (14:50-15:50)

各班 説明(動画3分+案の説明4分 7分)+質疑・意見交換 13分 計20分 20分 × 3班 60分

- ・連先生、現地講師、担当講師からの一言
- ・発表に向けた形式や方法の説明

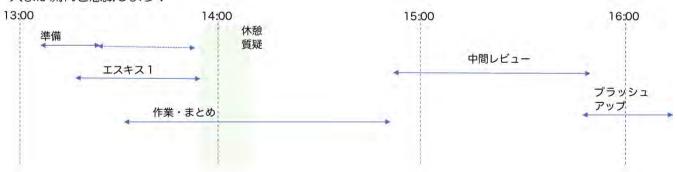
#### Step 1\_4 : 発表会に向けて エスキス2 (20分)

各班に分かれて発表会に向けてうちあわせをおこなう。

おすすめ!\_ぜひ発表に向けてさらにブラッシュアップしていこう!

短時間でも行うことが楽しみの扉を開きます!

#### 大まか流れを意識しよう!



#### 〇第30回(2020年12月11日) 実証記録

◇タイトル

第30回「まちづくりフィールドワーク実習③」

#### ◇日時

2020年12月11日(金)

第30回 13:00~16:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

新潟工科専門学校 専攻科1年生(3年生) 16名

#### ◇目的

「まとめ課題 まちづくりフィールドワーク演習 発表会。」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

潟 担当講師 仁多見透、榎美和子(新潟工科専門学校)

実践講師 連健夫(JCAABE代表理事)

評価委員

# ◇授業方法

Web によるリモート発表会

# ◇配布資料、教材

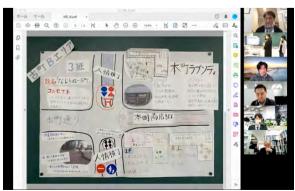
まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書

※受講生の提出物については実証報告書3-2-4参照









2020/12/11 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校)、連先生、ゲスト、松村 No3001

#### まちづくりフィールドワーク 演習3

0\_ 発表会準備 (13:00-14:20)

| 目 的 | ・発表会に向けた確認を行う \_提出データの確認、リハーサルなど

Step O\_O : 前段 1 O分 (13:10-13:15)

出席確認を行う。リモートでの参加、教室での参加、本日の流れを説明。

Step O\_1 : 提出状況確認 10分(13:15-13:25) 各班、発表材料の提出状況を確認。

Step 0\_2 : リハーサル 45分 (13:25-14:10)

1 2 3 班の順にリハーサルを行う。 1 班 15 分×3班 45 分

- ・発表資料を映し出し確認、特に動画、音声などチェック
- ・喋りだしの部分など、確認を行う。 発表時間 動画 3分 提案 4分
- ・基本全員発表とする ※順番を待っているチームはそれぞれ発表に向けて準備を行うこと 終了チームから解散

#### 休 憩 再集合時間 学生 14:25

1 \_ 発 表 会 (14:30-16:10)

ゲストおよび講評者(予定)※敬称略

中野一敏(NAKANO☆DESIGN/新潟建築士)、伊藤純一(伊藤純一アトリエ/新潟建築士) 鈴村大介(大東建託株式会社/実証委員)、仁多見透(新潟工科専門学校/実証委員) 連健夫(連健夫建築研究室/実証委員)

※その他、実証講座委員の参加あり。

会場担当講師:榎美和子(新潟工科専門学校) 司会 :松村哲志(日本工学院専門学校)

1 : 開会 10分 (14:30-14:40)

司会よりスタート。実証講座委員長連健夫先生より開会の挨拶。 講評者ご紹介\_一言

2 : 経緯と課題説明 10分(14:40-14:50)

これまでの経緯 \_特に新潟工科専門学校にて行った内容を紹介 まとめ課題について説明。本日の流れについて説明

3 : 発表 50分 (14:50-15:40)

各班 説明(動画3分+案の説明4分 7分)+質疑・意見交換 8分 計 15分 15分 × 3班 45分+ 予備 5分 計 50分

各班、役割分担し、全員、発表を行う

4 : 全体講評 15分(15:40-15:55)

司会から各先生に講評の一言をいただく。

5 : 閉会 5分 (15:55-16:00)

仁多見先生より閉会の挨拶。

学生解散 \_ 講評者は残っていただき検証のお願いをする予定。

Ver01 No3001

# 2020/12/10 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 :担当 仁多見先生、榎先生(新潟工科専門学校) 松村

#### まちづくりフィールドワーク 演習3

# 発表について

プレゼンテーションを行う際のポイントについてまちづくりフィールドワーク実習の発表を例 にとって記載します。参考として発表について準備を行ってください。

#### Step 1:前提(発表時間、内容、目的)を確認しよう!

発表時間:動画の発表3分+提案の発表4分=合計7分 発表

目 的: まちの "たから"・"あら" を発見し、それを生かした(改善する)提案を行う

▶ 動画

▶ 提案

#### Step 2:準備1 箇条書きにしてみよう!

自分たちの言いたいこと、考えたことを箇条書きにしてあげてみよう! 大切なことが漏れていませんか? 今、一度チェックをしてみよう!

#### Step 3:準備2 順番をつけて組み立ててみよう!

上記の箇条書きした項目に順番をつけて流れを作り組み立ててみよう!

# ○今回の場合のオーソドックスな流れ

- 1\_班名、メンバーを(自己)紹介、挨拶をしよう!\_挨拶があるだけで発表がしまります。
- 2\_今回の対象エリアを話してみよう! Ex\_「A エリアについて取り組みました。」 ※初めての人もいるので必要に応じて動画や提案につながる特徴を話すとベター
- 3\_対象エリアの中の選んだサイトを説明しよう。→地図でどの位置か?など
  - なぜ?このサイトを選んだか?について説明すること!
    - →先に"たから"と"あら"を見つけてそれがある場所という場合は先に4を行い、 3に戻るという順番もあります。→卵が先か鶏が先かの議論と同じ。
- 4\_選んだ"たから"と"あら"について動画を使って説明しよう。
  - ・エリアの中の位置
- どのような"たから""あら"か?
- なぜそれを選んだのか? ※分析、提案を明確にしてみよう!
- 5 提案について1 説明しよう!
  - どの"たから"と"あら"を使ったものか?それをどのように利用したか?
  - どのような提案か?
- これまで学んだ視点も生かしてみよう!
- 6\_提案について2 まとめてよう!
  - その提案によって街はどのように変わって行くか?・提案の目的
- 7\_最後にこの提案でのメッセージを語ろう!

みんなで挨拶をして終了!

#### Step 4:役割分担しよう!

みんなと協働してより良い発表にするために役割分担をしてみよう!

分 析

# 3-1-4 麻生建築&デザイン専門学校 実証講座

〇ガイダンス(2020年10月13日)実証記録

◇タイトル

ガイダンス

# ◇日時

2020年10月13日(金) ガイダンス 17:20~18:50

# ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

# ◇目的

受講ガイダンス

# ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学)

# ◇授業方法

Web によるリモート講義

# ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科





2020/10/13 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座

: 担当 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学校)松村

No0001

#### ガイダンス

# 目的

「まちづくりファシリテーター講座ガイダンス」

#### STEPO : 授業概要

本日の大枠 出席確認→ガイダンス→動画視聴ほか→再集合 次の時間へ

#### 授 業 1 : ガイダンス 15分

- ○受講についての注意事項
  - ぜひ点呼の時は顔を見せてね!
  - zoom は最新版にアップデートしておいてください。
  - ・授業開始3分前には指定された zoom ID に参加しておいてください。
  - zoom に参加したら 学籍番号\_氏名に名前を変更してください。
  - ・学習できる環境で行なってくださいね!
  - ・出席しよう! →もったいない!楽しもう!
  - 社会人としての振る舞いで!
- ○本講座の位置付け 「まちづくりファシリテーターとは?」
  - 学校の必修科目であり、資格が取れる講座であり、文科省事業である
- ○授業予定と授業内容
- ○各回の進め方について

#### 講義\_反転授業

- 1\_前の授業終了後1週間で動画視聴
- 2\_ディスカッション
- 3\_レスポンスペーパー
- ○ではやってみよう!
  - 0 アンケート
  - 1\_動画を見てください
  - 2\_レスポンスペーパーを書いてください
  - 3\_クラスルームでの提出をお忘れなく!
  - 4 集合時間に zoom に再度参加
- 〇本日 前半の最集合時間

#### 宿 題

特になし

# 〇第1回、第2回(2020年10月20日) 実証記録

#### ◇タイトル

第1回「まちづくりファシリテーターとは何か」

第2回「都市計画における住民参加とファシリテーターの役割」 反転授業 ディスカッション

# ◇日時

2020年10月20日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

#### ◇目的

「まちづくりファシリテーターの概要を理解する。」 「都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割。」

# ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義

# ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科





2020/10/20 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 ディスカッション : 担当 松村 No 1201

#### 1 まちづくりファシリテーターとは何か? 2 都市計画の変遷と住民参加の重要性

# 目的

動画視聴していただいた内容について思考と議論を深めることを目的とする。特に考えるスタンスとそれを発信する Attitude をみにつけるように心がける。

- 住民参加の重要性とまちづくりファシリテーターの役割について意識を深める
- ・今後学習してく多岐にわたる項目が参加のまちづくりを推進するまちづくりファシリテーターにつながった知識・技術であることを意識し、学ぶ意義を考える
- ・学習の動機付けに大切な役割とする。

STEPO: 前段 10分

Step 1 : 講義動画 内容共有 10分

# <u>「視聴した動画を簡単にポイントを発表してみよう!」</u>

視聴した動画について簡単に内容をまとめてポイントを発表してみよう! 1\_序章「まちづくりファイシリテーターとは何か?」 連健夫先生

2 「都市計画の変遷と住民参加の重要性」

野澤康先生

Step 2 : 質問 5分

上記を踏まえた上で質問してみよう!

→これがディスカッションテーマになることがベター

2020/10/20 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 ディスカッション : 担当 松村 No 1202

# 1 まちづくりファシリテーターとは何か? 2 都市計画の変遷と住民参加の重要性

#### Step 3 : ディスカッション 25分

# テーマ「まちづくりファシリテーターに必要な力は何でしょうか?」

資料でお配りしたイラストを参考に議論してみよう!

グループ分けは適宜とする。基本を教室グループと zoom グループの二つで行う。 今回は司会・記録を教員が行う。

- 1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなで カメラを ON にして挨拶顔が見えるつながりはまちづくりの基本!
- 2\_書記(教員)がホワイトボードを立ち上げる。3
- 4\_5 分ほど時間を決めて参加者が自由にホワイトボードに記入してみよう! 思いつかなければイラストに書いてあるものを言葉にして分類してみよう! 記入する際は人ごとで色を決めて書くとわかりやすいかも!
- 5\_ホワイトボードなど操作がうまくいかないときは助け合ってください。
- 6\_書いたものをそれぞれ発表してもらおう!
  - 一人ずつ発表してもらって書いてもいいね!
- 7 質問してみ議論を深めよう! 時間配分も忘れずにね!
- 8\_終了したら記録係・書記である教員は今回は松村へメールをする。
- 8 時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

#### Step4 発 表 クラスディスカッション : 25分

上記について各班発表を行う。 1チーム 3分

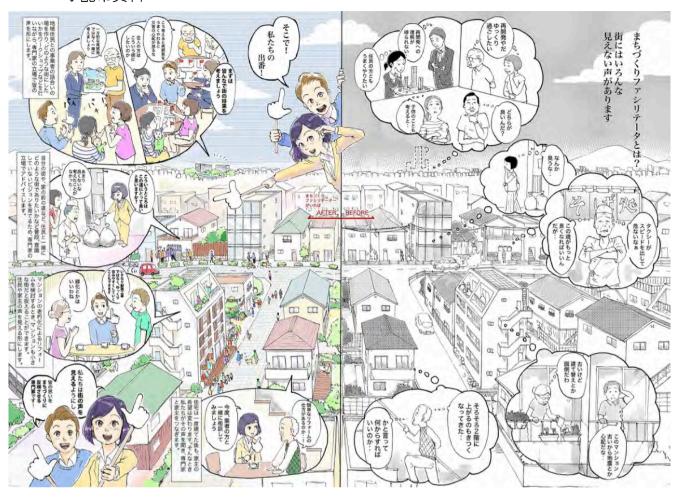
発表者は学生にしよう!

質問しがら深めていこう

松村を司会にして各項目について質問を促し、深めて行くことが重要

Step5: まとめ 10分

# ◇配布資料



#### 〇第4回(2020年10月27日) 実証記録

◇タイトル

第4回「コミュニケーション技術 演習」

#### ◇日時

2020年10月20日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

#### ◇目的

「ロールプレイやディベイトを通してコミュニケーションのスキルを習得する。」

# ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

福岡 担当講師 古賀俊光(麻生塾 麻生建築&デザイン専門学)

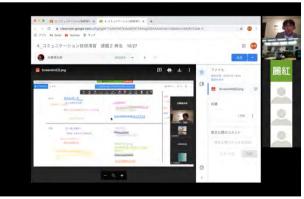
# ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





2020/10/16・21・23 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 : 担当 松村 NoO401

#### コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 術 演 習 演 習

#### 目的

意見を引き出して合意形成をして、提案を行うためのコミュニケーション、特にグループディスカッションの基本を実践することで習得しよう!

- 講義での注意事項や方法をもう一度良く考え、適宜実践することを心がけよう!
- 盛りがあること、話を聞き出すこと、議論が深まることが大切です!楽しくやろう!

#### STEPO: 準備 5分(13:05-13:10)/(14:45-14:50)

- O\_担当講師がランダムにブレイクアウトルーム を設定。グループ分け行います。
- 1\_役割を決めよう! 一人 決める。(ジャンケンしよう!)
  - ・ファシリテーター:議論の司会、発表者 兼 書記:記録、提出物の提出 ※今回は基本、同じ人で行う予定です。
    - ※書記はスマートフォン以外の人としてください
    - ※書記役はホワイトボードの試しもやってください。入力、保存

説明 10分

#### 課 題 1 : 自己紹介 15分 (13:20-13:35)/(15:00-15:15)

# 自己紹介テーマ「自分を車の部品に例えるとなんだろう?」

- 1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶 顔が見えるつながりはまちづくりの基本!
- 2\_書記がホワイトボードを立ち上げる。
- 3\_一人ずつ、自己紹介を行う。その際に名前、学校名、「自分を車の部品に例えると何か?」 なぜその部品か理由も言おうね!
- 4\_書記はホワイトボードに記入を行う。その際に色を変えてもいいよね!
- 5 各自に積極的にやってもらおう!また一人ずつわかりやすく色を変えてみよう!
- 6 質問をしよう!

時間配分も考えてできる限りその人の個性が出ることを意識して進めてね!

- 7\_終了したら記録係・書記は画像を保存してクラスルームに提出してください。
- 8\_時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

# 宿 題 : お気に入りの道具を写メで提出 終了後

お気に入りの道具を写メで撮って提出してください。

2020/10/16・21・23 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 :担当 松村 No0402

#### コミュニケーション技術演習 演 習

説明 5分

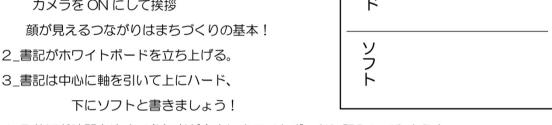
課題 2:まちづくりファシリテーターの可能性 30分 (13:40-14:10)/(15:20-15:50

# テーマ「まちづくりファシリテーターがいたらどんなことが 起きそうですか? また活躍の場は?」

資料でお配りしたイラストを参考に議論してみよう!

1 各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなで カメラを ON にして挨拶

- 3 書記は中心に軸を引いて上にハード、



八

4.5分ほど時間を決めて参加者が自由にホワイトボードに記入してみよう!

記入する際に軸に対する位置が重要です。

思いつかなければイラストに書いてあるものを言葉にして分類してみよう!

記入する際は人ごとで色を決めて書くとわかりやすいかも!

- 5 ホワイトボードなど操作がうまくいかないときは助け合ってください。
- 6 書いたものをそれぞれ発表してもらおう!
  - 一人ずつ発表してもらって書いてもいいね!
- 7\_質問してみ議論を深めよう! 時間配分も忘れずにね!

時間配分 記入 5分 + 発表 15分 + 深める 5分 +まとめ提出5分

- 8 終了したら記録係・書記は画像を保存してクラスルームに提出してください。
- 9 時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

#### 発 10分 (14:10-14:20)/(15:50-16:00) 表

課題1 課題2 それぞれ1チームを指名します。発表をしてください。

1 ファシリテーターが提出した画像を共有して発表を行う。 それぞれ3分発表2分質疑

まとめ(予備): 10分(14:20-14:30)/16:00-16:10)

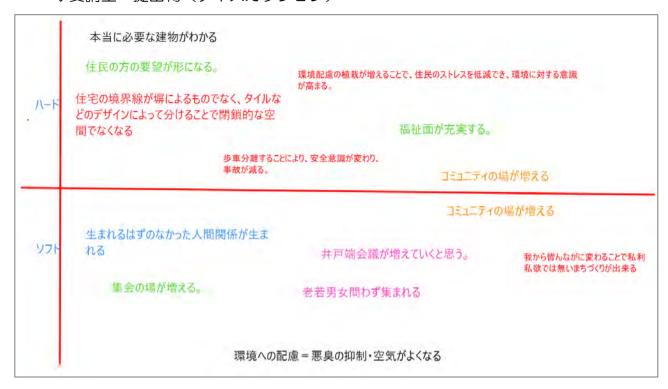
一言まとめを行う。

質問

YWT シートの確認。

宿題の確認

# ◇受講生 提出物(ディスカッション)





#### 〇第7回(2020年11月3日) 実証記録

◇タイトル

第7回「ワークショップ演習(KJ法・コラージュ)」

#### ◇日時

2020年11月3日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

#### ◇目的

「KJ法、コラージュを実際に行い、プロセスと留意点を学ぶ。」

# ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

福岡 担当講師 古賀俊光 (麻生建築&デザイン専門学)

実践·動画講義 連 健夫(JCAABE代表理事)

# ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





2020/11/03文科省事業まちづくりファシリテーター養成講座VerO3 aso: 担当連健夫先生NoO701

#### ワークショップ( KJ法・コラージュ) 演習

講義についてはすでに反転授業で視聴済み

目的

KJ法とコラージュを実際に行い、プロセスと留意点を学ぶ。

Step O : 前段·準備 5分 (17:00-17:05)

O\_担当講師が事前に班分け・役割を確認する。(事前に発表し周知予定)

役割① ファシリテーター:議論の司会、発表者

役割②\_記録係:記録、提出物の提出 役割③\_タイムキーパー

Step 1 : 課題説明 10分 (17:05-17:15)

下記の課題1について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

Step 2 課 題 1 : KJ法 30分(17:15-17:45)

# 「皆さんの学校の学食について『たから(良い点)』と

# 『あら(悪い点)』についてあげて整理してみよう!」

※提案ではなく、現状を記入しよう!

- 1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。つながりはまちづくりの基本!
- 2\_記録係がホワイトボードを立ち上げる。 リアルチームは模造紙に行っていこう!
- 3\_右図のように軸をかいてその上に整理してみよう! たから(良い点) と あら(課題、問題点)、

	たから	あら
八		
ード		
`		
님		
ヿヿ		
'		
	'	l

ハード (施設、設備、道具) とソフト (人、お金、制度)、リアルではポストイットに記入 ※この時、軸以外「たからとあら」「ハードとソフト」を分ける線も忘れずに引こう!

4 時間を決めて最初にみんなで同時に書いてみよう!

その際、自分の書いたものがどれか後で分かるようにしておこう!

色やロゴタイプを変えてもいいよね! リアルはポストイットの色を変えたりしてね!

- 5\_一旦書いてみたら一人ずつ書いた内容について語ろう!話を引き出すことも重要!
- 6\_質問や意見を言ってみよう! その発言はわかる形で足して行くのもいいですね!
- 7\_位置や表現にもこだわりを持って話し合っていこう!みんなで協力してまとめてみよう!
- 8\_司会は時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう! 例、ブレインストーミング5分、記入5分、全員説明1人2分、

まとめ(重み付けなど)5分、合計30分

- 9\_プレインストーミンク゚は自由に会話。考えを膨らませんよう!記入は無言で集中して進めよう!
- 10\_タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 11\_終了したら記録係・書記は画像もしくは写メを保存してクラスルームに提出してください。
- 12 時間になったらブレイクアウトルーム を出て再集合しよう!

2020/11/03 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

: 扫当 連健夫先生

Ver03 aso No0702

#### ワークショップ( KJ法・コラージュ) 演習

Step 3 : 課題説明 10分(17:45-17:55)

下記の課題2について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

また、再集合時間をアナウンス。

Step 4 課 題 2 : コラージュ 20分 (17:55-18:15

# テーマ「あなたの理想の学食を

# A3の紙にコラージュして表現してみよう!」

※事前に以下のものを用意するように指示を出しておく。

#### ○準備するもの

- A3白紙スティックのり、メンディングテープなど貼り付けられるもの
- ・ハサミ、カッター・カラーペン、マーカー(コラージュに書き込むための筆記用具)
- 「理想の学食をテーマに集めた雑誌、写真など(切り取れるように)
- 提出写真を撮影するカメラ (スマートフォン、携帯 OK)
- 1 ここからは個人の提出であることを伝える。
- 2\_一旦 zoom からは退出
- 3\_テーマについて用意した A3 の紙にコラージュをして表現する。
- 4\_その際に学校名、本日の班名、名前を記入する。
- 5\_全てが入るように写真に納めてクラスルームの課題に提出。
- 6\_その際、できる限り真上から全体が入るように心がけてください! 斜めになったりするとせっかく表現したものが台無しです。

最後までこだわってくださいね!

- 7 クラスルームに提出したら提出完了の確認も忘れずに! 18:15 には提出を!
- 8\_まずは再集合して提出の確認をします。集まってね!

Step 5 提出確認 : 5分 (18:15-18:20)

休 憩 10分 (18:20-18:30)

この間に発表者を選ぶ。

Step 6 発 表 : 20分 18:30-18:50

- •KJ法 3班
- コラージュ 2名 合計5名発表

2分発表 1分質疑 3分×4班 12分 予備2分

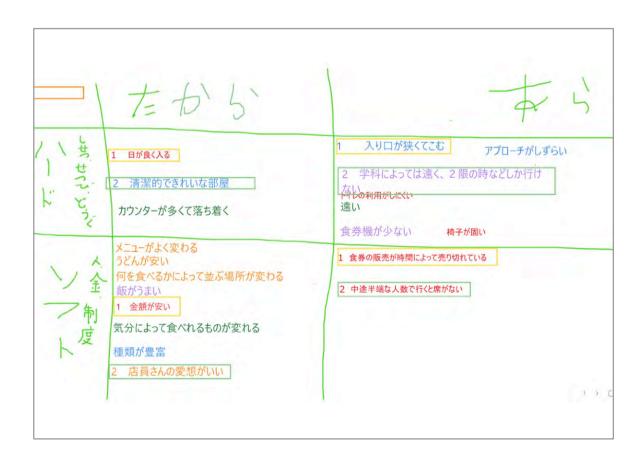
Step 7 まとめ(予備) : 10分 18:50-19:00

教員から一言

来週に向けて

# ◇受講生提出物 \_K J 法





# ◇受講生提出物\_コラージュ





# 〇第10回(2020年11月10日) 実証記録

#### ◇タイトル

第10回「事前復興まちづくり演習事前復興まちづくり演習」

#### ◇日時

2020年11月10日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

# ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

#### ◇目的

「事前復興まちづくりワークショップの演習。」

# ◇担当講師

講義•運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校)

福岡 担当講師 古賀俊光 (麻生建築&デザイン専門学)

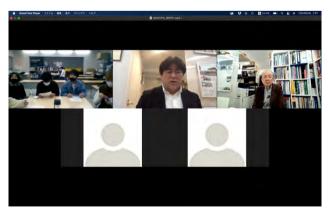
実践·動画講義 連 健夫(JCAABE代表理事)

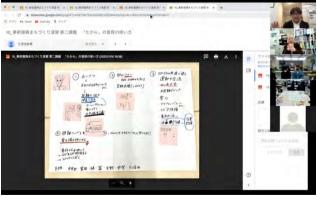
# ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





2020/11/10 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2: 担当 連健夫先生 助手 古賀先生(麻生建築&デザイン)、松村 No1001

#### 事前復興まちづくり演習

前日までに市古先生ご担当の動画講義を視聴済み。

#### 目的

事前復興まちづくりワークショップの演習を行う。

- 事前復興まちづくりを経験してその手法を学ぶ・同時にまちづくり、防災について考える
- またそれらが普段の街においてどのようにあるべきかを考える

#### Step 0 : 前段•準備 5分 (17:20-17:25)

O 担当講師が目的など前段説明。事前に班分け・役割を確認する。(事前に発表し周知予定)

役割(1) ファシリテーター:議論の司会、発表者

役割②\_記録係:記録、提出物の提出

役割③ タイムキーパー

Step 1 : 課題説明(課題1+2) 15分(17:25-17:40)

下記の課題1について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

Step 2 課 題 1 : ディスカッション 25分 (17:40-18:05)

# 「災害時における皆さんの街の

# <u>"たから"と"あら"をあげてみよう!」</u>

※たから:役に立つ場所やもの、建物

あら : 危ない場所やもの、建物

1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。 つながりはまちづくりの基本!

- たからあら
- 2\_ 教室で行う受講生は模造紙、ポストイット、マーカーなどを用意しよう!
- 3\_右図のように軸をかいて準備。その上に手順に沿って整理していきます。
- 4\_まずは自己紹介をしながら話し合い(ブレインストーミング)をしてみよう! それによって自由に発想を膨らませください。
- 5\_次は考える時間をとって、自分の考えを広げたり、深めたりしてください。
- 6\_いよいよー気に記入します。一人一人ポストイットの色とマーカーの色を決めて誰の意見かわかりやすくしようね!考え→記入は無言で集中して!まずはやってみることが大事!
- 7\_書いてみたら一人ずつ書いた内容について語ろう!話を引き出すことも重要!
- 8\_質問や意見を言ってみよう! その発言はわかる形で足して行くのもいいですね!
- 9 位置や表現にもこだわりを持って話し合っていこう!みんなで協力してまとめてみよう!
- 10\_時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう!
  - 例、ブレインストーミング5分、記入5分、全員説明1人2分程度、

まとめ(重み付けなど)5分、合計25分

- 11\_タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 12\_終了したら記録係・書記は画像もしくは写メを保存してクラスルームに提出してください。 保存を忘れずに行い、次の課題に移りましょう!保存を忘れないでね!

2020/11/10 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 連健夫先生 助手 古賀先生(麻生建築&デザイン)、松村 No1002

# 事が復興まちづくり演習

Step 3 課 題 2 : 20分 (18:05-18:25)

# テーマ「皆さんあげたまちの"たから"についてそれを普段、 どのように使うのが有効か?また良いと思いますか?」

- 1 模造紙をもう一枚準備しよう!
- 2\_右図のように"たから"を列挙してそれぞれ上記のテーマで 議論を深めていこう!
- 3\_積極的に絵やスケッチも交えて充実させてください。
- 4 学校名とチーム名も記入してください。
- 5 ここでも大まかなタイムスケジュールを意識して進めよう!

進行例:記録係がたからを列挙して記載 5分、その間ブレスト(フリートーク) 普段の使い方をあげる(各自一斉に)5分、説明5分、まとめ(重み付け)5分

- 6 まとまったら 全てが入るように写真に納めてクラスルームの課題に提出。
- 7\_写真を撮影する際、できる限り真上から全体が入るように心がけてください! 斜めになったりするとせっかく表現したものが台無しです。

最後までこだわってくださいね!

- 8 クラスルームに提出したら提出完了の確認も忘れずに! 18:25 には提出を!
- 9\_まずは再集合して提出の確認をします。集まってね!

確認 : 提出物は2種類(課題1と課題2)

課題1:「災害時における皆さんの街の"たから"と"あら"をあげてみよう!」

課題2:「皆さんあげたまちの"たから"についてそれを普段、

どのように使うのが有効か?また良いと思いますか?」

 $A \bigcirc \bigcirc \rightarrow \bigcirc \triangle \Box$ 

 $B\triangle\triangle\rightarrow\Box\bigcirc\triangle$ 

 $C \square \square \rightarrow \triangle \square \bigcirc$ 

Step 4 提出確認 : 5分 (18:25-18:30)

提出できたチームから確認。少し待ってもらう。

Step 6 発 表 : 12分 18:30-18:42

発表者を指名\_基本ファシリテーターが行いましょう! 2分発表 1分質疑 3分×3班 9分 予備3分

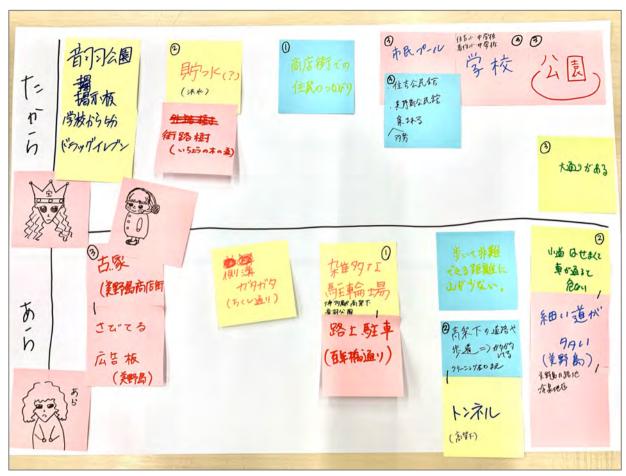
Step 7 まとめ(予備) : 8分 18:42-18:50

教員から一言

来週に向けて

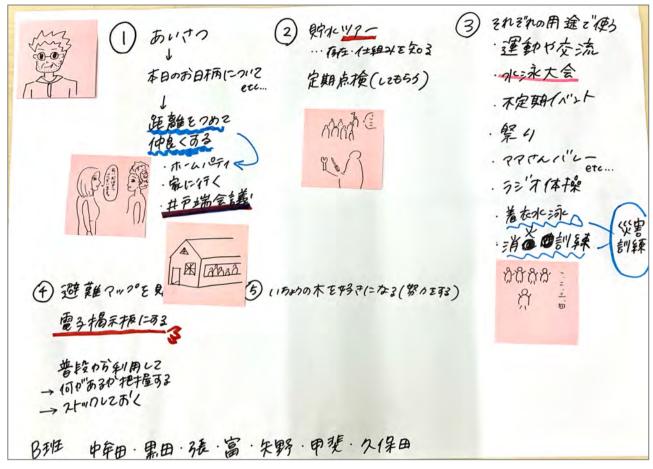
104

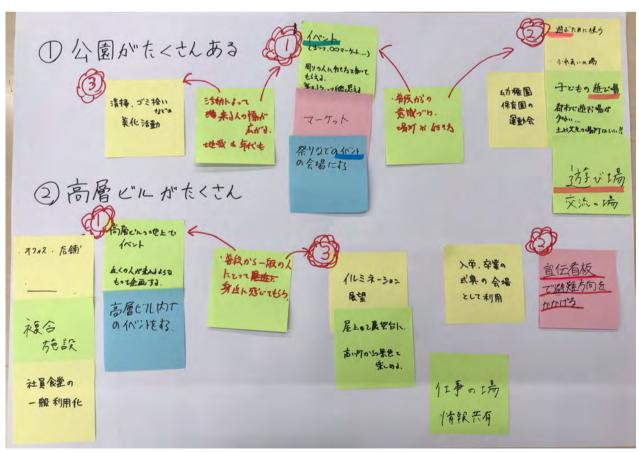
# ◇受講生提出物\_KJ法 災害時のたからとあら





# ◇受講生提出物 KJ法 普段の利用法





# 〇第13回、第11回(2020年11月17日) 実証記録

#### ◇タイトル

第11回「建築・まちづくり事例講義」

第13回「参加型デザインによる実例見学」

#### ◇日時

2020年11月17日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

# ◇目的

「建築とまちづくりとの関係を事例を通して学ぶ。」 「参加型の設計プロセスによってできた事例を訪問、見学し、 利用者へのヒアリングを含め、学ぶ。」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 今泉清太、古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学) 特別講師 三井所清典

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

# ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





#### ◇授業詳細 コマシラバス

2020/11/17 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 ディスカッション : 担当 古賀先生、松村 No 01

#### 11 建築・まちづくり実践と建築士の役割 12 建築設計における参加型のデザイン

#### 目的

動画視聴していただいた内容について思考と議論を深めることを目的とする。特に考えるスタンスとそれを発信する Attitude をみにつけるように心がける。

- 建築、まちづくりにおける建築士(建築家)の多様な役割について考えてみよう!
- ・建築設計における参加型のデザインについて考えてみよう!
- また逸れたについてその良い点や効果について考えてみよう!

STEPO: 前段 2分 (17:20-17:22)

Step 1 : 事例見学動画 視聴 38分 (17:22-18:00)

# 「参加型デザインによる事例見学動画を視聴して

# 見学を体験してみよう!」

### Step 2 : ディスカッションについて説明 5分 (18:00-18:05)

下記の課題について説明をおこない。注意点などをアナウンス。 グループわけなど行う。グループごとで1テーマを選んでディスカッションし、最後に話し合いを行い共有をしていこう!

Step 2 : ディスカッション 20分 (18:05-18:25)

# テーマ 1 三井所清典先生講義

「建築士(建築家)が果たした多様な役割、方法についてあげ、 それらについての効果や良い点についてあげて整理してみよう!」

# テーマ2 連健夫先生講義

「参加のデザインについて、その効果や良い点についてあげて 整理してみよう!」

※方法手順は前回と同じ様に進めていこう!

#### 11 建築・まちづくり実践と建築士の役割 12 建築設計における参加型のデザイン

#### 方 法

1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。つながりはまちづくりの基本!

- 2\_ 教室で行う受講生は模造紙、ポストット、マーカーなどを用意しよう!
- 3\_右図のように上にテーマをかいて準備。
  その上に手順に沿って整理していきます。
- 4\_まずは自己紹介をしながら話し合い(ブレインストーミング)をしてみよう! それによって自由に発想を膨らませください。
- 5\_次は考える時間をとって、自分の考えを広げたり、深めたりしてください。
- 6\_いよいよー気に記入します。一人一人ポストイットの色とマーカーの色を決めて誰の意見かわかりやすくしようね!考え→記入は無言で集中して!まずはやってみることが大事!
- 7 書いてみたら一人ずつ書いた内容について語ろう!話を引き出すことも重要!
- 8 質問や意見を言ってみよう! その発言はわかる形で足して行くのもいいですね!
- 9 位置や表現にもこだわりを持って話し合っていこう!みんなで協力してまとめてみよう!
- 10 時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう!

例、ブレインストーミング3分、記入5分、全員説明1人1分程度、

まとめ(重み付け、同じものを兼ねる、グルーピングなど)5分、合計20分

- 11 タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 12\_終了したら記録係・書記は画像もしくは写メを保存してクラスルームに提出してください。 保存を忘れずに行い、次の課題に移りましょう!保存を忘れないでね!

#### Step4 発 表 クラスディスカッション : 15分 (18:25-18:40)

上記について各班発表を行う。 1チーム 3分

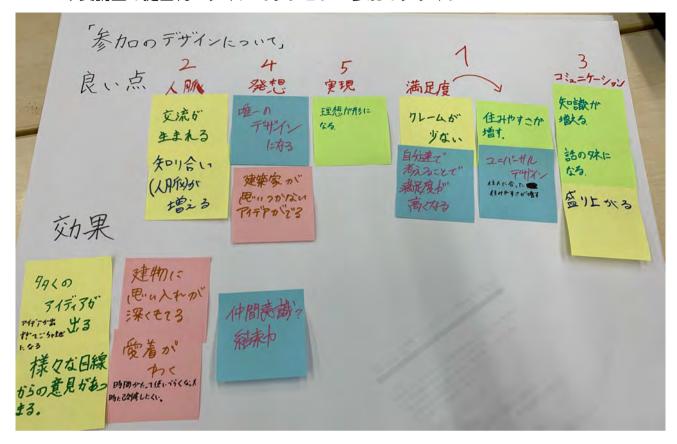
発表者は学生にしよう!

質問しがら深めていこう

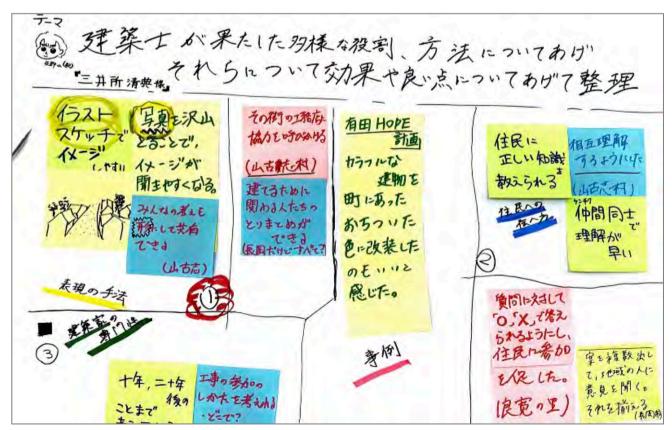
松村を司会にして各項目について質問を促し、深めて行くことが重要

Step5: まとめ 10分

#### ◇受講生の提出物 ディスカッション 参加のデザイン



◇受講生の提出物 ディスカッション 建築士の多様な役割



#### 〇第14回、第15回(2020年11月24日) 実証記録

#### ◇タイトル

第14回「リノベーションまちづくり概論」 第15回「リノベーション事例見学」

# ◇日時

2020年11月24日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル)1から3年 16名

#### ◇目的

「リノベーションとは何か?まちづくりとの関係、事例を通して学ぶ。」 「リノベーションの先進事例について見学を通して学ぶ。」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学) 動画講義 連勇太朗

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





### ◇授業詳細 コマシラバス

2020/11/24 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 ディスカッション : 担当 古賀先生、松村 No 01

#### 14\_リノベーションまちづくりの動きと実践 15\_リノベーション技術演習事例見学

#### 目的

動画視聴していただいた内容について思考と議論を深めることを目的とする。特に考えるスタンスとそれを発信する Attitude をみにつけるように心がける。

- ・リノベーションとは何か?まちづくりとの関係について事例を通してまなぶ。
- リノベーション事例の動画見学を行いその実践例から利点や留意点について考える。

STEPO: 前段 5分 (17:20-17:25)

#### Step 1 : 事例見学動画 視聴 45分 (17:25-18:05)

# 「リノベーション技術演習として事例を動画見学してみよう!」

### Step 2: ディスカッションについて説明 5分 (18:05-18:10)

下記の課題について説明をおこない。注意点などをアナウンス。

グループわけなど行う。グループごとで1テーマを選んでディスカッションし、最後に話し合いを行い共有をしていこう!

#### Step 2 : ディスカッション 20分 (18:10-18:30)

# テーマ

# 「リノベーションについて

# 良い点と問題点を挙げて整理してみよう!」

良い点:効果や利点など

問題点:クリアしなければいけない点や考えなければいけない点、注意点など

※方法手順は前回と同じ様に進めていこう!

#### 14\_リノベーションまちづくりの動きと実践 15\_リノベーション技術演習事例見学

#### 方 法

1\_各ブレイクアウトルーム に入ったらみんなでカメラを ON にして挨拶。つながりはまちづくりの基本!

2\_ 教室で行う受講生は模造紙、ポストット、

マーカーなどを用意しよう!

3\_右図のように上にテーマをかいて準備。 その上に手順に沿って整理していきます。

- 4\_まずは自己紹介をしながら話し合い(ブレインストーミング)をしてみよう! それによって自由に発想を膨らませください。
- 5\_次は考える時間をとって、自分の考えを広げたり、深めたりしてください。
- 6\_いよいよー気に記入します。一人一人ポストイットの色とマーカーの色を決めて誰の意見かわかりやすくしようね!考え→記入は無言で集中して!まずはやってみることが大事!
- 7\_書いてみたら一人ずつ書いた内容について語ろう!話を引き出すことも重要!
- 8\_質問や意見を言ってみよう! その発言はわかる形で足して行くのもいいですね!
- 9 位置や表現にもこだわりを持って話し合っていこう!みんなで協力してまとめてみよう!
- 10\_時間配分に気をつけて!説明はうまく司会が指名し漏らさず意見を引き出そう!
  - 例、ブレインストーミング3分、記入5分、全員説明1人1分程度、

まとめ(重み付け、同じものを兼ねる、グルーピングなど)5分、合計20分

- 11 タイムキーパーは上手く時間をアナウンスしてあげてね!
- 12\_終了したら記録係・書記は画像もしくは写メを保存してクラスルームに提出してください。 保存を忘れずに行い、次の課題に移りましょう!保存を忘れないでね!

#### Step4 発 表 クラスディスカッション : 10分 (18:30-18:45)

上記について各班発表を行う。 1チーム 3分

発表者は学生にしよう!

質問しがら深めていこう

松村を司会にして各項目について質問を促し、深めて行くことが重要

Step5: まとめ 5分

### ◇受講生の提出物\_ディスカッション 良い点と問題点





○第16回、第17回、第28回(2020年12月1日) 実証記録 ◇タイトル

第16回「エネルギーとまちづくり」

第17回「エネルギーとまちづくりの実践」

第28回「まちづくりフィールドワーク実習①」課題出題

#### ◇日時

2020年12月1日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1 から3年 16 名 ◇目的

「SDGsとまちづくりの関係、エネルギーとまちづくり、

省エネ技術について学ぶ。」

「オフグリッドの実践事例を通して、エネルギーとまちづくりを捉える。」「まち歩きのコメントが入ったビデオを見て、

まちの読み取り方を学び、各グループでまち歩きを行う。」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学) 特別講師 連健夫

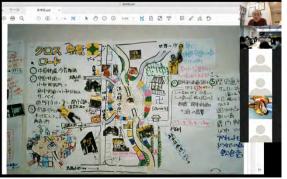
#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





#### ◇授業詳細 コマシラバス

2020/12/01 文科省事業 まちづくりファイシリテーター養成講座 ディスカッション : 担当 松村 No 01

#### 1 まちづくりファシリテーターとは何か? 2 都市計画の変遷と住民参加の重要性

#### 目的

動画視聴していただいた内容について思考と議論を深めることを目的とする。特に考えるスタンスとそれを発信する Attitude をみにつけるように心がける。

- SDGs とまちづくりの関係、エネルギーとまちづくり、省エネ技術について学ぶ
- スマートタウンでの実践事例を通してエネルギーとまちづくりを捉える

#### STEPO: 前段 10分(17:20-17:30)

出席確認を行いながら今回の学習の学習の目的について周知を行う。

#### Step 1 : 講義動画 内容共有 15分(17:30-17:45)

# 「視聴した動画を簡単にポイントを発表してみよう!」

2 17「エネルギーとまちづくり実践 動画見学 Fuijsawa SST」 北村先生

#### Step 2 : 質問・ディスカッション 10分

- 質問があるかなど確認 特にない場合以下の質問について意見を言ってもらう
- 1\_「まちづくりにおける省エネルギーの可能性について」
  - ・講義で出てきたエネルギーに関する手法で コミュニテイに使えそうな手法、これから使いたい手法などあったらあげてください
  - その効果はどのようなものがあると思いますか?
- 2\_「今後、どのように取り入れていくべきでしょうか?」

2020/12/01 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO1 : 担当 連健夫先生 古賀先生 (麻生建築&デザイン専門学校)、松村 No3001

#### まちづくりフィールドワーク 演習

一 課 題 表 一

目的

まとめ課題としてこれまでの講座を踏まえてまちづくりフィールドワーク実習を行う。

- ・まち歩きを行い、まちをみること、まちの資源を見つけることの演習を行う。
- ・また、その見つけた資源を生かすための提案を行う。

課 題 1

# 「指定されたエリアを歩き、街の"たから"と"あら"を見つけて ショートムービー(動画)を撮影しアップしてみよう!」

場 所 : 添付した福岡市博多区の地図のエリア A、B、C ※別添資料参照

班ごとにディスカッションしてエリアを最初に決め、そのエリア内で見つけてくること。

●提出期間:2020年12月1日(火)~2021年1月25日(月)

※2020年1月12日(火) 中間ディスカッション予定(授業内)

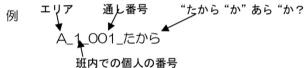
提出物1:ショートムービー(動画)

動画のルール

- 1\_長さは5秒程度以内としてください。
- 2\_コメントを動画に話しながら撮影してください。

例 撮影時マイク ON にして「道が細いのですごい賑わいです!」などコメント添付

- 3\_1 人一本以上、複数提出して OK。(加点します!)
- 4\_たから・あらがわかりやすく撮影しようね!
- 5\_ファイル名を変えてわかりやすく投稿してください。



【ファイル名の変更方法】(スマホ・タブレットも同様)

投稿する前にファイルを保存。名前の変更をしてから投稿してください。

提出場所: クラスルーム課題に各自提出してください。

※課題完了は最後まで行わないでくだい。提出取り消しを行うことで動画の追加ができます。

#### 提出物2:マップ(手書きで動画撮影ポイントをマッピング)

配布された各エリアのマップに撮影したポイントを記入してください。

動画の撮影ポイントがわかりやすく、アップした動画のファイル名を記入してください。

提出場所: クラスルーム課題に各自提出してください。

- 1\_マップに手書きで記入していきましょう。
- 2 ポイントは漏らさず記入。写メを撮影して提出してください。(なるべく真上から)
- 3\_動画撮影が終わった後、最後に提出しましょうね!

#### 課 題 1,5

- ・他の人の動画を見て提出物にコメントしてください! (20文字以内でコメントしてね!) [方法] クラスルーム 課題 提出物 限定コメントで入って書き込めます。
- ・コメントがどのくらい盛り上がるかも採点対象です。ぜひどんどんコメントしましょう!

2020/12/01 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 連健夫先生 古賀先生(麻生建築&デザイン専門学校)、松村

VerO1 No3002

#### 

課 題 2

# 「エリア内でサイトを決めて街の"たから"と"あら"を使って それらを生かした提案をしてみよう!」

場所: 各班のエリア内で集めた動画などを参考にしてサイトを決めてください。 ※中間ディスカションでサイトを候補2~3箇所程度に絞り、12月4日に決定。 提案の作成予定。

●提出:2021年1月26日(火)授業時間内でまとめて提出提出場所:クラスルームにて1月26日課題として出題しますので提出してください。※グループで1案 提出してください。

#### 最終提出物:提案スケッチ

- 各グループに模造紙を配布いたします。模造紙一枚以上で提案を行なってください。
- 指定したサイトがわかるようにしてください。 配布マップなどうまく使ってね!
- 第一課題の動画などもうまく利用しよう! 動画をスクリーショットなどで画像にしてアウトプットしておいたりすると材料で使 えて便利です。
- ・綺麗に作るよりもいかに話し合いをしてその意図を表現するかを考えてください。綺麗さを求めるわけではなくアイディアをいかに伝えるか、こだわりを持って行ってね!
- 絵や図などビジュアルでわかりやすくすることも大切です。
- タイトルをつけてください!

#### 参考資料

• 連健夫先生 提案例参照

#### 発 表

2021年2月5日(金) 13時00分から 発表会を行います。

- 経過発表会 2021年1月29日(火) 最後に全ての班に発表をしていただきます。詳細は後日発表いたします
- ※なおブラッシュアップ後 発表会用再提出 2021年2月4日(木)

2020/12/01 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO1 : 担当 連健夫先生 古賀先生(麻生建築&デザイン専門学校)、松村 No3003

#### まちづくりフィールドワーク 演習

#### 進め方

#### 〇まちづくりフィールドワーク実習① 課題出題

※第 16、17回 ディスカッション\_17:20-18:00(40分)

2020年12月1日(火) 18:00-19:00

担当: 連健夫先生、古賀先生、松村

• 挨拶、前段

・課題出題、班わけの発表

・各班 話し合い エリア極め

まとめ 10分

○まちづくりフィールドワーク実習①\_ex 進捗共有・中間ディスカッション

2021年1月12日(火) 18:00-19:00 担当: 古賀先生、松村

※第21、26回 ディスカッション\_17:20-18:00 (40分)

- ・挨拶、班ごとでこれまで提出された動画について話し合い。
- 中間での動画のマッピングを行う。(班毎、色分けして個人の撮影ポイントをまとめる。)
- ・最終的にサイト候補を2~3案程度まで絞る。

#### ○まちづくりフィールドワーク演習②\_ex まとめ作業準備と確認

2021年1月19日(火) 18:30-19:00 担当: 古賀先生、松村

- ・動画の提出状況の確認 ・マッピングの確認
- ・サイトの決定と方向性の確認 ・資料の確認 他

※第23回 実践 17:00-18:30 (90分)

Oまちづくりフィールドワーク演習② まとめ作業

2021年1月26日(火) 17:00-19:00 担当:連健夫先生、古賀先生、松村

- 前段
- まとめ作業に向けてポイント
- まとめ作業
- 発表+指導

#### 〇まちづくりフィールドワーク演習③\_ex \_ 発表会準備

2021年2月5日(金) 12:00-13:00 担当: 古賀先生、松村

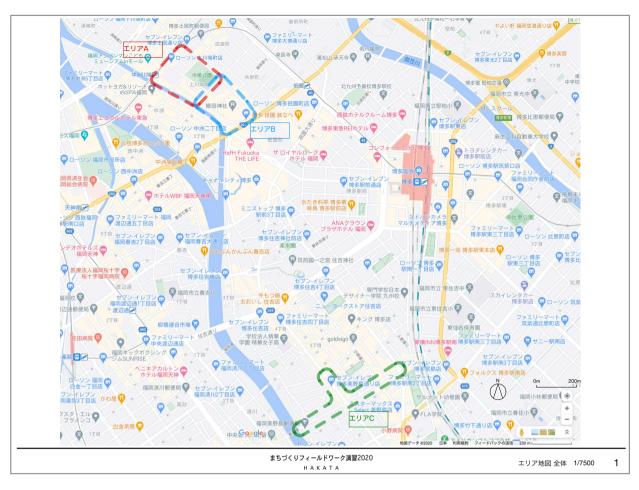
• 発表会準備の確認他

#### ○まちづくりフィールドワーク演習③\_ 発表会

2021年2月5日(金) 13:00-16:10

担当:連健夫先生、古賀先生、今泉先生、松村、実証分科会委員、検証委員他

- 前段、課題説明
- •代表発表 15分(動画3分\_提案5分 7分質疑) ×6班(麻生2、日工4班)
- 講評まとめ









○第18回、第21回、第28回 ex (2021年1月12日) 実証記録 ◇タイトル

第18回「インスペクション・耐震化・不燃化概論」

第21回「修復実例見学」

第28回「まちづくりフィールドワーク実習①」ex

#### ◇日時

2021年1月12日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名 ◇目的

「インスペクション、耐震化と不燃化の技術、方法、助成制度の仕組を、木造、 RC 造、S 造の構造別に理解する。」

「保存、修復事例を訪問、見学する。可能であれば関係者からの説明を受け 現状の課題を理解する。」

「まち歩きのコメントが入ったビデオを見て、

まちの読み取り方を学び、各グループでまち歩きを行う」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学) 動画講師 向田良文 大倉宏

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義 + 動画によるオンデマンド

◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





#### ◇授業詳細 コマシラバス

2021/1/12 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 VerO2 : 担当 古賀先生(麻生建築&デザイン専門学校)、松村 No2801

#### ディスカション ・ まちづくりフィールドワーク 演 習

#### ディスカッション (17:20-18:00

21 保存修復見学動画保存修復見学動画 18 耐震化、不燃化、インスペクションの実際

#### ディスカッションテーマ

- 21\_「文化財の保存修復をしていく時に大切なこと・考え方・手法をあげてください」
- 18\_「インスペクションの必要性・なぜ必要か?について考えてみよう!」

#### 中間指導(18:00-18:50

#### 目的

- •まちづくりフィールドワークの進捗確認。 •「たから」と「あら」について話し合いを行う。
- エリアの中からサイトと「たから」「あら」・方向性を絞る。 3案程度

#### Step O : 事前準備

- ・グループごとに集まる。 ・1 人が PC (I pad) を立ち上げた状態で zoom につなぐ。
- そのPC(I pad)でみんなが撮影した動画が見られるようにしよう。
- ・講師はブレイクアウトルーム を3部屋作成。割り当てを行う。
- 事前にエリアマップを各班に用意。(A3 打ち出し)

#### Step 1 : 進め方説明 10分(18:00-18:10)

講師より進め方について説明を行う。

---以下 step2~4 まで班に分かれてキャプテンを中心に実施------

#### Step 2: 「たから」と「あら」動画の確認 15分 (18:10-18:25)

- I pad で 1 人ずつ撮影した動画を見ながら「たから」と「あら」を確認する。
- map に撮影場所をマーキングする。その際に誰の動画かわかるように色分け・記名する。
- 撮影者は動画を見ながら何が「たから」「あら」も説明もして共有してね!5s 動画×10本 + 1分 = 2分×6人 12分 予備 3分 15分

#### Step 3 : ディスカッション 15分 (18:25-18:40)

- ・メンバー1人ずつ おすすめを発表しよう!
- その意見をもとにディスカッションしてみよう!
- ・目標はまちの「たから」と「あら」を発見し、提案を行うこと。そのサイトを絞ることも考えながらね!

### Step 4 : まとめ 5分 (18:40-18:45)

- ・本日は中間として3箇所程度に絞ってください。
- 今の段階での重み付けもして見てね!

#### Step 5 : 発表・次回に向けて 5分 (18:45-18:50)

1 チームに代表して成果を発表共有。その後来週に向けて話。

HW: 各人提案をスケッチ(図・配置など)にしてくると次回、充実したまとめになります。

#### ◇受講生の提出物 まとめ課題分析1







# ○第23回(2021年1月19日) 実証記録

#### ◇タイトル

第23回「建築と不動産 演習」

#### ◇日時

2021年1月19日(火)

17:20~18:50

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

## ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

#### ◇目的

「建築と不動産、経営等を捉えて、演習を行う。」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀俊光(麻生建築&デザイン専門学)

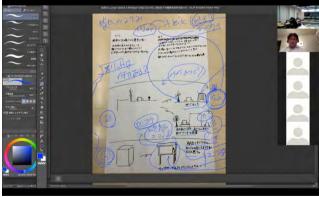
#### ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





#### ◇授業詳細 コマシラバス

2021/1/19 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 古賀先生 松村 VerO2aso No2301

建 築 と 不 動 産 演 習

- 課 題 表 -

#### 目的

建築と不動産、経営などを捉えて、演習を行う。

・エリアマネジメントの観点から現在の状況を踏まえた空き家およびその周辺について利用 提案を行う。

#### 課 題 1

# 「指定されているサイトを利用して"たから"と"あら"を使って それらを活かした提案をしてみよう!」

※ "アラ"を解決する、"タカラ"を活かし、何らかの価値(Value)をつくること。

サイト: 千葉県いすみ市国吉駅周辺のA、B、C、Dとする。 ※別添 資料参照

#### POINT

- ・継続性を持てるように意識し、何らかの価値(Value)をつくることを考えること
- ・サイトについてはそれぞれ制約があることをお考えください。 別添 資料参照

#### 最終提出物:提案スケッチ(A\_分析+B\_提案)

- 分析したどの"たから""あら"を使ったか明確にしてください。
- ・手書きスケッチの写真での張り込みなどデジタルとリアルをうまく混合してください。
- ・綺麗に作るよりもいかに話し合いをしてその意図を表現するかを考えてください。綺麗さを求めるわけではなくアイディアをいかに伝えるか、こだわりを持って行ってね!
- 絵や図などビジュアルでわかりやすくすることも大切です。
- タイトルをつけてください!

#### 提出

作業時間 : 1/19(火)授業時間中

・ 各班写真を撮影して提出

#### 発 表

選抜 3班

2021/1/19 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座

: 担当 古賀先生

松村

VerO2aso No2302

#### 築 と不動 漝

#### 前 段 (説 明): 17:20-17:35 (15分)

出席確認後高橋寿太郎先生をご紹介。下記の進め方について説明を行う。

### 提 案 (進 め 方): 17:35-18:25 (50分)

- ①班ごとに分かれて挨拶。司会とタイムキーパー、記録係を決めよう!
- ②その後、行ってきた宿題を1人ずつ発表。スケッチも見せながらね!
  - →この時にしっかり記録を残しながら行うことも重要だよ!
  - →最初に参考例のフォーマットを描いてみるといいよ!
- ②どの"たから""あら"を使い、どの方向にするか皆で話し合いを行う。(重み付け) →時間を見ながら方向性の決定を行う。
- ③決まった方向性に付け加えられるアイディアや皆の意見も取り入れていこう!
- ④案の方向が決まったら役割分担を行う。まず、表現するためにやることは何があるかあげる。 それらを皆で分担して行おう!→時間が短いから効率よく行ってね!
- ⑤タイトルをつけることも忘れないでね!
- ⑥時間配分モデル

挨拶と役割決3分→宿題記載5分→発表10分→意見交換・案の方向性決定10分 →作業 20 分→提出

#### 提 出 確 認(発表選抜): 18:25-18:30(10分)

発 表: 18:30-18:45(10分)

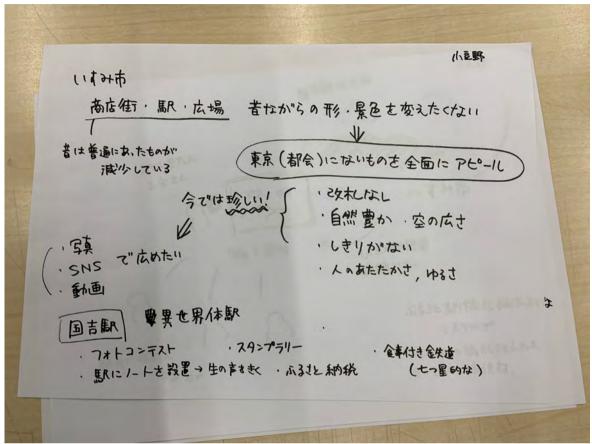
3 班発表

1班:発表 2分 + 講評 2分 計4分 × 3班 12分 予備2分

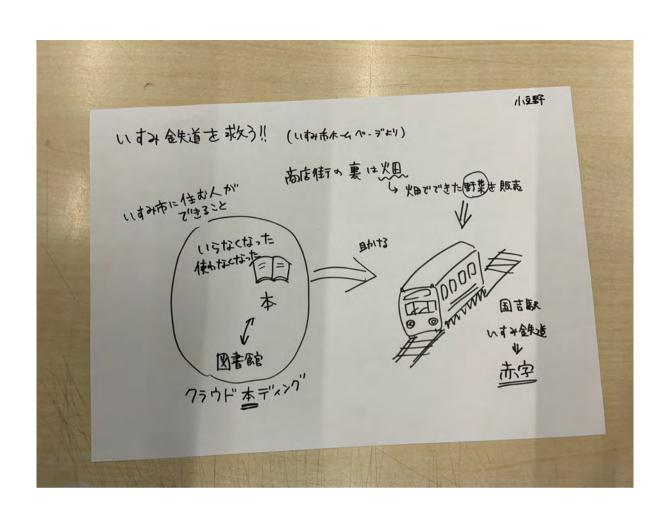
まとめ: 18:45-18:50 (5分)

次回に向けての確認

### ◇受講生の提出物 建築と不動産演習 スケッチ







#### 〇第29回(2021年1月26日) 実証記録

#### ◇タイトル

第29回「まちづくりフィールドワーク実習②」

#### ◇日時

2021年1月26日(火)

第29回 17:20~20:10

※運用上の詳細な時程については授業詳細(コマシラバス)参照

#### ◇受講生

建築士受験認定学科より希望者(建築サークル) 1から3年 16名

#### ◇目的

「発表(グループ別でスマホ撮影したもの)とディスカッション」

#### ◇担当講師

講義・運用担当 松村 哲志(日本工学院専門学校) 福岡 担当講師 古賀 俊光(麻生建築&デザイン専門学) 実践講師 連 健夫(JCAABE 代表理事)

#### ◇授業方法

Web によるリモート講義

#### ◇配布資料、教材

まちづくりファシリテーター養成講座実証講座教科書





#### ◇授業詳細 コマシラバス

2021/1/26 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 : 担当 連健夫先生 古賀先生、(麻生建築&デザイン専門学校)、松村 Ver01 No2901

#### まちづくりフィールドワーク 演習2

事前にグループごとで集まれるように机のレイアウトなど準備を行う。

※短時間でまとめるので大まかな時間配分を掴もう!

授 業 開 始 17:20 開始

↓ (35分) 1\_エスキス

チェックポイント1 17:55 まで まとめ前半 方向性 →松村 チェック確認

↓ (60分) 2\_制 作

チェックポイント2 18:55 まで まとめ 提出 → 写真で提出箱へ

↓ (25分) 3\_中間レビュー →全班発表 連健夫先生

授業終了 19:20

↓ (約1week) ブラッシュアップ

チェックボイント3 2/5 (金) 昼 12:00 最終提出

※短時間で集中してまとめ上げる → まちづくりでは 住民とワークショップ中で

※課題の目的。 「まちの資源の発見→提案」ディスカッションを通じて協働して行う!

O\_ま と め 事 前 準 備 (前回及びメールにて指示を行った内容)

#### 前 回 • 宿 題

- ・サイトの分析 1/12 段階
- 動画のおすすめの画像
- 提案スケッチ

1 \_ エ ス キ ス(まとめ作業前半)

#### 目 的 (やること)

A\_サイトの確定

B\_テーマとする「たから」と「あら」の決定

- → ABはどちらが先か悩みどころ
- C\_現状ある材料(宿題のスケッチ、アイディア)の確認 →これらをチェック
- D\_中間レビューに向けて作業をまとめ →レイアウトの方向性をチェック
- E\_次の時間への準備の指示 必要なもののピックアップ、役割分担、作業など
- ※課題の目的。 「まちの資源の発見→提案」ディスカッションを通じて協働して行う!

Step 1\_0 : 流れの確認 5分 (17:20-17:25)

・進め方の確認を行う。→終了後、各班ブレイクアウトルームへ

Step 1\_1 : 各班相談 準備的エスキス 15分 (17:25-17:40)

松村がブレイクアウトルームを使って回っていくので自由に相談。

17:40 にはエスキス担当講師(松村)にプレゼンできるように班長が中心となって準備。

#### Step 1\_2: 各班相談 エスキス 15分 (17:40-17:55)

講師との相談(エスキス)→目的はエスキス!ここからさらに伸ばすこと!

- 17:40-
- 17:45-
- · 17:50-
- ・一旦、絞った内容、材料を並べてみよう! 説明してね! (短く的確に1分が目安)

#### まちづくりフィールドワーク 演習2

#### Step 1\_3: 作業 (目標が決まったチームから残り時間)

できたチームからどんどん次のステージに進めていこう!

#### ポイントチェック(レイアウトに悩んだら)

- 発表することを意識してみよう! A2\_1枚 分析、1枚 提案※発表に向けて 参照
- 分析は選んだ「たから」「あら」の動画のビジュアルをうちあだして貼り付けるなど工夫

2 \_ 制 作 (提案のまとめ) (17:55-18:55)

#### 目 的 (やること)

1 提案を一旦完成

各班うまく役割分担して進めていってください!

#### Step 2 1 : まとめ作業 60 分(17:55-18:55)

5分おきに各班を巡っていく。\_連先生 松村 助言もしていくので学生は講師もうまく使ってね!

#### 提 出 (提案のまとめ) (18:55)

Google クラスルームにて課題で出題 各班一名が提出を行う

撮影、提出も含めて 18:55 時間厳守で

提出物 : A提案 A2 × 2 写真 + B動画:使用した「たから」「あら」

3\_中間レビュー(18:55-19:25)

#### 目 的 (やること)

1\_中間レビューを受けてブラッシュアップ 次週へ

#### Step 3\_1 : 中間レビュー 25分 (18:55-19:20)

各班 説明(動画2分+案の説明3分 5分)+質疑・意見交換 3分 計8分 8分 × 3班 24分

• 連先生、現地講師、担当講師からの一言

#### Step 1\_4 : 発表会に向けて

各班に分かれて発表会に向けてうちあわせをおこなう。 おすすめ!\_ぜひ発表に向けてさらにブラッシュアップしていこう! 短時間でも行うことが楽しみの扉を開きます!

文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 2021/2/5 : 担当 連健夫先生

Ver01 古賀先生、(麻生建築&デザイン専門学校)、松村 No3001

#### まちづ 演 習3

#### 発表について

プレゼンテーションを行う際のポイントについてまちづくりフィールドワーク実習の発表を例 にとって記載します。参考として発表について準備を行ってください。

#### Step 1:前提(発表時間、内容、目的)を確認しよう!

発表時間:動画の発表3分+提案の発表4分=合計7分 発表

的: まちの "たから"・"あら" を発見し、それを生かした(改善する)提案を行う

動画

- 提案

#### Step 2:準備1 箇条書きにしてみよう!

自分たちの言いたいこと、考えたことを箇条書きにしてあげてみよう! 大切なことが漏れていませんか? 今、一度チェックをしてみよう!

#### Step 3:準備2 順番をつけて組み立ててみよう!

上記の箇条書きした項目に順番をつけて流れを作り組み立ててみよう!

#### ○今回の場合のオーソドックスな流れ

- 1\_班名、メンバーを(自己)紹介、挨拶をしよう!\_挨拶があるだけで発表がしまります。
- 2 今回の対象エリアを話してみよう! Ex 「A エリアについて取り組みました。」 ※初めての人もいるので必要に応じて動画や提案につながる特徴を話すとベター
- 3 対象エリアの中の選んだサイトを説明しよう。→地図でどの位置か?など
  - なぜ?このサイトを選んだか?について説明すること!
    - →先に"たから"と"あら"を見つけてそれがある場所という場合は先に4を行い、 3に戻るという順番もあります。→卵が先か鶏が先かの議論と同じ。
- 4\_選んだ"たから"と"あら"について動画を使って説明しよう。
  - エリアの中の位置
- どのような"たから""あら"か?
- ・なぜそれを選んだのか? ※分析、提案を明確にしてみよう!
- 5\_提案について1 説明しよう!
  - どの"たから"と"あら"を使ったものか?それをどのように利用したか?

  - どのような提案か?これまで学んだ視点も生かしてみよう!
- 6 提案について2 まとめてよう!
  - その提案によって街はどのように変わって行くか?・提案の目的
- 7\_最後にこの提案でのメッセージを語ろう!

みんなで挨拶をして終了!

#### Step 4:役割分担しよう!

みんなと協働してより良い発表にするために役割分担をしてみよう!

分 析

> 提 案

3-2 実証講座 の検証

### 【3-2 実証講座の検証】

#### 3-2-1 実証講座の検証概要

2020 年度後期に協力教育機関で実施された実証講座について以下の検証を行いました。

#### 〇学生対象調査

実証講座受講学生を対象に受講前、受講後の2回にわたりアンケート調査を実施しました。受講前と受講後、基本を同じ内容について調査を行い、その比較から講座の検証を行うことを意図しています。また、受講後の新設項目として委員会開催時に委員より意見としてビジネス、マーケティングの手法としてよく用いられる、「おすすめ度」についてつけ加えて調査を行いました。

#### ◇受講前アンケート調査

対象:各協力教育機関 受講者(任意回答) 93名

時期:講座受講前 第1回終了時

2020年10月第1回から第2回の間一週間

内容:受講者の属性、まちづくりファシリテーターに関する理解度 講座に対する期待度、期待すること まちづくりファシリテーターに必要と考える知識・技術・カ 興味のある講義内容

#### ◇受講後アンケート調査

対象:各協力教育機関 受講者(任意回答) 87名

時期:最終授業(まとめ課題発表会)終了後

新潟工科専門学校

日本工学院専門学校・麻生建築&デザイン専門学校

2021年2月初旬

2020年12月中旬

内容:受講者の属性、まちづくりファシリテーターに関する理解度 講座に対する満足度、満足したこと、満足しなかったこと 講座に対するおすすめ度、おすすめする理由、おすすめしない理由 まちづくりファシリテーターに必要と考える知識・技術・力 ためになったと思う講義内容

#### ○評価委員による評価

講座の評価を行うために実証分科会委員を中心に他の事業実施委員、テキスト執筆者、まちづくり実績のある企業の建築士などのエキスパートに加え、協力教育校の所在する地域の行政職員、地域のプロフェショナルであるまちづくり経験のある建築士などを評価委員として適宜集まっていただき意見聴取、アンケートなどを実施しました。

評価委員は以下 A B、二つの評価委員とし、適宜内容に合わせて方法を変えて評価を行なっていただきました。

評価委員 A: 実証分科会委員

評価委員 B: 実証分科会委員+協力教育機関の所在する地域の人、行政、企業ほか

#### 実証分科会委員以外の主な評価委員

大田区役所 都市開発課 課長 柞木 尚(ゆすのき たかし) 大田区役所 防災まちづくり課 課長 瀬戸 隆司 福岡建築士会 まちづくり委員会副委員長 山田 龍男 新潟建築士 NAKANO☆DESIGN ―級建築士事務所 代表 中野 ―敏 大東建託株式会社 中村 直人

①まとめ課題「まちづくりフィールドワーク演習」発表会後のアンケート

実施対象:評価委員 B (上記参照)

実施日時:第1回 新潟工科専門学校 発表会後 2020年12月11日後1週間

第2回 麻生建築&デザイン専門学校 日本工学院専門学校合同発表会

2021年2月5日後1週間

方法 : アンケート調査

内容 :教育目的の達成度、教育方法の適切さ

Web を利用した新たな学びへの評価、自由記述など

#### ②評価委員会での意見交換

実施対象:評価委員 A : 実証分科会委員

実施日時:2021年2月15日(月)15:00~18:30

方法 : 実証分科会内、合同委員会での意見交換

#### 3-2-2 学生対象調査

#### ○アンケート内容

#### ◇受講前アンケート

#### 【受講学生対象 事前アンケート】

質問1 学校はどちらですか?

1\_日本工学院専門学校 2\_麻生建築&デザイン専門学校 3\_新潟工科専門学校

質問2 性別を教えてください。

1 男性 2 女性

質問3 通われているのは何年制コースですか?

1\_2年制 2\_3年制 3\_4年制 4\_その他

質問4 いま何年生ですか?

1 1 年生 2\_2年生 3\_3年生 4\_4年生 5\_その他:

質問5 将来志望している進路

5\_営業 1 設計 3\_役所 4\_不動産 2\_施工管理

7\_施設管理 8 進学 6 メーカー 9 その他:

質問 6\_まちづくりファシリテーターについて どの程度理解できましたか?

1 大変、理解できた 2 理解できた 3 普诵

4 あまり理解できなかった 5 理解できなかった

質問 7 まちづくりファシリテーター養成講座への期待をお答えください。

1\_すごく期待している。 2\_期待している。 3 普诵

4\_あまり期待していない。 5\_期待していない。

上記質問において1もしくは2を選択した方のみ、おこたえください。

質問8 期待している理由は何ですか?複数ある場合はいくつでもおこたえください。

1\_将来に役立ちそうだから 2\_まちづくりに興味があるから 3\_資格がとりたいから

5 人と人をつなぐことに興味があるから 6 その他 4 楽しそうだから

質問9\_まちづくりファシリテーターに必要だと思う知識や力は何だと思いますか?

複数ある場合はいくつでもおこたえください。

1\_建築設計力 2\_コミュニケーションカ 3\_法律に関する知識・力

4 不動産に関する知識・力 5 ビジネス・マネジメントに関する知識・力

6 チームワークカ 7 都市に関する知識・力 8 保存・修復に関する知識・力

9 防災に関する知識・カ 10 エネルギーに関する知識・カ 11 実践力 12 その他:

質問 10 興味のある講義は次のうちどれですか?複数ある場合はいくつでもおこたえください。

1\_都市計画について 2\_合意形成のための知識(まちづくりについて)

3 合意形成のための手法(実践:ワークショップなど) 4 まちづくりのルール

5 建築設計における利用者のかかわり 6\_リノベーション(改修)

8\_保存修復について 7 耐震化•不燃化

9\_ビジネス・マネジメントについて 10\_不動産

11\_空き家について 12 事例見学 13\_まちづくりの実践(まとめ課題) 14\_その他

質問 11 自由にご意見をお聞かせください。(自由記入欄)

#### ◇受講後アンケート

【受講学生対象 受講後アンケート】 質問1 学校はどちらですか? 1\_日本工学院専門学校 2 麻生建築&デザイン専門学校 3 新潟丁科専門学校 質問2 性別を教えてください。 2 女性 質問3 通われているのは何年制コースですか? 1\_2年制 2\_3年制 3\_4年制 4\_その他 質問4 いま何年牛ですか? 3\_3 年生 4\_4 年生 1 1 年生 2 2 年生 5 その他: 質問5 将来志望している進路 1 設計 2 施丁管理 3 役所 4 不動産 5 営業 6 メーカー 7\_施設管理 8 進学 9 その他: 質問 6\_まちづくりファシリテーターについて どの程度、理解できたと感じていますか? (新設質問) 2\_理解できた 1\_大変、理解できた 3\_普通 4 あまり理解できなかった 5 理解できなかった 質問7\_まちづくりファシリテーター養成講座への満足度をお答えください。 1 すごく満足している。 2 満足している。 4 あまり満足していない。 5 満足していない。 上記質問において1もしくは2を選択した方のみ、おこたえください。 質問 7-1 満足している理由は何ですか?複数ある場合はいくつでもおこたえください。 1\_将来に役立ちそうだから 2\_まちづくりに興味があるから 3\_資格がとりたいから 4 楽しかった 5 人と人をつなぐことに興味があるから 6 その他: 上記質問7において1もしくは2を選択した方のみ、おこたえください。 質問 7-2\_満足していない理由は何ですか?複数ある場合はいくつでもおこたえください。 2 まちづくりに興味がない 1 難しかった 3 進路に関係ない 4\_内容がもう一つ物足りなかった 5\_一人で仕事していきたいから 6\_その他 質問8 まちづくりファシリテーター養成講座を受講してみて友達や後輩に受講をお勧めしたいですか。 (新設質問) 1\_すごくお勧めする。 2 お勧めする。 3 普通 4\_あまりお勧めしない。 5\_お勧めしない。 上記質問8において1もしくは2を選択した方のみ、おこたえください。 質問8-1 お勧めする理由は何ですか?複数ある場合はいくつでもおこたえください。 1 将来に役立ちそうだから 2 まちづくりに興味があるから 3 資格がとりたいから 4 楽しかった 5 人と人をつなぐことに興味があるから 上記質問8において1もしくは2を選択した方のみ、おこたえください。 質問8-2\_お勧めしない理由は何ですか?複数ある場合はいくつでもおこたえください。 1\_難しかった 2\_まちづくりに興味がない 3\_進路に関係ない 4\_内容がもう一つ物足りなかった 5\_一人で仕事していきたいから 6\_その他 質問9 まちづくりファシリテーターに必要だと思う知識や力は何だと思いますか? 複数ある場合はいくつでもおこたえください。 1 建築設計力 2\_コミュニケーションカ 3 法律に関する知識・ 4\_不動産に関する知識・力 5\_ビジネス・マネジメントに関する知識・力

6\_チームワークカ 7\_都市に関する知識・カ 8\_保存・修復に関する知識・カ

9\_防災に関する知識・カ 10\_エネルギーに関する知識・カ 11\_実践力 12\_その他 質問 10\_役に立ったと思う講義を教えてください?複数ある場合はいくつでもおこたえください。

1\_都市計画について 2\_合意形成のための知識(まちづくりについて)

3\_合意形成のための手法(実践:ワークショップなど) 4\_まちづくりのルール

5\_建築設計における利用者のかかわり 6\_リノベーション(改修)

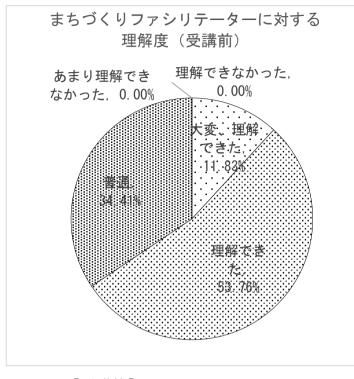
7\_耐震化・不燃化 8\_保存修復について

9\_ビジネス・マネジメントについて 10\_不動産

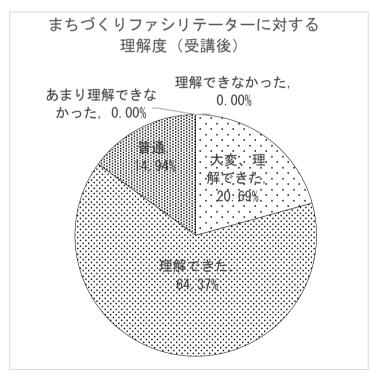
11\_空き家について 12\_事例見学 13\_まちづくりの実践(まとめ課題) 14\_その他 質問 11\_自由にご意見をお聞かせください。(自由記入欄)

#### 〇アンケート結果

◇まちづくりファシリテーターに対する理解度【受講前】



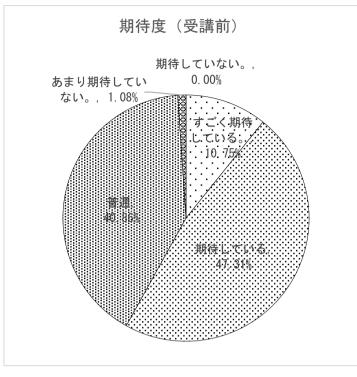
#### 【受講後】



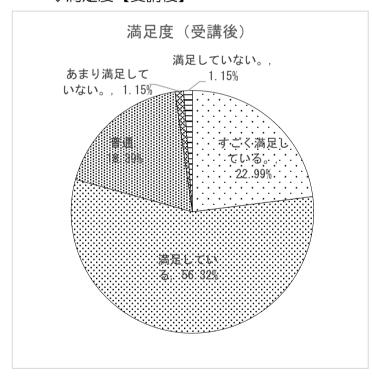
まちづくりファシリテーターの理 解度について、受講前は「大変理解 できた」「理解できた」と回答した 理解層が69.59%となっていたのに 対して受講後では85.06%と大幅に 増加しています。特に受講後は 85%以上という高い数値を示してお り、非常に多くの学生がまちづくり ファシリテーターについて理解でき たと回答しています。また「大変理 解できた」と回答した深い理解をで きたと感じている学生は受講前の 1183%から2069%とほぼ倍に 増えています。この結果はこの講座 を受講することによりさらに深い理 解が進んだと考えられます。また受 講前の理解層に着目すると受講前に も関わらず7割に近い比較的多くの 受講者が理解できたと回答していま す。さらに言うと理解できなかった という受講生は受講前、後ともに一 人もいない結果となりました。これ は事前にまちづくりファシリテータ ーとは何かを表したイラスト付きの リーフレットを配布していたこと、 また受講前のアンケート実施の時期 が運用上、初回(第一回目序章、第 二回都市計画における住民参加とフ アシリテーターの役割)を受講した

直後に行ったことも影響があると考えられます。これらのことから今回広報資料として開発したイラストが効果的であったことや最初2回の講義でまちづくりファシリテーターの役割、意義について理解がされ、その上で行われた講義・実践を通じてさらに深い理解が得られたことが伺えます。

#### ◇期待度【受講前】



#### ◇満足度【受講後】



まちづくりファシリテーター養成講座に対する受講前の期待度と受講後の満足度についてみてみると受講前には「すごく期待している」「期待している」と回答した期待層は58.06%となっているのに対して、事項後に「すごく満足している」「満足している」と回答した満足層は79.31%となり大幅に増加した結果となっています。この結果から1\_受講前から大きな期待が寄せられていたこと、2\_その期待を上回る受講生の満足が得られたことがわかります。受講後の8割近い受講生が満足しているという

結果は満足度としては非常に高い結果であるとともに「満足してない」あまり満足していない」と回答した不満足層は2.30%と極めて少ないことからも大変に大きな満足が得られた講座であると考えられます。さらに受講前の「すごく期待している」、受講後の

「すごく満足している」と回答した積極的な期待層、積極的な満足層について比較してみると2倍以上に増加しています。このことからも受講生は大きな満足度を得ることができたと考えられます。

#### ◇期待する理由【受講前】



〈自由記述〉 自身の建築的な視野が 広がりそうだから

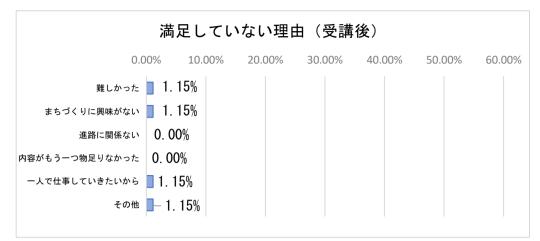
◇満足した理由【受講後】



〈自由記述〉 「まちづくりはこれからの建築にとって大切なことなので、資格は取れずとも参加すればより高いスキルが得られると思い参加した。 たくさんのお話は一言がとても勉強になりました。」

まちづくりファシリテーター養成講座に期待する理由と満足した理由についてみてみると全体的に多くの項目で受講後の満足した理由が増加していることがわかります。このことからまちづくりファシリテーター養成講座の受講を通じて受講生が多くのメリットを実感していることが読み取れます。満足した理由について着目してみると最も多い回答は「将来役に立つ」52,87%、続いて回答が多かったのは「楽しかった」が35.63%となっており、受講生はこの講座が「将来役にたち」かつ「楽しい」講座であると感じている結果となりました。特に「楽しかった」と感じた学生はほぼ2倍に増加しており、講座やまちづくりの楽しさを実感できる学びであるということが結果から伺えます。また受講後の満足した理由において、続いて多い回答であった「まちづくりに興味」「人と人を繋ぐことに興味」についてみると受講前に期待していた理由からはどちらも2倍近い回答となっています。このことから受講を通じてコミュニケーションすることに楽しさやりがいを感じた受講生が増加していることを示していると考えられます。このことから現在、人材育成教育において必要性が叫ばれているコミュニケーションカの育成に対して効果があると考えられます。

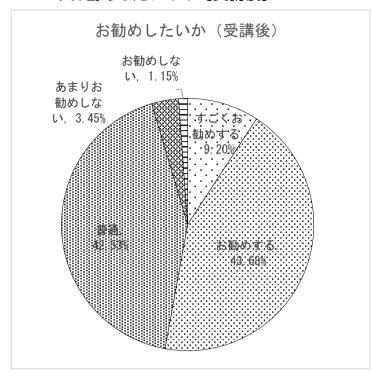
#### ◇満足していない理由【受講後】



□自由記述受講後
「zoom という環境
化でファシリテータ
ーとしての圧が授業
内容より感じてしま
ったから」

満足していない理由についてみてみるとどの項目も 1%程度以下の数字である。少ない数字である結果ではありますが今後、回答者の進路によるクロス集計なども行い、傾向などの分析を進めたいと考えています。自由記述についてみてみると「ファシリテーターとしての圧を感じた」と回答しています。今回の講座での実践においては全ての受講生がファシリテーター、書記、班長など、まちづくりで想定される役割を一度は経験するように運用しました。これまでこういった経験が不慣れであり、得意ではない学生にとってはプレッシャーを感じることもあるということかと考えられます。しかし、コミュニケーションカ育成と言う意味では役割分担を講座に取り入れることは大切なことであり、一度は経験を行うことが重要で負担に感じないよう心を配りながらも実施していく工夫の検討も必要と考えます。

#### ◇お勧めしたいか?【受講後】



お勧め度についてみてみると「すごくお勧めする」と「お勧めする」と「お勧めする」と回答した受講生は57.88%と6割近い受講生がお勧めしたいと回答しています。一方で「お勧めしない」「あまりお勧めしない」と回答した受講生はわずか4.6%と少ない数値を示しています。他の人にもお勧めしたいということは積極的な満足度を示していると考えられ、多くの受講生がこの講座を通じて高い効果と満足度、楽しさを感じた結果であると考えられます。

#### ◇お勧めする理由【受講後】



く自由記述〉 「いろんな考え方があって、視点や視野が広がるから」 「考え方が変わるから」 「いろんな視点、から」 「いろんなれるから」 「もっとたくさんの 人に事活動を知ってほしい」

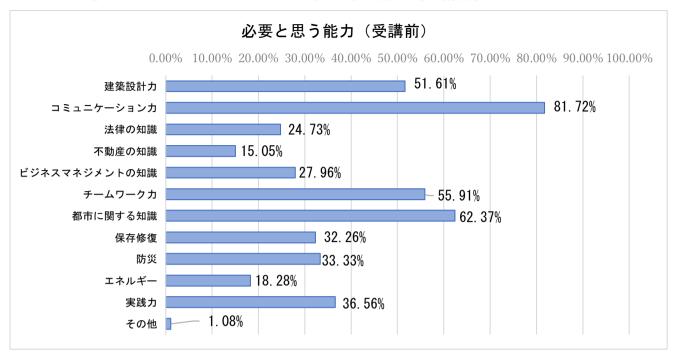
お勧めする理由についてみてみると「将来役に立つ」と回答した受講生が 42.53%と最も多い数値を示しています。受講生の約4割が将来に役に立つと実感 し、他の人にお勧めしたいと思った講座であったと考えられます。また、次に多い回 答は「楽しかった」26.44%であります。ここでもこの講座が「役に立ち」「楽し い」講座であることが伺うことができます。さらに注目できることとして「人と人を つなぐことに興味」が18.39%と2割近い受講生が回答しています。この講座を 通じて人を繋ぐことの楽しさを覚え、協働する喜び、やりがいに興味が湧いてきてい ると考えられます。

#### ◇お勧めしない理由【受講後】



お勧めしない理由についてみてみると全ての項目において 2%程度以下と大変に少ない数値となっています。この講座はその特性上、大変に幅広い分野を扱った内容になっています。また、実践的な講座を実施方針にしているため、その内容も非常に高度なものまで扱っております。その中で難しかったと感じた学生が全体の中で2.3 0%という結果は見方を変えると高度な内容について難しさを感じさせずに実施することができたということに成功している結果と見ることができます。今後、これらの結果は満足していない理由とともに希望進路などとのクロス集計などを行い今後のより良い講座実現に向けた材料としていければと考えております。

#### ◇まちづくりファシリテーターに必要と思う能力【受講前】

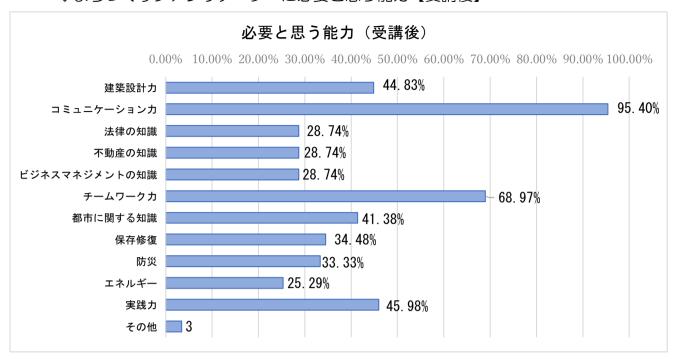


口その他(自由記述)

「情報は力だと思うので、全てあるに越したことはないと考える。」

まちづくりファシリテーターに必要と思う能力について受講前、受講後の結果をみてみると「コミュニケーション力」について受講後 15%近くも上昇し、95.40%とほとんどの学生がまちづくりファシリテーターには「コミュニケーション力」が必要であると感じている結果となりました。また「チームワーク力」についても受講前は55.91%であったのに対して受講後は68.97%と増加しています。受講後に続いて多い数値を示している「実践力」についてみると受講前36.56%から45.96%と10%近くその必要性が増加しています。このことから受講後の「回答」では「建築設計力」、受講後44.83%とともに高い数値を示しており、受講生は同等の重要性を感じていることがわかります。また、「エネルギー」について受講前18.28%から受講後26.29%、「不動産の知識」について受講前15.05%から受講後29.74%とそれぞれ増加しており、受講前にはそこまでまちづくりへの重要性を感じていなかった意識が、講座を行っていく中でその重要性に気がついていったということが伺えます。この増加した二つの数値は「法律の知識」、「ビジネスマネジメントの知識」、「保存修復」、「防災」などとほぼ同等の数字まで増加したことがわかります。

#### ◇まちづくりファシリテーターに必要と思う能力【受講後】



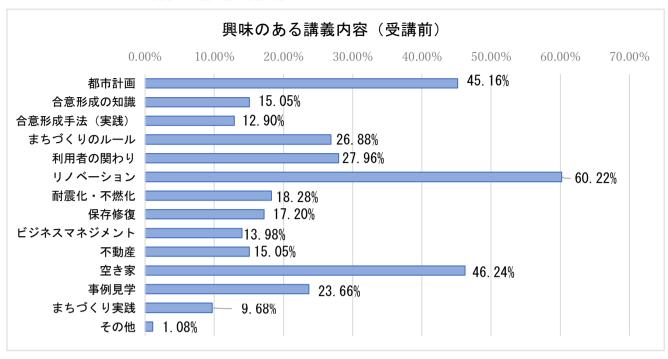
#### 口自由記述

「アイディアカ」「対人スキル以外の専門的な知識」

「プレッシャーに打ち勝てる忍耐力」

それらを踏まえて受講後の全体的な傾向について考えてみるとほぼ全体的に均等に幅広い知識・スキルに重要性を感じているグラフ形状を示しております。その中でもコミュニケーション力とチームワーク力が突出した数値を示しており、幅広い知識・スキル・力をコミュニケーション力とチームワーク力によって支えられている状況がみて取れます。またそれらを補助する力として建築設計力と実践力があり、自由記述にも出てきたアイディア力も含めてこれらを支える力と感じていると考えられます。この結果は前年度の実施された調査や委員会から提示された事業成果にある人材目標、T字形人材育成を表すようなグラフ形状と捉えることができる。

#### ◇興味のある講義内容【受講前】

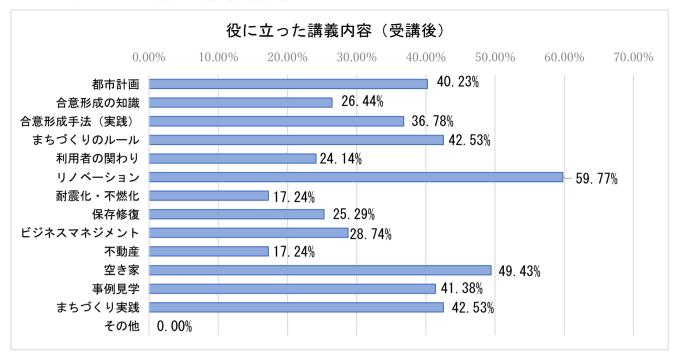


口自由記述

「自然環境と建築物の関わり方。」

講義内容について調査をしたものが「興味のある講義内容(受講前)」と「役にたった講義内容(受講後)」です。最も顕著な傾向を示している結果に「合意形成の知識」「合意形成の手法(実践)」で、「合意形成の知識」は受講前 15.05%から受講後 26.44%へ増加し、「合意形成の手法(実践)」は12.90%から受講後36.78%へと増加しています。特に「合意形成の手法(実践)」は3倍近く増加しており、講座を通じて合意形成の重要性を実感した結果となっています。顕著に増加している項目として「まちづくり実践」があげられ、受講前9.68%から受講後42.53%と4倍以上の増加をしています。この数値は3番目の高い数値となっており、多くの受講生が実践を経験することで実践すなわち経験することの重要性を感じた結果と考えられます。また顕著に増加した項目として事例見学が挙げられます。受講前23.66%から受講後41.38%と2倍以上の数値に増加している。この数値は前述の「まちづくり実践」と同等の数値であり、重要な内容であることに受講を通して実感していった結果であると推察されます。今回、事例見学は全て動画教材によるオンデマンド配信されたものです。設計者とともに先行事例を一緒に見学するという意図で撮影されました。またクライアントや関係者のインタビューも取り入れるなどの工夫をしました。

#### ◇役にたった講義内容【受講後】



それによって実際にいく見学と同じような効果を受講生は感じることができたのではないかと思われます。このことからこの講座の一つの目標として掲げた「時間・距離・人」に左右されずに充実した学びを進めるための工夫が方法次第では十分に効果を得ることができると考えられます。さらに詳しくみると「まちづくりのルール」について受講前は26.88%であったのに対して受講後は42.53%と大幅な増加を示しています。ルール、法律というと一般的なイメージとしてはトップダウンで決められるイメージがありますが、ここでの講義では近年行われてきているボトムアップ型で住民・市民がルールを制定できるという内容でありました。学生からは難解で敬遠されがちと言われる法律に関する内容に対して大幅な増加があったことは興味深いことと考えます。また「ビジネスマネジメント」に関してみると受講前13.98%から受講後28.74%と2倍以上増加をしています。建築教育においてはこれまでそれほど教育に組み込まれていなかった内容ですが実践を通じてこの講座でその重要性を感じ取ってくれたということは意義深いと考えられます。

#### ◇自由記述

#### 【受講前】

「まちづくりという大きな規模の問題を学べるのがとても楽しみです。」

「合意形成のための知識・手法、ビジネスマネジメントについて特に楽しみです。よ ろしくお願いします。」

「大学院進学を目指して勉強に取り組んでいます。その中でも自然環境と建築についての関わりを深く知りたいと考えていて、そのヒントとなる知識が1つでも増えたら良いなと思います。」

「空き家問題やリノベーションなどが近年話題となっているのでどう解決していくの か学びたい。」

「将来は工務店に就職したいと考えているので為になる講座だと感じました」

「まだ社会に出てまち、会社のために働く経験がない学生がまちづくりについて考えていくことは、知識も不足しているため難しいと思うが、私たちが主体となって未来のことについて創造する良い機会だと思うので、視野を広げてこれからのまちづくりについて考えていきたい。」

「自身の建築的思考を高めたいと思い参加させていただきました。まちづくりの定石 を学び、コロナウイルスの影響でこれからのまちづくりはどうなるのかを考えてい きたいと思います。よろしくお願い致します。」

「これからのまちづくりにおいて、街の声を聞き行動していくことがとても大事になってくると思っております。当活動で、相手の言葉を聞き、そこから求められていることを汲み取り反映していく知識を学び、これからのまちづくりに役立てていけたらと思っております。コミュニケーションは苦手ですが自分なりに努力して行きます。よろしくお願いします。」

「将来的に、地元に帰って建築の分野で貢献したいと考えているので、どんなことを 学ぶことができるのか楽しみです。」

「まちづくりについて理解を深めていきたいです。」

#### ◇自由記述

#### 【受講後】

「とてもためになった授業でした。2ヶ月間ありがとうございました。」

「コミュニケーション能力が大事だと思った。」

「たくさんの人と画面上だったけど繋がれて、これから、このような時代になると 思うので、勉強できてよかった。」

「最初は難しい講義だと感じてさえいましたが、実践してみて、街を見直す機会に なりました。」

「毎週、ためになるお話ありがとうございました。」

「ありがとうございました。」

「初めての体験でしたが、楽しく理解し合い学ぶことができて本当によかったで す。」

「資格を貰えようがなんだろうがこういった他校の人達ともコミュニケーションをとれる授業が初めてだった為、自分にはない考えを知れて刺激になった。また、コミュニケーション力もよりついた気がする。また、専門学校に入ってからあまりグループワークをしてこなかったからか、人を受け入れ思いやる気持ちが明確に芽生えたことが1番良かったと思った。ただ、皆がそうなる為には、今後はより皆のアイデアが見ら」れるようなサイトなどがあれば、発想力や、人の意見を受け入れる能力が身につくと思った。そして、色々な人に受講してもらいたいので、私もできる限り街づくりファシリテーターの存在を広めていきたいと思ってます!ありがとうございました。」

「とても為になる講義でした」

「まちづくりについて興味はありましたが、今回のように実戦形式で学ぶことができて良い経験になりました。これからの時代増えてくるリモートでのディスカッションや、実際に街を歩いて、「たから」と「あら」を探すことなど、授業では体験できないことをできて一歩成長できたと思います。この講義が一般授業化して誰もが受けることができたら良いと思える体験でした。」

「今後自分が建築に関わっていく上でとても重要な知識を身につけることができ た。その知識をいかに消化して吸収していくかが今後の課題となる。」

「今回まちづくりファシリテーターの活動に参加させていただき、多くのことを学ぶことができました。それは、設計やプランニングというよりも、人との話し方やグループディスカッションによる実践練習、コミュニケーションなど、専門外のことにはなりますが、一人間としてとても成長することができたとおもいます。今回このような機会を用意して頂いた先生方にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。」

「はじめてまちづくりについて考える機会でした。今まで何気なく見ていた、町の課題や良さを具体的な専門的な視点から見ることで、気づかなかったものを見ることができました。学生時代にこのように考える経験ができ今後の糧になると思いました。ありがとうございました。」

「完全オンラインの授業でしたが、講義動画もしっかりと理解でき、実践も協力して できたと思います。実践が対面だったらもう少しスムーズに課題が進められたと思 いました。」

「普段関わることのない違う科の人たちと関わりを持てた事がとても楽しかった。 コミュニケーション能力を養う事に繋がった気がする。」

「とても楽しく、今までの考え方ではダメなのだと気付かされました。たからとあら を見つけることで、もっと町や物事について深く知れるのだと気づきました。自分 の勉強が全然足りてないことに気づきもっと頑張ろうと思いました。」

「今回設計課題となると 1 人で最後までやり遂げることが最優先になりがちですが、ファシリテーターとして様々な人の意見を聞きながら、みんなで作っていくという方法は新鮮で勉強になりました。これからの設計手法として、ますます有効な手段になり得ると思うので、今後もファシリテーターが持つべき、コミュニケーション能力や設計能力、法律などの知識などを学んでいきたいと思います。」

「最初は自分にまちづくりは向いているのか、大丈夫かなと不安でしたが、自分の得意な人の意見を聞くこと、イラストを描くこと、まとめる作業など得意なことが活かせる講義もあり、苦手意識を持っていた発表やグループで話し合って考えることが以前より楽しくできるようになりました。自分の長所や短所が生かせる時間になってとても成長できたと思います。学生の間に貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。」

「最初は自分にまちづくりは向いているのか大丈夫かなと不安でしたが、講義を受けることで自分調書と短所を生かすことができました。生かせたと思う長所は人の意見を聞くこと、イラストを描くこと、まとめる作業をすることです。逆に短所は、発表などで人前で話すこと、グループで意見を言うことでした。この短所を講義を始めてたくさん経験することで、楽しみながら以前よりできるようになりました。まだ、今の私にはこの養成講座で得た学びを生かしてすぐに何かまちを動かすことはできませんが、大人になってこの経験を生かす時が来ると思います。学生の間に貴重な経験をすることができ本当に感謝しています。ありがとうございました。」「大変貴重なお話をいつも聞かせていただき、オンラインと対面の同時並行でグループで話を進めることのさらなる難しさなどを学ぶことが出来ました。ありがとうご

プで話を進めることのさらなる難しさなどを学ぶことが出来ました。ありがとうございました。」

「ひとつの問題について意見を交換し話し合うことで様々な目線の話を聞くことができ、視野を広めることができるようになった。様々な立場に立って考えることの重要性を感じ、学ぶことができた。」

「毎週のレポート数の減少や動画視聴も講義の中で行われるとなおよし!」 「4~5ヶ月の間とても楽しく受けられました。ありがとうございます。」

#### □考察

実証講座に対する学生対象調査の結果から大きな成果を得ることができました。 まず何よりも成果としてあげるべき一つ目として、本講座は受講生にとって大きな 満足が得られる講座であったという点です。ただ満足度が高いというだけでなく設 計から施工に至るまで多様な進路の学生がいる中で実施された講座であるにもかか わらず不満足層がほとんどいなかったという結果は特筆すべき点であると考えられ ます。この結果は学生アンケートの自由記述においてコメント数が増加し、その内 容も前向きなコメントがほとんどであったことからもうかがい知ることができま す。また、それらの満足度を支えている理由から本講座は「役に立ち」、「楽しい」 講座であると学生たちは感じていることです。同時に受講を通じて「まちづくりに 興味」が湧き、「人と人をつなぐこと」に実践を通じて意識が向いていった結果がで ております。自由記述の回答でもコミュニケーションに関する内容が受講後に多く 寄せられたことと合致しています。これらを総合して考えると受講生はこの講座を 通じてまちの多様な人たちとコミュニケーションしていくことに興味とやりがいを 持ち、協働してなにかをつくりあげていく意識の芽生えを醸成することができたと 考えられます。具体的な人材育成像についてみてみるとまちづくりファシリテータ ーに必要と感じる知識・スキル・カについて受講後では一般的には難しいと言われ ている「法律・ルール」に関することやこれまであまり触れてきていない「ビジネ ス・マネジメント」に至るまで幅広い内容に必要性を感じ、それらを「コミュニケ ーションカ」と「チームカ」という仕事をしていく上での基本的な項目と「建築設 計力」、「実践力」という建築の専門力が支える様に特化して必要性を感じている結 果となったことから、目標として掲げていたT字型人材像の育成が成功したと考え られます。現在、職業教育の分野ではこれらのコミュニケーション力をベースとし た人材育成が話題であり、まちづくりや建築の人材育成に止まらずこれらの成果は 重要であると考えております。またこれらの効果を実現したと感じている講義内容 は「合意形成 WS」や「まち歩きフィールドワーク演習」のような講義の中で行わ れた数多くの実践であり、実証講座での教育方法が適切に機能した成果であるとい えます。最後に何よりも特筆すべきこととしてこれらの成果が web のみでの実施 または web とリアルを融合した形での実施で行われたことにあると考えます。こ のほとんどオンラインを活用した方法でも運用や実施方法、教材などを適切に行う ことができればリアルと同等、またはそれ以上の効果を得ることができるというこ とはこの実践での大変に大きな成果であると考えられます。

#### 3-2-3 票会員による検証

①まとめ課題「まちづくりフィールドワーク演習」発表会後のアンケート調査 ○アンケート内容

### 【「まちづくりファシリテーター養成講座」実証講座 まとめ課題発表会に関するアンケート】

本日は麻生建築&デザイン専門学校・日本工学院専門学校でのまとめ課題発表会にご参加いただき誠に ありがとうございました。

一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構(JCAABF)は、良質な建築、美しい街づくりを目的 に設立され、資格や教育活動、行政支援を行っております。

この度、文部科学省受託事業「まちづくりファシリテーター養成講座」を、専修学校を対象に実施すべ く、事業をスタート。教材・シラバス・教育方法の開発を行い、2020年秋より協力教育機関の実情に 合わせて実証講座を行い、本日、そのまとめとしての課題発表会にご参加いただきました。

まちづくりファシリテーターは、住民の声をまとめたり、行政や専門家と共に、まちづくり活動をスム ーズに進める役割を担っています。これには、まちづくりの知識やコミュニケーション技能が必要であ り、そのような人材を育てる講座を目指しています。

#### [講座の目的]

- 丁字型人材の育成:幅広い知識・スキルと提案できる建築の専門力を持つ人材育成
- 素養(Attitude+知識・スキル):幅広く様々な人の意見に耳を傾け方向性を作ることができる態 度•力

つきましては、よりよい事業にすべく、アンケートにご協力よろしくお願い致します。

なお、アンケートのデータや結果につきましては適切にデータ管理・処理を行い、本事業及びそれにま つわる研究以外には一切使用いたしません。

- 氏名
- 所属

学生たちの発表内容、プレゼンテーションを見てお応えください。

【質問1】 T字型人材育成が感じられましたか?

1\_大変、感じられた 2\_感じられた

3\_普通

4 あまり感じられなかった 5 感じられなかった

【質問2】 多様な人とコミュニケーションすることができる態度(Attitude)の育成が感じられまし たか?

1 大変、感じられた

2 感じられた

3 普通

4\_あまり感じられなかった 5\_感じられなかった

〇方法全体についてお聞きします。可能な範囲で結構ですので率直にお答えください。

【質問3】 上記の人材育成の目標達成の方法は適切だったと思いますか?

1\_大変、適切である

2\_適切である

3\_普通

4 あまり適切でない

5 適切でない

〇特に今回の実証講座において、動画や web を利用した新たな授業方法積極的に行いました。 可能な範囲で結構ですので率直にお答えください。

【質問4】新たな学び(オンライン講義、web 会議システム)を利用した実践で素養は育成可能だと 考えますか?

素養: 態度(Attitude+知識・スキル)

1 十分、可能である

2 可能である

3 普通

4\_あまり可能ではない

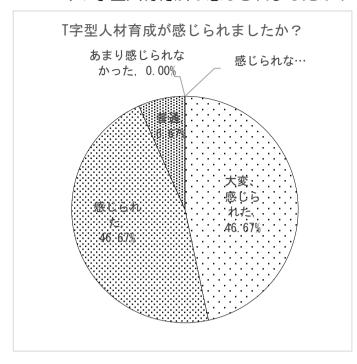
5\_可能ではない

〇自由記述 ご参加いただいた感想・ご意見など率直にお応えください。

【発表会にご参加いただいての感想・ご意見を自由にお寄せください】 質問 11\_自由にご意見をお聞かせください。(自由記入欄)

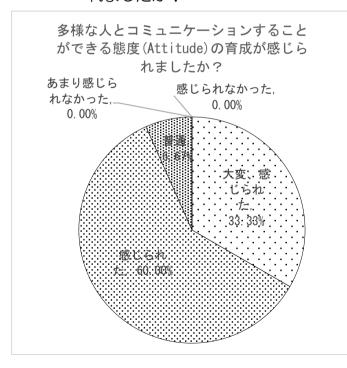
#### 〇アンケート結果

#### ◇T 字型人材育成が感じられましたか?



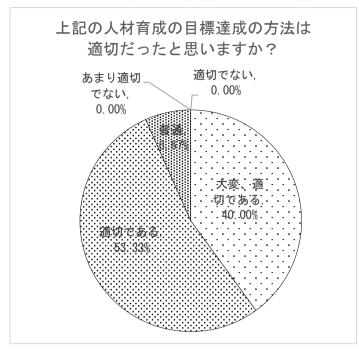
今回の教育目標であったT字型の人材 育成を発表や提案から感じることができ たかについてみると「大変感じられた」 が46.67%、「感じられた」が46.67% となっており、93.34%の評価委員がT 字型人材育成を感じた結果となりまし た。また感じられなかったという回答は 一人もいなかったことからもT字型人材 育成についてこの講座で十分な目標達成 ができたと考えられます。

# ◇多様な人とコミュニケーションすることができる態度(Attitude)の育成が感じられましたか?



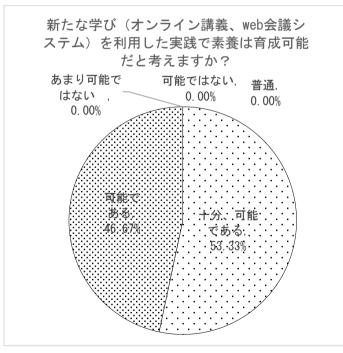
もう一つの教育目標であった「多様な 人とコミュニケーションすることができ る態度(Attitude)の育成を感じること ができたかという質問に対しては「大変 感じられた」が33.33%、「感じられ た」が60.00%となっており、合わせて 93.33%とほとんどの評価委員がコミュ ニケーションできる態度(Attitude)の 育成を感じたと回答した結果が得られま した。本質問項目でも「感じられなかっ た」「あまり感じられなかった」と回答し た評価委員はいない結果となっていま す。

#### ◇人材育成の目標達成の方法は適切だったと思いますか?



本講座の教育方法について目標達成に向けて適切であったかの質問についてみると「大変適切である」40.00%、「適切である」53.32%と合計で9割以上の評価委員が適切であると回答しています。また「適切でない」「あまり適切でない」と回答した評価委員はおらず、教育方法全体として適切と考えられます。

# ◇新たな学び(オンライン講義、web 会議システム)を利用した実践で素養は育成可能だと考えますか?



オンライン講義や web 会議システムを利用した実践で素養の育成は可能であるか?という質問についてみると「十分可能である」53.33%、「可能である」46.67%と全ての評価委員が可能であると回答しており、オンラインを活用した教育に全ての評価委員が可能性を感じている結果となりました。一般的に素養の育成という暗黙知については経験学習(体験学習)の中から得られると考えられています。身体性に根差した学習である経験学習がオンラインにおいて工夫次第で行えることがこの実践からえられた

ことは職業教育や企業教育、OJTなどに大きな可能性をもたらすものであり、今後、さらなる可能性に繋がるようにできればと考えます。

#### ◇自由記述

- □12/11 新潟工科専門学校発表会
  - 山田 俊之委員 日本工学院専門学校

「ご準備、ご対応お疲れ様でした。学生の before が分からなかったので成長度合いは不明ですが、一定の時間で完成させて発表することはとても大事なことだと思いますし、学生がそれを行えたことは重要だと思います。」

・向田 良文 委員 デザインタック株式会社

「ご関係の皆様おつかれさまです。音声を聞くのみの形で参加しておりました。松村先生からお声かけいただきましたが応答できなくて申し訳ありませんでした。画像含めて全てを見た状態ではないため、偏った感想になるかも知れません。まず、発表された3班共、しっかりとした口調でわかりやすく説明していたことが印象に残りました。視覚的なプレゼンテーションと同じくらい言葉で伝えることは大切なので皆さん良かったと思います。リモートでの発表の体験もこれから大いに役に立つでしょう。限られた時間、条件での演習なので制約があるでしょうし、発表にも一部あったとは思いますが、地域の住民の意見などのヒヤリング、キャッチボールなどももっと演習に取り入れられたら良かったかな、と感じました。まちを観察して、感じて、そして積極的な提案をする体験は学生のこれからにきっと役に立つものになると思いました。」

- ・中野 一敏 評価委員 ナカノデザインー級建築士事務所(新潟地元建築士) 「3つの班の発表内容が、ソフト面からハード面まで、偏りなく広がりがあったので、発表会でお互いの発表を聞くことがよい学びの機会になったのではないかと思います。WEB会議システムを利用することで、距離にしばられず、多地域から講評者が参加しやすく、多様な視点から意見を述べることができるのも利点であると思います。」
- 鈴村 大介 委員 大東建託株式会社

「学生たちが楽しく積極的に行動、アイデア出しをしている姿勢が好印象でした。ただし、ファシリテーターとしての地域をつなぐことや関係者の利害の調整、さらに魅力的なまちづくり案を取り纏めるという役割を全うするためには、今回の発表だけでは不足していると感じます。今回の方法は、さらにブラッシュアップする必要があり、今の講座にそのプロセスを入れるとさらに良くなると思います。また、現在のまちの問題点(あら)は何か、それを何で解決するのか、といった筋道建てた考え方への誘導も必要と思います。(良い点(たから)をどう活かすのかも必要)講座の途中に発表会を開催、褒めるだけでなく、その後の行動につながる講評をし、案をブラッシュアップしていくというのはいかがでしょうか。」

・連 健夫 委員 日本建築まちづくり適正支援機構、代表理事 「各グループ共、フィールドワークにおいて、タカラとアラの視点で分析し、そ こから提案するというプロセスをしっかり理解して発表していると感じられ た。またグループでよく話し合ってアイデアを表現しており、各グループの個 性が出ていて、とても良かった。」

□2/5 麻生建築&デザイン専門学校、日本工学院専門学校 合同発表会

・野澤 康 委員 工学院大学建築学部まちづくり学科

「今回の課題は、調査して提案をまとめるというものであったが、ファシリテートするということのトレーニングとどのような関係にあるのかが、やや曖昧だったように感じる。(私の理解が足りないだけで、指導した先生や学生はよくわかっていたのかもしれないが)

「ファシリテーター育成」を謳っているので、その関係性を明確にしておいた ほうが良いかもしれないと感じた。」

• 古賀 俊光 委員 麻牛建築&デザイン専門学校

「まちづくりを進めていくファシリテーターの役割として楽しく盛り上がりながら、話を進めていくことが必要になります。おもしろい発想を膨らませていくことは、専門知識(ある意味の障害)が増えると難しくなってしまいます。 今日の発表を見ていて、純粋に楽しむ提案が多かったので、その考えを失わないで成長してもらいたいです。そして専門知識でうまく実現に結び付ける能力を身につけていってほしいです。」

- ・松村 哲志 委員 日本工学院専門学校 「実際に住民、市民と実践を行う機会が対象でもこの後に出てくるとなお良いもの になるということを感じた。基礎的な素養づくりとしては十分に満足する内容で あったと思う。」
- 山田 俊之 委員 日本工学院専門学校
  - 「麻生建築の発表を見ることがかないませんでしたが、新潟工科と同様の形式を利用されたとすると、模造紙等による手描き提案になると思います。方法はリモートならではの方式で日本工学院は臨んだわけですし、特に方法は問題になりません。むしろ、学生が楽しんで行えるものであるか、が T 型教育に不可欠だと再認識しました。要は、能動的な学習でこそ培われると思います。それが、「アクティブラーニング」なのでは?と感じました。お疲れ様でした。」
- ・山田 龍雄 評価委員 福岡県建築士会まちづくり委員会(福岡地元建築士) 「正直、現段階ではアイデア段階で良いとは思いますが、本当の意味でまちづくり のファシリテーターを養成するためには、アイデアを事業推進するために地元と

の関係づくりと調整、事業・管理主体の役割調整、行政の関係部署との調整、事業性を考えた民間参入の可能性等々、どのような課題があるか自分たちで考え、整理することも重要であると思いますので、学生さんにとってハードルが高いかも知れませんが、このようなことも一緒に考えてはどうかと思いました。

• 中村 直人 評価委員 大東建託株式会社

「学生の皆さんの自由な発想でありながら、しっかり的を得たプレゼンで非常に興味深く、また関心させられました。実務に携わっていると、どうしても権利関係や利益を考え、発想に乏しくなってしまいがちですが、学生の皆さんの発想力は素晴らしいと感じました。実際にまちづくりファシリテーターとして活躍するためには、利害関係の発生する住民の方々や行政、企業等々との調整力や交渉力をいかにして身につけていくかが今後の課題だと思います。

本日は素晴らしい発表会でした。参加させて頂きありがとうございました。」

・大倉 宏 委員 新潟まち遺産の会

「学生たちが、実際の街をみて魅力(たから)と問題点(あら)を探すという視点を持って見慣れていたであろう場所を見直し、そこをよりよい場所にするために感性や想像力を働かせ、楽しみながら発表内容をまとめた様子が伺え、引き込まれました。とくに「絵」がどの発表もよかったです。パターン化されたきれいな完成予想図ではなく、人が考えるきっかけになる手描きの絵の力を感じました。

学生たちの今後の成長がとても楽しみです。」

• 今泉 清太 委員 麻生建築&デザイン専門学校

「この度は開催校に選んでいただき大変感謝しております。長期にわたりご指導してくださいましてありがとうございました。途中コロナ禍となり対応力の速さに感動いたしました。 学生が総合的に学ぶことができ、しかも学生の感性を引き出すことができる学びと感じました。 まさにファシリテーターとして、この学びが浸透することを期待いたします。ありがとうございました。」

• 連 健夫 委員 JCAABE 代表理事

「WEB を中心としても、対面はどこかで入れることが望ましい。それが無理であれば、エスキース段階で講師と学生が自由に話し合える WEB の機会をもつことが大切と思われる。今回、それを中間段階で取り入れたことが良い結果に繋がったと思われる。」

里中 勝哉 委員 パナソニックホームズ (株)

「オンライン講座の成果は期待以上。リモートでしか会ったことがない学生同士や 講師が普通に講義を修了し、成果確認していくフローに感心した。企業のこれか らの研修企画・運営の面でもとても参考になりました。」

#### ②実証委員による意見交換

#### ○概要

実証講座の評価を総合的に行うために評価委員による評価を行ないました。実証講座全体の教育方法、状況について実証分科会、事業実施委員会で概要を報告、また事前に共有サイトを通じて全ての資料、記録動画などを公開し、さらに内容把握ができる状況を作った上で2月15日(月)に評価会を実施した。評価会では学生アンケートの結果、評価委員アンケートの結果を提供し、それら評価結果を踏まえた上での意見交換を行なった。

◇日時 : 2021年2月15日(金) 実証分科会、事業実施合同委員会内にて

#### ◇評価委員(参加者)

#### 実証分科会委員

連健夫(日本建築まちづくり適正支援機構 代表)

松村哲志(日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ 建築学科 教員)、

今泉清太(麻生塾 麻生建築&デザイン専門学校 校長代行)

古賀俊光(麻生塾 麻生建築&デザイン専門学 教員)

仁多見透(国際総合学園新潟工科専門学校 学校長)

大倉宏(新潟まち遺産の会 代表)

向田良文(デザインタック株式会社)

中村直人(大東建託株式会社、鈴村大介代理)

事業実施委員会委員 • 開発分科会委員

山田俊之(日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ 建築学科 科長)

野澤康(工学院大学 教授)

市古太郎(東京都立大学 教授)

連勇太朗(特定非営利法人モクチン企画 代表)

西川直子(建築ジャーナル)

阿部俊彦(立命館大学 准教授)

連洋助(連ヨウスケアトリエ)

#### ◇概要報告及び情報提供

#### 【概要報告】

- ・2020年9月17日(木) 合同委員会にて 実証講座の概要、シラバス、運用、実施方法、実施スケジュールなど報告
- ・2020年12月10日(木) 実証分科会及び合同委員会にて 実証講座 講義科目、実践(事例見学、演習、合意形成WS、まち歩きフィー ルドワーク演習)課題・方法、実施状況(動画記録を交えて)、反転授業につい てなど報告
- ・2021年2月15日(月) 実証分科会及び合同委員会にて 実証講座 web 利用の方法、まとめ課題発表会、学生アンケート結果、 評価委員アンケート結果

#### 【情報提供】

- ・2020年12月10日~ 講義動画、見学動画の評価委員への閲覧公開をweb上で行なった。
- ・2021年2月10日~ 実証講座教材、資料、記録動画の評価委員への公開を web 上で行なった。



• 評価委員会(意見交換)



グーグルドライブでの情報提供



・評価委員会(実証の説明)



•情報提供資料 発表会記録動画

#### ○実証委員からの意見

実証員からの意見を記録動画より文字に起こして記載いたします。さまざまな話題に至っておりますがあえて意見をそのまま記載することで今後、より良いものへと発展していくことの種として記録することを意図しております。

(お名前の敬称は略させていただいております。)

#### ◇実証分科会委員意見交換にて

- ・実践について現地や特別講師として参加した意見
- 向田 「全て web でインスペクション演習を担当しました。学生の頑張りも大きく 思ったよりもスムーズに、きちっとできたのではないかと思っております。 こういうやり方もあるということを感じました。」
- 仁多見「まとめ課題において学校でリアルに行なった部分を現地で担当しておりました。映像で講師より指導を受けることがどうなるか不安もありましたが学生たちも同じ班の学生とよく話し合いを行い、web でつながる講師もタイミングよく指導してくださり、作業がうまく進んだように思います。システムトラブルに不安もありましたが実際にはほとんどなかったです。
- 古賀 「運営が慣れていないこともあり現地での準備には少し苦労した面もありました。学生たちにとっては web を通じていろいろな先生から指導を受けることができるということは今までになかったことで魅力的であったと感じています。行なっていくうちに学生たちもどんどん工夫していき、学生たちより自然発生的にラインなども活用するようになり、こういった経験を踏まえていくことでさらによくなっていくと感じました。」

#### 全体について

- 今泉 「受講生が積極的に自分で考えて行動していたこと、またアンケート結果から 非常に楽しかったと評価していること、そのことに尽きると思います。教育 としてもそれが一番大事なことだと考えております。本校の受講人数は16 名ということでしたので全部にこのことが及ぶかは今後検討が必要でありま すが基本的には成功したと思います。」
- 中村 「2月5日の発表会を見て、web の環境下で受講生の皆さんが頑張っていることを感じました。アンケートの結果を見ても「将来役に立つ」、「楽しかった」という声が大半を占めていたということは大変な成果であると感じました。まちづくりを行うにあったてはまずは興味を持つということが大切であるので成功、良い結果であると思います。」

- 仁多見「アンケート結果について、実証前と実証後でまちづくり実践が役に立つと考えている受講者が大変に増えています。最初のイメージとやったあとの達成感、そういった意味で大きな意味があったと感じています。実際に街に出て、いろんなものを見て感じ取ってきて、それをみんなで話し合うことで、どう街を改善できるのかということを自分たちが主導でやれたことについて、学校でやっている設計課題とは大きく違って、生のもの、実際にあるものを改善していくことの面白さや楽しさを感じ取って、こういう結果になったと考えます。今後、授業でも積極的に取り入れることで学生たちは学びが楽しくなるのだと感じました。」
- 向田 「満足度調査で楽しかったと学生が感じていることは成果があったと考えます。実践的なこと、それぞれの担当の工夫が学生アンケート結果に反映されているように感じます。個人的には担当した科目の重要度が減少しているのを見て、もっと工夫しなければと感じました。また、web について可能性を感じており、まだまだ工夫次第で可能性が広がり、もっと良いものになるように感じました。今回、地域住民とあまり関わりがなく演習が行われました。地域住民との関わりが出てくると思いも寄らない意見があったりします。学校のカリキュラムのこともあり、難しい側面もあるがこういったことに対応する実践もあると良いように感じました。世代が違ったり、立場違ったりすると意見が違うので何かできるとより良いものになると感じました。」
- 松村 「評価委員の自由記述から同様な意見も得られております。福岡建築士会の山田評価委員からは十分な成果があったがその上でさらに良いものを目指すには実際に住民・市民との意見調整も行えるとより良いと感じましたという意見。工学院大学野澤先生からは住民との合意形成のための講座であるのでまとめ課題の位置づけを明確にすると良いという意見が出ていました。」
- 古賀 「最初、学生は資格取得できることに期待を寄せていました。講座を行っていくに従って楽しさが増していったように感じます。一回一回その日のうちに成果が見えることがよかったと思います。福岡では有志学生による講座でありましたが一回一回提出があり、そのことがかえって休んだ学生も次から合流することが容易であったと感じています。Web とリアルの融合を行いましたがその準備については一度経験してしまえばそれほど大変ではなく、経験することが大切であると感じました。」
- 連健夫「学生アンケートの分析について受講前と受講後での違いについて大変に興味深いと感じたのでその読み取りをしっかりやることが今後のために重要であると思います。「必要とされる知識・スキル・カ」、「効果がある科目」においても合意形成手法やその演習への重要度を感じる受講生がかなり増加していま

す。これはそういった経験がない時点から最初受講を始め、受講した結果とし て合意形成などの内容の重要性を感じたという学生が急激に増加していること は特筆すべきことであると考えます。また、そのほかにも重要性を感じる学生 が増加した項目として「まちづくりのルール」、「事例見学」が挙げられ、押さ えておくべき点かと考えております。「事例見学」は特に倍近くまで増加して おり、学生にとって大変に役に立ったと感じていると考えられます。やはり受 講前と受講後を丁寧に見ていくことが次にこの講座をよくしていくために重要 なことなので報告書にしっかりと反映していくべきだと思います。また質問に 将来志望する進路も入っており、そういったことも含めて相関分析など将来的 に検証を行うことも重要であると考えます。例えば設計、営業、行政などに絞 って検証を行っていくことも今後重要であると思います。また web に関して の新たな学びについて評価委員のアンケートで可能性を感じない人がゼロであ ったことは重要な切り口であります。こういった新たな学びによって目的達成 が可能であるということは特筆すべきと考えます。続いて古賀先生に質問なの ですが受講できなかった学生が休んだ次の授業に参加しやすいということにつ いて、今後の多様な学びという切り口から重要であると感じており、現地で対 応する教員として何か工夫されたことがあるか?どのような状況であったかを 教えていただきたいと思います。」

- 古賀 「休んだ学生については周りの受講生(友人)から前回の状況について話があるとともに、教員としては動画を見る前にこういったことをやったという感じで一声かけることを行いました。そうするとイメージができてスムーズに馴染め、本人もさらに一歩、どんなことをしたのかな?という心持ちになったたように感じています。」
- 連健夫「今後、学生が多様化してく状況、学生の能動性を尊重した場合、時間は自分で選んで使うということがあります。学生が理解した上で選択し、その上で欠席などがあった場合はフォローができるということは望ましい姿であると考えます。また、学生自身が自発的にラインなどで工夫を行ったという点は重要なことで、学生たちは世代的にこういったwebを利用したものに慣れており、そういった知見が得られたことは重要な成果であると考えます。」
- 松村 「コミュニケーション力がついたという回答が学生アンケートから伺い知れる 点について学校教員の視点からどうか?」
- 仁多見「こういったグループ作業が多い授業についてはコミュニケーションとともに 役割が重要であります。自分がどういう役割でまとめていくのか?リーダー か?司会か?書記か?そういった中でまとめていくこの授業はすごく面白かっ たし、彼らにはやりがいがあったのではと感じています。また、普段発表する

- 機会が少なく、相手に自分の気持ちを伝えることが苦手な学生が多いように感じています。それが徐々に伝えようという意識が芽生えてきたと感じられたことはこれから就職した先で大いに役に立つと感じました。個人プレーからチームプレーへの変化ができたことは良かったと思っています。」
- 今泉 「コミュニケーションカについては一方的な授業ではなく、反転授業を行うな どお互いに話し合って収集していき、それをまとめていくということができて いました。それが実際のまちづくりでは重要なことであります。この授業で行っていた一方通行でなくそれが評価につながるという授業形式は非常に効果が 高いと感じました 。」
- 連健夫「学生アンケートでこの講座をお勧めしたいかという項目があり、この結果が 非常に興味深いと感じました。勧めたい理由に「役に立つ」や「楽しかった」 の次に「人と人をつなぐことに興味がある」という項目が挙がっています。こ れが合意形成などの実践を経たうえで勧める理由として挙がっているというこ とは重要なことであると考えます。」
- 中村 「webでの新たな学びの方法について、当初はそこまでできるのかな?と思っていました。しかし、実際、今回の発表を聞かせていただくと思った以上にできていたことに驚きました。対面でやったのではないかと思うくらいうまくいっていました。会社での研修でもコロナ禍の影響もあり web での研修を考えております。今回の事例は非常に参考になり、その面においても可能性を感じるものでした。」
- 仁多見「地域を超えて合同授業を行ったことについて非常に意味があったと感じました。知らない人ともコミュニケーションを取っていくということ、そういった柔軟性が身についたと感じました。」
- 今泉 「ある意味、コロナ禍であったことがたまたまもたらした恩恵であったと思う のですが地域を超えて実施していけるということが見えたこと、東京をはじ めとする他の地域が身近に感じられたことに意義を感じたので今後も続けて いきたいと考えます。」
- 連健夫「一般の方の参加への可能性として、住民などが参加することも当然あるのですが大学生や一部の社会人が学び直しとして一部の演習に参加することで多様な価値観を感じでもらうということもあり得るのではないかと感じました。そういった意味では科目履修のような制度の利用により多世代の受講なども今後考えていく必要があると思います。」
- 松村 「情報提供している学生の自由記述、レスポンスペーパーには他の学校と受講できたことの良さを挙げているコメントが多く見受けられました。」

#### ◇合同会委員会 意見交換にて

- 動画講義やオンラインでの実践について
- 古賀 「本校ではこれまで学生はそれほど映像授業での受講をした経験はありませんでした。学生から動画は見返すことができるツールなのでそういった面出よかったというような感想も聞けて有効なツールであると感じました。」
- 阿部 「現状、大学をはじめとした授業の中でも動画を活用することの意義は重要で、実際に事例などの写真や動画を見せていくなどもしています。今回の経験で十分に伝わるものができると感じました。一方でそれなりの技術も必要であり、効果的なものを作成できない場合もあります。本事業のような成功事例がしっかりとまとまっていることは大切で、個人的にも授業で使っていきたいと考えるほどのものができたと感じています。」
- 市古 「私が担当した演習はいわゆるブレインストーミング、普段では模造紙とポストイットなどで行うものをオンライン上で行う演習でありました。これについて web という状況で行ったにしては「割と意見が出たな」「頑張ってくれたな」というのが率直な感想であります。またもう一つの課題で理想の避難所についてのスケッチを短時間で作成して提出、その後オンラインでやりとりする演習を行いましたがこれが予想以上にいいなと感じました。これについては自分自身発見があったと思っています。一歩踏み込んでいうと、事前復興はいかにイマジネーションを高めるかということにポイントがあり、その意味でも対面でずっと行ってきたのですがオンラインでも災害時を想像してもらい、場の設定、学びの機会を作れるのだと感じることができたことは大きな収穫でありました。」
- 田中 「web での演習について、講師としても初めての経験であったが受講者同士が 意外と話し合いを行いまとまっていたと感じました。反省としては時間的にタ イトであったということがあります。使いこなせればどんどんと広がっていく 可能性を持った仕組みだと感じました。」

#### • 全体に関する意見交換

阿部 「学生アンケートについて受講前、受講後という形で実施したことで非常にわかりやすい結果になったと感じました。こういうオンライン授業で合意形成のやりとりとか、実際にここにいる評価委員の皆さんもやっている実際のワークショップみたいなことをやりながら行われたのですが、そういった実践感覚みたいなものをどう伝えるのか大学で教えていて、はっきりいって無理だとも思ってもいたのです。それが工夫次第によってできたということがあって、自分の担当部分でも気仙沼での合意形成の重要性などを講義しているのですがそういったことが効果としても学生が理解をしたという結果が出ていることは実施

した意味があったし、すごい効果だと思います。また、今後もさらにそういったことをどうすれば理解できるのかという工夫もできると感じます。一つ、思っているのは、立命館大学で地域の人に提案したりなどもしているのですがその応答関係などが現状としてなかなかできない状況にあります。これは地元の方々(高齢者など)はそこまでオンラインなどに詳しいわけではなく、そういったことが影響していますが、これは一歩進んだ学びになると思います。この場合でも学生が作った提案を地元の方に発表できる機会を作ったりするとさらに受講生の学びの度合いがアップするのかなと思いました。それも今はオンラインで行うことしかできないと思うがその工夫ができたらなお、良い講座になると思いました。」

- 連健夫「地元、地域と一緒にできる何かを入れ込めるとさらに良くなるということは 理解した上で、違った切り口として、社会人や大学生など多様な違う世代とも のづくりを一緒にするという方法でも少しでも味わうことができると思うがそ の辺りはどう思いますか?」
- 阿部 「私も昨年夏、緊急事態宣言明けのころに地域の若手の方、まちづくりのコン サルタントをやっている若手の人などと一緒に行うことにチャレンジするべき であると感じていました。研究者、大学の関係者だけではなく地域の実務者や 街のプレイヤーなど様々な人、若手の方でもうまく巻き込んだ講座の可能性は あると思います。」
- 「連先生より提案者である学生に加えて社会人もしくは地域のコアとなってい 市古 くステークホルダーをどのように巻き込んでいくか?阿部先生からはオンライ ンも活用する話もありましたがこれをどう行えるようにしていくか生みの苦し みではあると思いますが、全くの同感です。また、授業での実践、発表を拝見 して学生はコミュニケーション力が大切であると感じているのが伝わってきま した。もう一歩深く考えてみると、自分の意見をうまく伝える、わかりやすく 伝えるといったプレゼンテーションのスキルもそうですがそれ以上にまちづく りのファシリテーターに求められているのは、例えばデザインゲームでのロー ルプレイング、一旦世代も違う街の住民の立場になって想像して自分の言葉で 語ってみる、そういったことを行うと会話が弾む。そういった街の人の形にな らない声を引き出すコミュニケーションカ。そのような力の育成も必要であ り、そういったことに学生たちも気がついたのではないかと感じました。また 一方でまちづくりの現場では参加していない住民などが実はかなりいて、そこ でもその方々の立場に立って考えることこれは重要なことであると考えら れ、」アンケートからはそういった一歩進んだコミュニケーション力を学生は 感じ取っているのではないかと感じました。」

連健夫「聞く力とそれを翻訳する力。それをどのように受講者に身につけてもらうかが重要かと思うが市古先生、そのような視点からもう一歩進んだ意味でのアイディアなどありませんか?」

市古「なかなか難しいですね。今後、考えていくべき課題ですね。」

連健夫「そこがさらに良いものにしていく意味でポイントと感じています。」

- 山田 「両方の発表会を拝見しました。役割分担を決めて発表を行なっていたのが見て取れ、今まで引っ込み思案であった学生がしっかり発言をしていたのが見られたことはプラスであると捉えています。また、今の一歩進んだコミュニケーション力をどのように育成するかという点は重要であると感じていて、どうやって育てていくか?(コミュニケーション学)ということについて重要性を感じています。我々学校から見たときに学生を育成した出口と考えられる企業の採用担当の方々からお話をお聞きすると専門力以上にコミュニケーション力を重視しています。しかし、なかなか本科の教育では難しい側面もあり、サークルや社会活動などで養われているのが現状であります。その意味でも連先生が話していた、社会人含めた多様な人を巻き込んで行なっていくことは今後、学校としても重要な意味を持ってくると考えています。」
- 中村 「web についてはここまでできるのだということを感じ、初年度でここまでできるのであれば今後ますます期待できると感じています。またコミュニケーションカについて我が社においても重視しています。採用活動をしていると学生の皆さんコミュニケーションカがあると話されますがそういった方が入社後に人間関係で悩んだりしてしまうということなども少なくありません。仕事をしていくと多様な方々と協働して提案を行っていくということになるので、まちづくりファシリテーターで育てられているコミュニケーションカというのはまちづくりに限らず社会人になっても非常に役に立つ内容であると考えています。」
- 西川 「谷中の例について。都立大学で谷中をテーマにした課題が行われ、それを zoom で繋いで住民に発表を行なった事例があります。こういった可能性もあるということでご紹介します。」
- 連ヨウスケ「どういう媒体でコミュニケーションできるかということは大切なことに思っています。手書きのイラストの効果、デジタルのまとめの良さ、色々あることを学生が客観的に選んで特性を考えて使っていくことができるとなお良いと感じました。意識することが大切。相手に対してどういったコミュニケーションツールを使っていけたか?そのことを意識できることも大切であると感じました。」

- 連勇太朗「コミュニケーションの育成というテーマについて全く違う視点を提示したいと思います。ローレンスハルプリンの身体性を意識したコミュニケーション、ワークショップの視点、考え方もあるではないかと思います。ただ、机の上でKJ法を行うというだけでなく、相手と身体を使ってコミュニケーションしてくことで得られる信頼とか相互理解みたいなもの、それを取り入れていくという可能性もあるのではと感じました。オンラインでは距離感から発露される感情や共有が感じにくい部分もあります。オンラインであるが故にもう一歩進んだ身体性に根差したトライ、身体を使ったワークなどを初期の段階で行うなどもあってもいいのではと感じました。例、トラストフォール。こういったものの専門家は舞踊などのワークショップがあります。今後展開させていく上でそういった専門家のアイディアを聞くのもありだと感じました。」
- 松村 「新潟工科専門学校では皆で一緒に街歩きに行くということもされたと聞いています。講師として見ていたところそこからさらに一歩、受講生が興味を持っていったようにも見受けられました。実際に皆で街歩きをするというご経験からの学生の反応などご意見いただきたいと思います。」
- 仁多見「全員、バスで街歩きに行きました。まずコロナ禍ということもあり、現在、 滅多に外で授業を行う機会がなく、学生たちは非常に楽しみにしていたようで す。受講生はこの街歩きで普段気が付かない何気ないことを気がついていくよ うになっていきました。そこから徐々に学生たちははまりこんで入った感じが あります。そこから気がついたことをこれまで学んだ専門的なものでまとめあ げていく感じで進んでいき、学生たちは自然と楽しんでいったという感じがしました。」
- 連健夫「その際に講師側のサポートは大切だと思うのですがどういったことをやられましたか?」
- 仁多見「あまり押し付けると学生たちなりの意見になりづらいので少しだけ呟くくら いにとどめ、それを聞いて学生たちが共感する、気づいてもらうという感じ。 あまり押し売りしない。学生たちの気づきを誘導する意識を持って行いまし た。」
- 古賀 「本校では学生のみでフィールドワークに行きました。本校では希望者による 講座でしたのでそれほど知り合いでない学生が集まっていました。その中で少 しずつ授業を重ねるうちにコミュニケーションを取れるようになっていき、仲 良くなっていく流れもあったので学生たちは自然と学生たちだけで自主的にフィールドワークに行った感じで進んでいきました。また話は変わるのですが web とリアルの融合ついて、パターン C の最も複雑に混合しているものは音 声の問題などの点で少し準備に難しさを感じました。」

- 松村 「市古先生よりチャットで先程の身体性に根差したコミュニケーションについて情報提供がありました。「勇太朗さんの提案,まちづくりワークショップ的には「アイスブレーキング」の方法論からの大きな発展系かも,と思いました。最近,TVAC(東京市民活動ボランティアセンター)とのお付き合いが多いのですが,身体性をつかった創造性あふれる場づくりの工夫,あるかもしれません。」」
- 向田 「発表では多様な提案がありましたが一方でその後どのように管理していくか?どのように持続していくかという視点はあまり見えなかった気がします。 提案はそれを活かしていく、その後にどうしてくかみたいな持続していくかという視点もあってもいいかと思いました。」
- 松村 「福岡の川辺の提案などゲスト評価委員であった建築士の山田さんは地域に提案もしていくといいのではという話もありました。地域に提案していくなど視点についてはどうでしょうか?」
- 連健夫「その視点で言うと同じく発表会にいらした大田区役所の行政の方は立ち話程 度でありますが具体的に提案してみたほうがいいという話もでました。そのよ うに行政を巻き込んでいくことも今後、重要かと考えています。」
- 今泉 「麻生建築&デザイン専門学校では博多区から助成を受けてまちづくりに関わっている経緯があります。特に今回の川端通りの提案など非常に可能性を感じました。若い人の目線はまちづくりにとって重要であると感じたので今後前向きに地域への提案も考えていきたいと思います。」
- 山田 「本校でも口頭レベルではいくつかあり、先程の連先生の立ち話の話など是非 実現できればと思うところもあります。また今年度の卒業制作で防災をテーマ に行なっている学生がおり、大田区危機管理室に発表をする機会を得ることが できました。それらも含めて今後もぜひ行なっていきたいと考えています。」
- 田中 「今、空き家の問題が多くあり、実際の空き家をテーマにして提案を行うなど をすることも可能性があると感じました。」
- 連健夫「一般の方だといきなり講座に参加するのはハードルが高い。専門家であれば 可能性があるのではと思いますがそのあたりはがいかがでしょうか?」
- 田中 「それもあると思います。また今自分が神奈川区で地域づくりに取り組んでおりそういった場面に学生が参加すると学びが大きいように感じました。」
- 連健夫「ここまで、大変に深掘りの議論ができてよかったと感じております。明快な素晴らしい成果をえることができたこと。それを受けて皆さんの議論が深まり、今後、さらに良くするための課題や問題点も見えたことは本当に素晴らしい議論となったと感じております。今後もぜひ協力をお願いしてさらに素晴らしいものにできればと考えております。ありがとうございました。」

#### □考察

評価委員による検証から実証についていくつかの重要な成果を得ることができまし た。第一には今回、行われた実践でまちづくりファシリテーター養成講座の人材育成の 目的である「T 字型人材育成」、「多様な人とコミュニケーションすることができる態度 (Attitude) の育成」が充分に行うことができたということがあげられます。特に協働 して行う基本となるコミュニケーションカの育成には学校機関在籍の評価委員、企業で の人材育成部署在籍の評価委員からも期待のコメントがあり、一定以上の評価を得るこ とができたと考えております。それを実現した実践講座での教育方法について適切であ ると評価されました。特にオンラインを使用したワークショップなどの実施については 大学での教育を実施している評価委員や実際にまちづくりなどでワークショップなどを 実践している実務者の方からも期待と興味、新たな発見であったという意見が得られま した。これらのことは教育のみならず、今後のまちづくり手法においても web とリア ルを融合した新たな可能性を提示する重要な成果であったと考えております。一方で web を利用した教育についてはその効果と特性にリアルとは異なった部分があるとの指 摘もありました。まちづくりにおいては住民の意見を引き出すスケッチなども重要であ り、そういった成果物を、まとめていくにはリアルな方法、手書きスケッチでなどが向 いており、一方でまとめや完成度を高めるには web を利用した方法が向いています。 それらの特性を十分に理解してリアルと web の融合をしていくことが教育、まちづく り手法としても重要であるという意見が寄せられました。今回の様に成功事例として web とリアルの融合を記録し、まとめたものがあることは重要であるとの意見も寄せら れました。

この様にまちづくりファシリテーター養成講座として、当初の目的を超える充分な成果であったことが実証講座からわかりましたが充実した成果であるが故にさらに素晴らしいものにしていくための提言も行われました。第一としてはこの講座を基本としながらさらに一歩進んだ形として住民・市民などを巻き込んだ実践を実施するとさらに実践的な人材育成が可能となるのでないか?という提言です。実際のまちでは想定を超えた出来事が待っており、そういったことにも対応できる人材育成もまちづくりのエキスパートになっていくには必要であるという観点からの意見でありました。この事を実現することはハードルも大きいものでありますがオンライン発表会の活用など工夫を行い、実際に地域連携を行うことがこの講座を基本とした次の段階で未来に向けて模索できればと考えております。また多様な人々と実践を行うという意味で学び直しの社会人や大学生などの講座への参加なども受講者がコミュニケーションを得る方法という意味でも一つの大きな可能性があると考えられるという意見もありました。各教育機関での科目履修での講座実施なども今後の課題として検討していければと考えております。

#### 3-2-4 アウトカムによる検証資料

#### 〇概要

学習の集大成として行われるまとめ課題「まちづくりフィールドワーク演習」について受講生の提出物を検証資料として掲載いたします。本課題は今後、受講修了者が住民、市民との実践に向けてのロールプレイングとして位置付けています。まち歩きを行い、まちの資源や問題点を発見し、それをグループ内で共有する。その上で協働して提案を行うことを目的にすることで実際のまちづくりでも協働することができる人材育成を目指しています。

#### ○制作期間について

上記の目的を考え、実際の制作(提案の作成)は住民、市民と半日程度で行うワークショップを想定して2時間程度で実施しました。具体的には一人一人の「まち歩き」は宿題として行い、その上で事前に1時間程度制作準備の時間をとり、それぞれが発見してきた内容の共有を行います。その上で2時間程度の時間を区切って話し合いを行い、協働して提案を作成します。

またファシリテーターとしての学習を考え、制作後すぐにまちづくりの熟達者(エキスパート)による中間レビューを実施しました。それにより受講生は一歩進んだ提案の引き出し方・膨らませ方、合意形成による案の作り方を身体感覚で感じとることできます。その上で改めてブラッシュアップ期間を設け、彼ら自身が自主的にもう一歩進んだ実践を行う様にしつらえております。

#### ○方法について

まとめ課題において協力教育校3校の状況に合わせて実施方法が異なります。それを考慮した上で各方法による特性、web とリアルの融合による新たな学びの模索への一歩になるための資料と考えております。

#### ◇日本工学院専門学校

課題出題、話し合い、制作など、全ての制作について web を使用して行なっています。これまでワークショップなどで使用されてきた模造紙とマーカーを用いた方法を運用マニュアルでも紹介した Google スライドに置き換えて実施しました。また、適度に手書きのスケッチなど貼り付けるなどコラージュ的な手法の活用も推奨しました。

#### ◇新潟工科専門学校・麻生建築&デザイン専門学校

講師は web で繋がり、学生は基本リアルに教室にて制作を行う web とリアルが融合した形式で進められました。提案は基本、手書きのスケッチなどで製作がされています。また、教室にいないメンバーを web で繋いで作業を進めるなど一歩進んだコミュニケーションを行いながら制作を進めた場面を多く見ることができました。

### 〇受講生提出物

### ◇日本工学院専門学校 6班

## 6班

エリア C

藤田諒 中上慎太郎 中出亮太 福原悠生 柳生将太 今泉伎琳







## 喫煙所提案1

歩行者にとってはあまり目立たないが、喫煙をする人にとっては居心 地のいい場所、入りたくなる空間を作る。



木を入れることで、商店街に 少ない緑地空間を増やし、 居心地の良い場所に。 木があることで<mark>視線を遮る</mark>こ とができる。 商店街を歩いている人から、 喫煙者が見えにくい。

喫煙所とイートインは分けて 考える。 1階の外はオープンテラスに。

# イートインスペース提案

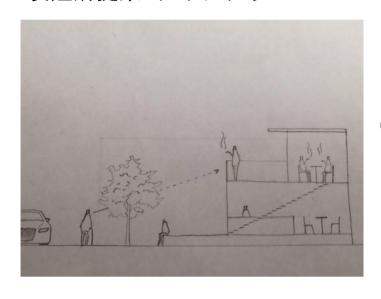


屋根をかけることで<mark>雨の日も</mark> 利用できるようにする。

手前を<mark>縁側</mark>とすることで気軽 に腰掛けて休むことができる。

登りやすいスロープになっており スロープにすることで誰でも利用 しやすい。

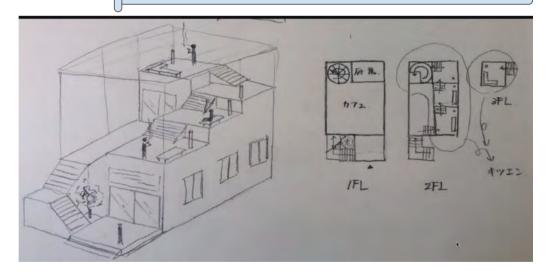
# 喫煙所提案1ダイアグラム



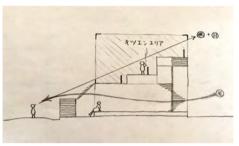
木があることで<mark>視線を遮る</mark>こ とができ、商店街から少し見 えづらくさせる。

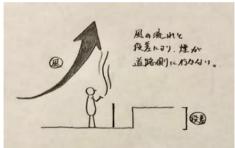
# 喫煙所提案2

アクティビティな人が使う空間を選ぶことができる喫煙所を提案する オープンになりすぎずかつ縮こまらないような空間とする。



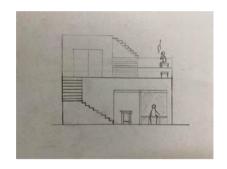
### 喫煙所提案2ダイアグラム





#### 風通しや視線、光に考慮して設計

- ・道路と交差する建物の南北方向に開口を設けることで風が建物を通り抜ける。
- ・<mark>建物二階に段差</mark>を設け商店街利用者との視線を分けている。
- イートインは甘味処をイメージ。
- 食べ歩きで訪れた人が腰かけられる。
- ・出入口にドアがないので、利用しやすい。
- ・ 手前にベンチがあり、交流が生まれる。



#### 喫煙所の提案の共通点と違い分析

# 共通点

- ・ 喫煙者と禁煙者の分離
- ・利用者の視線の工夫
- ・喫煙者を引き立たせている

# 違い

- ・ 分離の捉え方
- ・視線の分け方
- ・ 植栽の配置
- ・入り口前のオープンスペースの確保

## たから

- ・様々な種類の飲食店が多い
- ・<mark>通行客が多い</mark>分、買ってその場で食べることも できる。
- ・近隣住民や始めてくる人たちも立ち寄りやすい空間

### あら

- ・喫煙所がむき出し
- ・商店街の人通りが多いため喫煙所がむき出しだと 通る人への迷惑になってしまう
- ・喫煙者も小さいところでしかタバコを吸うことが できないので窮屈

# 提案まとめ

気軽に利用できるイートインスペースを作ることで、商店街で買った物を食べる ことができ、商店街の活性化に繋がる。

**喫煙所**を作ることで分煙ができ、歩行者は<mark>喫煙の不快感</mark>を感じずに買い物ができる。





# 発表役割分担

商店街の説明 たからとあらの説明 提案する場所 イートイン案 喫煙所案 提案まとめ

### ◇日本工学院専門学校 5班

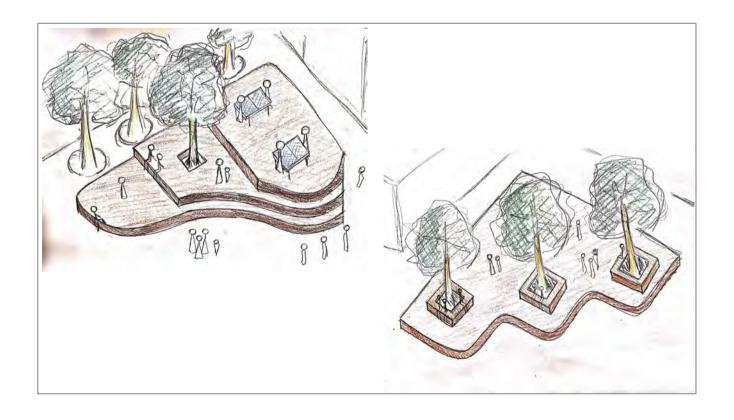












# ファシリテーター養成講座 蒲田まちづくり計画 Group7

エリアA 榎本 田中 中根 伊藤 妻本 森田

# 現地の状況





シャッターを閉めている家や Property Prope







パーキングが多くて目立つ。









## タカラ

- ・道がある程度整備されている
- ・西蒲田太平橋児童公園(休憩できる、子供たちが遊べる)
- 緑道

## アラ

- ・歩車分離の関係性があまり良くない(事故が起きそう)
- ・空き地、パーキングの敷地がもったいない(もっと有効的に 使えそう)
- ・景観がよろしくない (ゴミ問題、電線の垂れ下がり等)



## ①駐輪場

# 専用駐輪場の安全地帯の確保



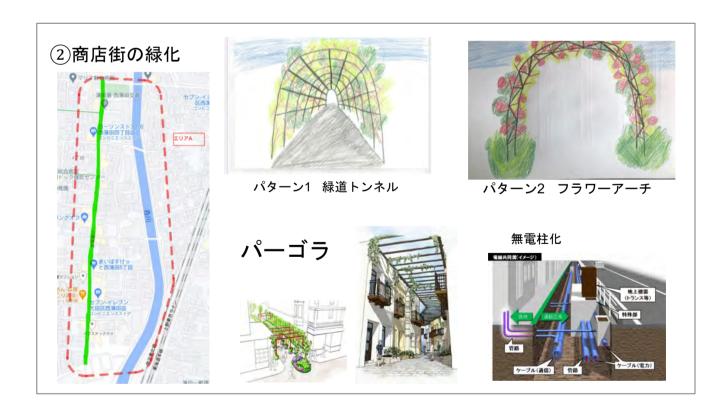
# 接道からセットバックして視界を広げる

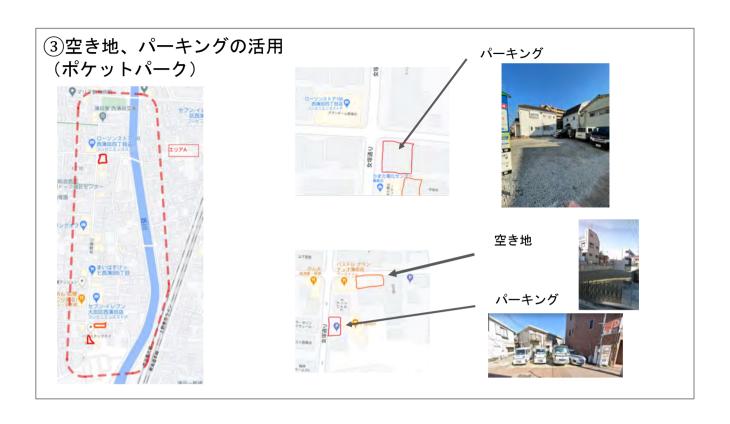


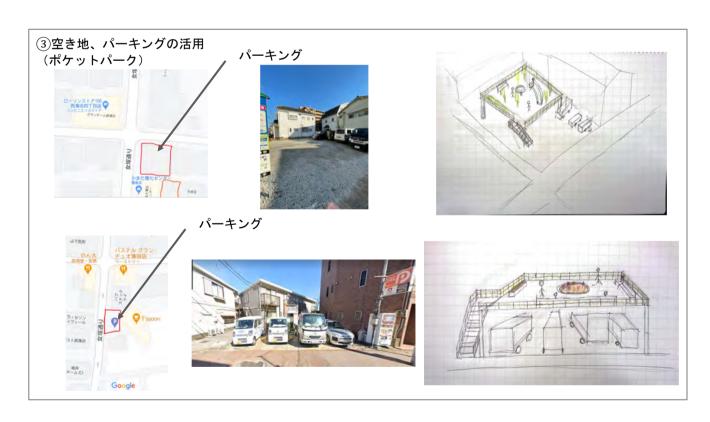


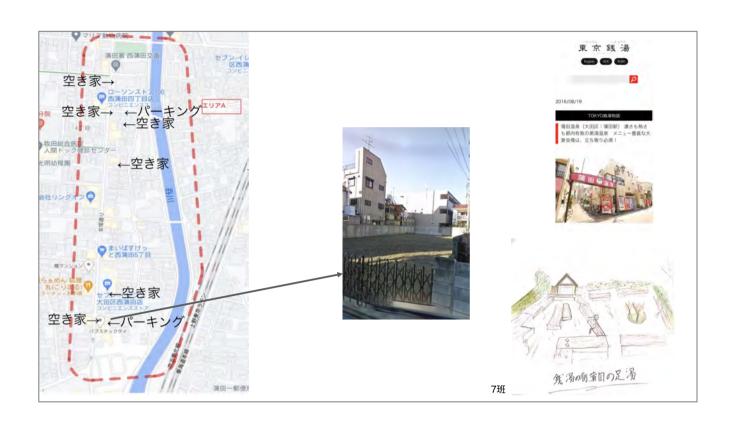




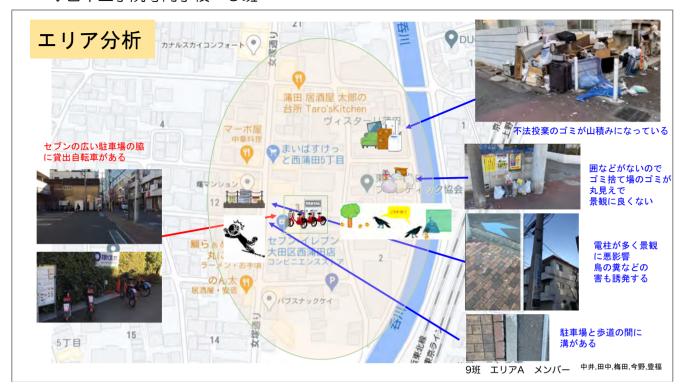








### ◇日本工学院専門学校 9班

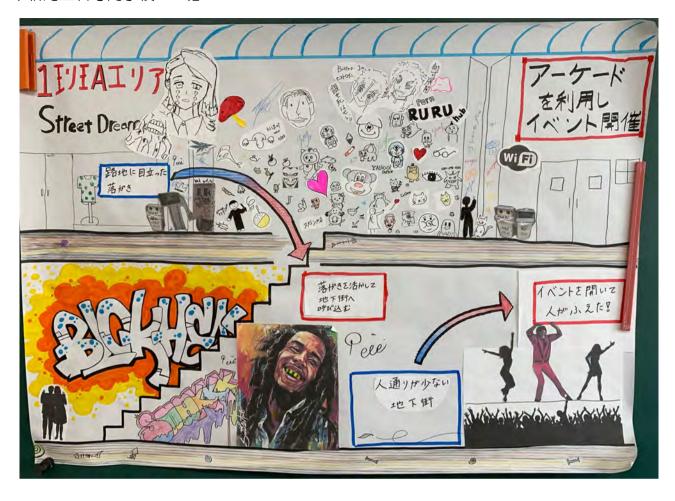






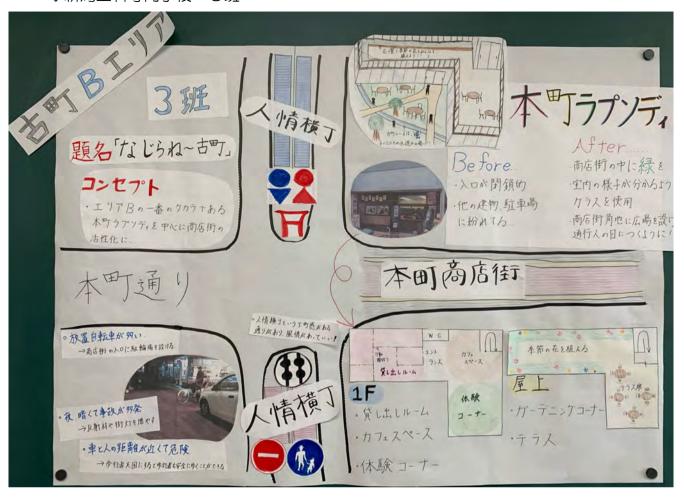
177,四十,16四, 7五,豆1

## ◇新潟工科専門学校 1班

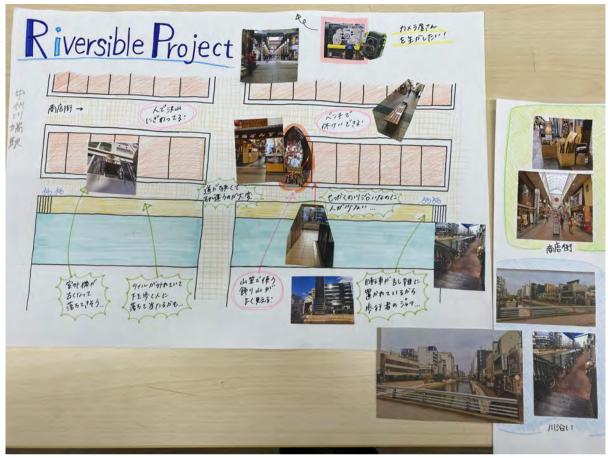




## ◇新潟工科専門学校 3班



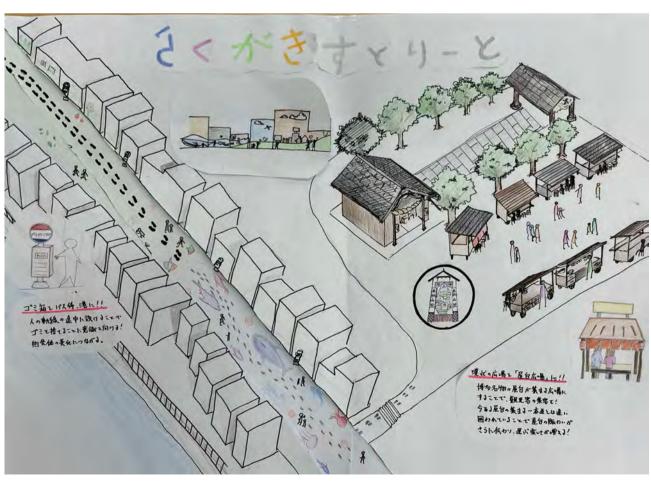
### ◇麻生建築&デザイン専門学校 2班





## ◇麻生建築&デザイン専門学校 1班





#### 3-2-5 検証のまとめ

実証講座の検証から以下のようなことが成果として得られました。

- ○まちづくりファシリテーター養成講座は学生にとって「将来、役にたち」「楽しい」講座であり、大変に満足度が高い講座である。
- ○具体的には教育目的として「T字型人材育成:目的を持ったコミュニケーションカの育成」「多様な人とコミュニケーションすることができる態度(Attitude)の育成」が可能である。
- 〇実践講座で行われた教育方法、運用などは適切で十分に目的が達成可能なもので ある。
- 〇特に現在、職業教育人材育成分野で重要性が高まっているコミュニケーションカ の育成に効果があり、本講座を超えた状況での活用に向け、大きな成果を得るこ とができた。
- ○今回の実践で行われた web とリアルを融合した教育方法には教育のみならず、 まちづくり手法への応用も含めて大きな可能性がある。
- Oweb、リアルでの方法にはそれぞれ特性もあり、それらの特性を充分に理解し活かした方法を考えていく必要がある。本実践と当報告書はそのためにも成功事例として重要なものである。

今回の実証講座及び検証から十分な成果が得られましたが、その上で更に進んだ未来に向けた課題も得られました。

- ○実際の地域連携などを経験することも次の段階のワンランク上の人材育成を目指して、検討していく必要性がある。
- ○多様な人とのコミュニケーションを講座に導入する意味で社会人の学び直しや大学生の受け入れなど各教育機関で科目履修の活用など、積極的に検討していくことが望まれる。
- Oweb とリアルの融合可能性の探究。教育方法、まちづくり手法としての活用に向けてさらなる可能性の追求を行うことが大切である。

今回得られた知見は実際のまちづくりにおいて、市民、行政、専門家を繋ぐ意味で貴重であり、それゆえに可能性も大きく、今後、更なる充実に向けて取り組んでいくことが大切であると考えています。

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による 委託事業として、≪一般社団法人日本建築まちづくり適正 支援機構≫が実施した令和2年度「専修学校による地域産 業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

令和2年度文部科学省 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」 「まちづくりファシリテーター養成講座」 地域課題解決実践カリキュラムの開発・実証 実証報告書

2021年(令和3年)2月

一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構 https://jcaabe.org